

SST G1Pro 字幕制作システム

オペレーションマニュアル

目次

| | |
|---------------------------------------|----|
| 目次..... | 2 |
| はじめに | 6 |
| インターフェースの名称..... | 7 |
| ビデオ再生方法 | 8 |
| ツールバー | 12 |
| 基本操作 | 14 |
| 《プロジェクトの開始(新規)》..... | 14 |
| 《スポッティング》..... | 16 |
| 《スポッティングの調整と移動／トラックBにスポッティングをとる》..... | 17 |
| 《字幕の入力》..... | 18 |
| 《作業中のプロジェクトファイルを保存する》..... | 20 |
| 《プロジェクトファイルと映像ファイルをひも付ける》..... | 20 |
| 《SSTG1用に24Frで保存》..... | 21 |
| 《既存のプロジェクトファイル(.sdb)を開く》..... | 21 |
| 《復旧されたプロジェクトファイルを開く》..... | 23 |
| 《多重起動》..... | 24 |
| 原文ウィンドウと台本ウィンドウについて..... | 26 |
| 《ハコ割り》..... | 26 |
| 便利機能 | 27 |
| 《全画面表示》..... | 27 |
| 《コメント機能》..... | 28 |
| 《sdb検索》..... | 29 |
| 音声波形ウィンドウ上で編集..... | 31 |
| 《現字幕を画面の中央に移動する》..... | 31 |
| 《編集をロックする》..... | 31 |
| 《字幕の分割》..... | 32 |
| 《字幕の結合》..... | 33 |
| 《Bトラックにコピーする》..... | 34 |
| 《属性を含めてコピー／属性を含めてペースト》..... | 35 |
| 《Bトラックの字幕と入れ替える》..... | 36 |
| 《字幕番号の設定》..... | 37 |
| 《ブックマークの設定／解除》..... | 38 |
| 《字幕の複数選択》..... | 38 |
| 字幕ウィンドウ上で編集..... | 39 |
| 《字幕を削除する》..... | 39 |
| 《Bトラックにコピーする》..... | 39 |
| 《属性を含めてコピー／属性を含めてペースト》..... | 40 |

| | |
|----------------------------------|----|
| 《空のデータをリストの最後に追加》..... | 41 |
| 《字幕番号の設定》..... | 41 |
| 《フォーマット情報》..... | 42 |
| エフェクト..... | 43 |
| 《ルビ》..... | 43 |
| 《イタリック(斜体)》..... | 44 |
| 《傍点(強調点)》..... | 44 |
| 《表示位置・行配置(ポジション)》..... | 45 |
| 《フォント及びエッジの種類、サイズの設定》..... | 46 |
| 《フォント・エッジの色の設定》..... | 46 |
| 《カーニング・レディング》..... | 47 |
| 《文字の自由位置》..... | 48 |
| 《効果(フェードイン・フェードアウト)》..... | 51 |
| 《マスク(座布団)を作成する》..... | 52 |
| 《字幕をマスク(座布団)内に中央揃えする》..... | 53 |
| ファイルメニュー..... | 54 |
| 《レンダリング》..... | 54 |
| 字幕メニュー..... | 55 |
| 《ブックマーク》..... | 55 |
| 《字幕削除》..... | 57 |
| 《字幕番号の振り直し》..... | 58 |
| 《字幕移動》..... | 58 |
| 《字幕情報一括削除》..... | 60 |
| 《字幕番号ジャンプ》..... | 60 |
| 《字幕と原文を入れ替える》..... | 61 |
| 検索メニュー..... | 62 |
| 《字幕の検索》..... | 62 |
| 《フォーマットの検索》..... | 62 |
| 《字幕の置換》..... | 63 |
| 《検索属性指定》※オプション..... | 64 |
| 《sdb検索》..... | 65 |
| 設定メニュー..... | 67 |
| 《フォーマット設定(全編設定)》..... | 67 |
| 《フォーマットの設定(範囲設定)》..... | 71 |
| 《デフォルト・フォーマットリストの作成》..... | 72 |
| 《フォーマットリストの入れ替え》..... | 73 |
| 《デフォルト・フォーマットのインポート・エクスポート》..... | 74 |
| 《タイムコードの基本設定》..... | 75 |
| 《フレーム落ち情報の設定》..... | 76 |

| | |
|---------------------------------|-----|
| 《設定情報のクリア》..... | 76 |
| 《フレームタイプの変換》..... | 76 |
| 《ピッチ調整》..... | 77 |
| 《画面調整》..... | 78 |
| 《SST G1Pro 画像調整解説》..... | 79 |
| ユーザー設定..... | 80 |
| 《ガイドラインの設定》..... | 80 |
| 《画面表示の設定》..... | 82 |
| 《詳細の設定》..... | 87 |
| 《色の設定》..... | 89 |
| 《メンテナンスの設定》..... | 91 |
| 《言語》..... | 95 |
| 《再生》..... | 97 |
| ○表示の説明..... | 99 |
| 《現在の設定をリストに追加》..... | 99 |
| 《リスト操作》..... | 100 |
| 《ショートカットキーの設定》..... | 101 |
| 《ショートカットキーをデフォルトに戻す／削除する》..... | 102 |
| 《ショートカットキー設定のインポート・エクスポート》..... | 102 |
| 《文字カウント》..... | 103 |
| 《輝度設定》..... | 106 |
| 《再生速度x2.0で音声の高さを維持》..... | 106 |
| チェックメニュー..... | 107 |
| 《最終チェック》..... | 107 |
| 《Netflix用データチェック》..... | 114 |
| 《Just Right! (校正機能)》..... | 115 |
| インポートメニュー..... | 125 |
| 《データファイルのインポート》..... | 125 |
| 《SSTプロジェクトファイル》..... | 125 |
| 《台本》..... | 125 |
| 《見直し用リスト(Excel)ファイル》..... | 126 |
| エクスポートメニュー..... | 129 |
| 《データファイルのエクスポート》..... | 129 |
| 《見直し用リスト(TXT)》..... | 130 |
| 《見直し用リスト(Excel)》..... | 131 |
| 《申し送りリスト》..... | 133 |
| 《CAST format》..... | 133 |
| 《CANVASs Sirius Blu》..... | 133 |
| 《Avid Sub Cap》..... | 134 |

| | |
|---|-----|
| 《Adobe Encore》..... | 134 |
| 《Apple DVD Studio Pro》..... | 135 |
| 《iTT file (iTunes Timed Text profile)》..... | 135 |
| 《SubRip Text》..... | 136 |
| 《WebVTT》..... | 138 |
| ヘルプメニュー | 139 |
| 《ドングル設定》..... | 139 |
| 《バージョン情報》..... | 142 |
| オプション (データファイルのインポート) | 143 |
| 《ビデオトロン/ラムダ》..... | 143 |
| 《Win2020PAC》..... | 145 |
| 《EBU》..... | 145 |
| 《CAST》..... | 145 |
| 《SubRip Text》..... | 146 |
| オプション (データファイルのエクスポート) | 147 |
| 《ビデオトロン/ラムダ》..... | 147 |
| 《Netflix Cap》..... | 148 |
| 《Win2020(PAC)》..... | 152 |
| 《EBU》..... | 152 |
| 《DVD - Sonic Scenarist format》..... | 152 |
| 《DVD - Panasonic format》..... | 153 |
| 《CANVASs Open Subtitle file format》..... | 153 |
| 《Blu-ray SONIC Scenarist format》 ※ver.4.2/ver.4.3共通..... | 154 |
| 《Blu-ray Panasonic format》..... | 154 |
| 《DV2000 format》..... | 155 |
| 《AAF》..... | 155 |
| 《OMF》..... | 156 |
| 《CineCanvas DLP Cinema XML》..... | 156 |
| 《Digital Cinema Distribution Master Subtitle (SMPTE) 》..... | 157 |
| 《IMSC1.1 file (Internet Media Subtitles and Captions 1.1)》..... | 157 |

はじめに

SST G1Proとは、映像字幕データ（テキスト・タイミング・エフェクト）を作成するソフトウェアアプリケーションです。ハコ割り、スポットティング、翻訳、字幕挿入、および特殊効果（イタリック（斜体）、フォント、表示位置・行配置、ルビ、傍点）が、すべて1つのインターフェースで作業ができ、プレビューしながら演出効果をふまえた高いレベルの作業が可能になります。

SST G1Pro ユーザー マニュアル Ver.16





2022年6月

All Rights Reserved, Copyright(c)2014,CANVASs Co,Ltd






インターフェースの名称



○音声波形操作ボタン

-  音声波形を横に拡大します。(カーソルの動きが早くなります)
-  音声波形を横に縮小します。(カーソルの動きが遅くなります)
-  音声波形を縦に拡大します。
-  音声波形を縦に縮小します。

○映像表示倍率変更ボタン

-  映像をビデオウィンドウにフィットさせます。
-  映像を目的モニタと同じ解像度にします。
-  映像を拡大します。
-  映像を縮小します。
-  91% スケールを選択します。

ビデオ再生方法

○キーボードによる操作

『ビデオコントローラー』で作業を行う場合は、次ページを参照してください。この操作は、全画面表示時にも使用できます。



- ・スペースキー：ビデオの再生・停止（『音声波形ウィンドウ』がアクティブで、[ビデオウィンドウ]に字幕が表示されていない場合）
現字幕の再生（『音声波形ウィンドウ』がアクティブで、[ビデオウィンドウ]に字幕が表示されている場合）
- ・F11：ビデオの再生・停止
- ・F12：現字幕の再生・停止
- ・Esc キー：ビデオの停止
- ・右矢印：ビデオの再生（押し続けます）、コマ送り（1回ずつ押します）
- ・左矢印：巻き戻し（押し続けます）、コマ送り（1回ずつ押します）
- ・再生中に上矢印：再生速度を一段階上げる（5倍速再生まで可能）※
- ・再生中に下矢印：再生速度を一段階下げる（0.5倍速再生まで可能）
- ・Page Up：前の字幕へ移動
- ・Page Down：次の字幕へ移動

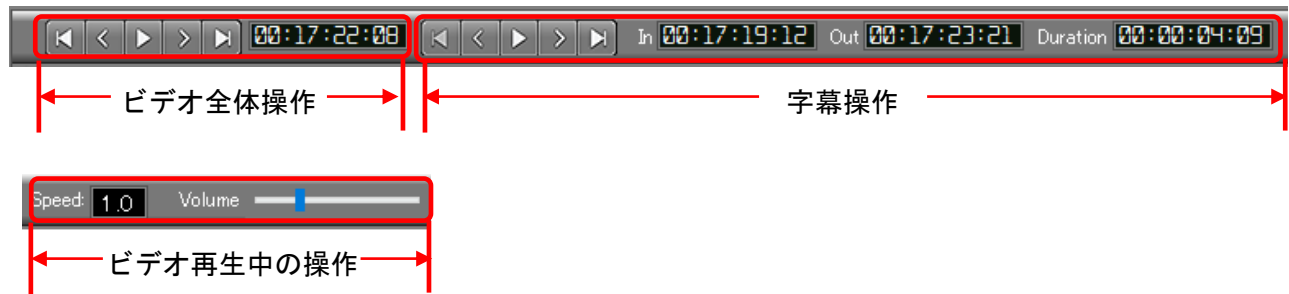
! これらの機能は、コンピュータの仕様によりスムーズに再生されない場合がありますのでご了承ください。

※倍速再生の注意点









- ・SSTG1 モードは×2倍速再生までしか対応しておりません。
- ・×3、×4、×5倍速再生は、等倍速再生に対し、正確に3倍、4倍、5倍の速度で再生することを保証するものではありません。

- ・ ×3、×4、×5倍速再生では音声が出ません。
- ・ 高画質映像など、一部の映像では指定の速度に満たないことがあります。
- ・ パソコンのスペックによっては指定の速度に満たないことがあります。
- ・ WMVの映像は新再生モードでは動作保証していないため、本機能も動作保証対象外です。
- ・ インターレースの映像は本機能の動作保証対象外です。









○ビデオコントローラーによる操作




ビデオ全体操作


- ・『ビデオ全体操作』の  ボタンをクリックすると、映像の最初に移動します。
- ・『ビデオ全体操作』の  ボタンをクリックすると、前のフレームに移動します。
- ・『ビデオ全体操作』の  ボタンをクリックすると、映像ファイルを再生します。
(映像を再生すると、 ボタンが  ボタンに変わります)
- ・『ビデオ全体操作』の  ボタンをクリックすると、再生中の映像を停止します。
- ・『ビデオ全体操作』の  ボタンをクリックすると、次のフレームに移動します。
- ・『ビデオ全体操作』の  ボタンをクリックすると、映像の最後に移動します。
- ・『ビデオ全体操作』の時間は、現在表示されている映像の時間を表示しています。

字幕操作

- ・『字幕操作』の  ボタンをクリックすると、最初の字幕に移動します。
- ・『字幕操作』の  ボタンをクリックすると、前の字幕に移動します。
- ・『字幕操作』の  ボタンをクリックすると、現字幕の映像を再生します。
(現字幕を再生すると、 ボタンが  ボタン に変わります)
- ・『字幕操作』の  ボタンをクリックすると、現字幕で再生中の映像を停止します。
- ・『字幕操作』の  ボタンをクリックすると、次の字幕に移動します。
- ・『字幕操作』の  ボタンをクリックすると、最後の字幕に移動します。
- ・「In」は、現字幕の開始時間を表示しています。
- ・「Out」は、現字幕の終了時間を表示しています。
- ・「Duration」は、現字幕のイン点からアウト点の長さを表示しています。










ビデオ再生中の操作


- ・  再生スピードを表示しています。1.0 が通常速、大きいほど早く、小さいほど遅くなります。


- ・  再生音量を表示しています。右にいくほど大きく、左にいくほど小さくなります。

ツールバー





-  新規ファイル…新規にプロジェクトファイルを作成します。
-  開く…SST G1Pro システムで作成したプロジェクトファイル (.sdb) を開きます。
-  保存…作業中のプロジェクトファイル (.sdb) を保存します。
-  検索…『字幕ウィンドウ』に入力している文字を検索します。
-  切り取り…『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字を切り取ります。
-  コピー…『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字をコピーします。
-  貼り付け…コピーもしくは切り取った文字を貼り付けます。
-  元に戻す…行った作業をもとに戻します。
-  やり直し…元に戻した作業にやり直します。

 MS ゴシック フォントの種類…『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字を指定したフォントに変更します。

 28 フォントのサイズ…『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字を指定したサイズに変更します。

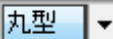
 フォントの色…『字幕ウィンドウ』に表示されている字幕の文字色を変更できます。


 カーニング・レディング調整…カーニングは文字間のスペースを調整し、レディングは行間のスペースを調整します。※オプション

 イタリック (斜体) …『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字をイタリック (斜体) にします。


 傍点…『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字に傍点を付けます。

 ルビ …『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字にルビを付けます。


 丸型 エッジの種類 …『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字のエッジを指定した形に変更します。※オプション

 2 エッジのサイズ…『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字のエッジ幅を指定したサイズに変更します。※オプション


 エッジの色…字幕のエッジを指定した色に変更します。※オプション


 組み文字…『字幕ウィンドウ』上に表示されている縦字幕の中の、選択した文字や数字を横書きで表示します。








 エフェクト解除…フォーマット設定で指定した設定をデフォルトに戻します。(ルビ以外)

 自由位置設定のみ解除…自由位置設定のみをデフォルトに戻します。

 表示位置・行配置…字幕の表示位置・行配置の設定を指定します。

 マスク (座布団) …マスク (座布団) と作成します。※オプション

 マスク (座布団) の色…マスク (座布団) の色を指定します。※オプション

-  自由位置…『ビデオウィンドウ』上に表示されている字幕を移動することができます。
※オプション
-  マスク（座布団）の位置移動・サイズ変更…マスク（座布団）の位置の移動やサイズを変更することができます。※オプション
-  マスク（座布団）の中央揃え…テキストをマスク（座布団）の中央に表示します。
※オプション
-  フェード効果…フェードイン・フェードアウト、カットイン・カットアウトの設定ができます。
※オプション
-  申し送り…設定した字幕だけを申し送りリストに出力することができます。《申し送りリスト》参照。
-  コメントジャンプ…コメントがある字幕を AB トラックまたはタイムコード順にジャンプします。
-  全画面表示…映像を全画面で表示します。

基本操作

《プロジェクトの開始（新規）》

字幕を制作するために基本となる操作です。

1. [ファイル] メニューから [新規]、もしくはツールバーの [新規] ボタンをクリックします。

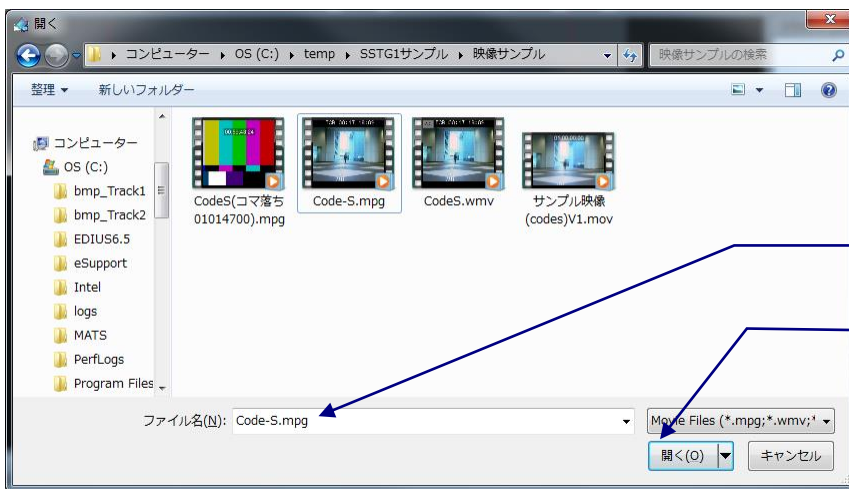


2. [映像ファイルも開きますか?]というメッセージが表示されます。
[はい]をクリックします。

SST G1Pro で取り込める映像ファイルは、

- ・ MPEG-1
- ・ WMV
- ・ MOV(h.264、AAC)
- ・ MP4(h.264、AAC) です。

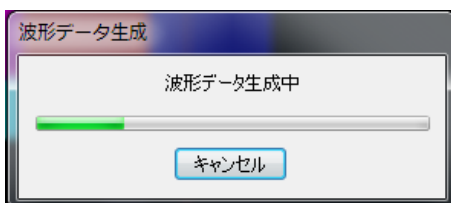
SST G1Pro に初めて取り込む映像の場合、「波形データ生成」と表示されます。



3. 映像を指定します。

4. [開く]をクリックします。

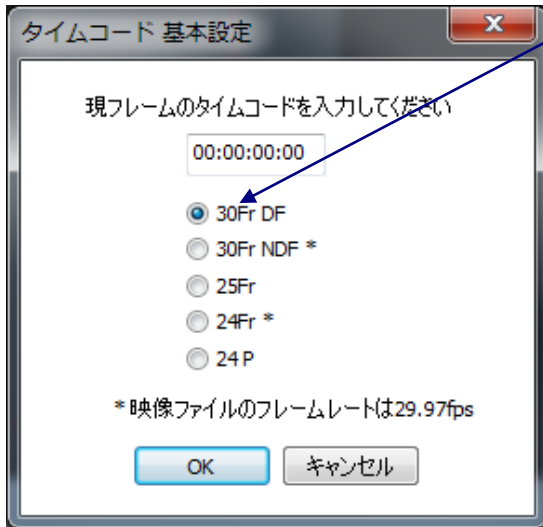
5. 「波形データの生成」が完了すると音声波形が表示されます。



必要に応じて音声波形の大きさを調整してください。
P.8 参照。

! ここでエラーが発生した場合は、次の事が考えられます。

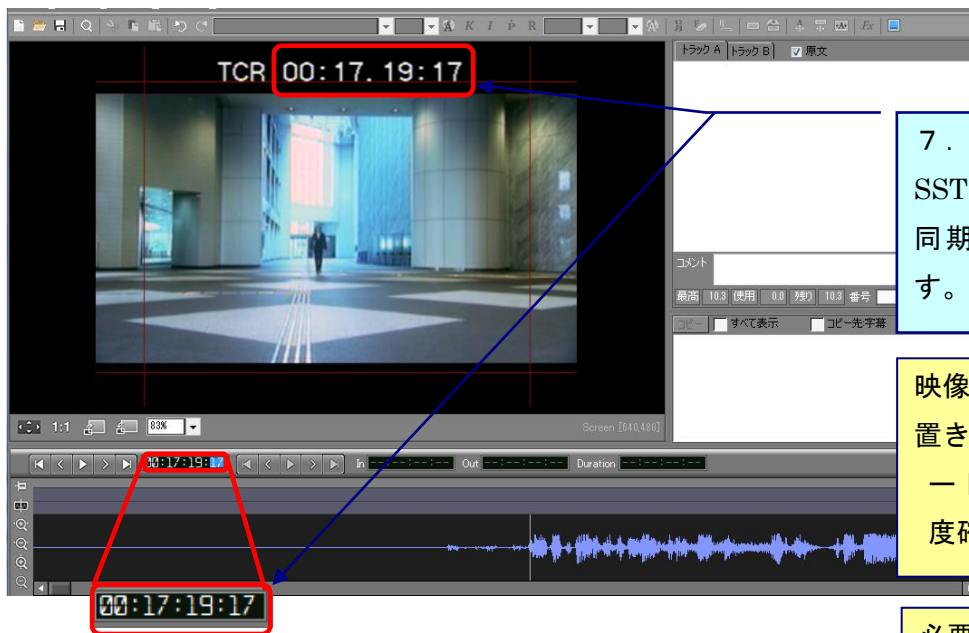
- ①映像ファイルのフォーマットが SSTG1Pro に対応している形式以外ではない。
- ②映像編集系のバッティングするソフトが入っている。
- ・途中でキャンセルした場合、音声波形は途中までしか生成されません。



00:00:00:00
時 分 秒 フレーム

6. 音声波形上にカーソルを合わせ、映像のタイムコードに合わせて入力します。
[設定]メニューから[映像とタイムコードの同期]を選び、[基本設定]でタイムコードを合わせます。P.92 参照。

タイムコードを合わせる時は、カラーバーや黒味の部分ではなく、映像がスタートし、音声波形があるところで合わせてください。



7. 映像のタイムコードと SST G1Pro のタイムコードが同期しているかを確認します。

映像の一番最後にカーソルを置き、SST G1Pro のタイムコードと同期しているかを再度確認してください。

必要に応じてフォーマット設定をしてください。
P.85～88 参照。

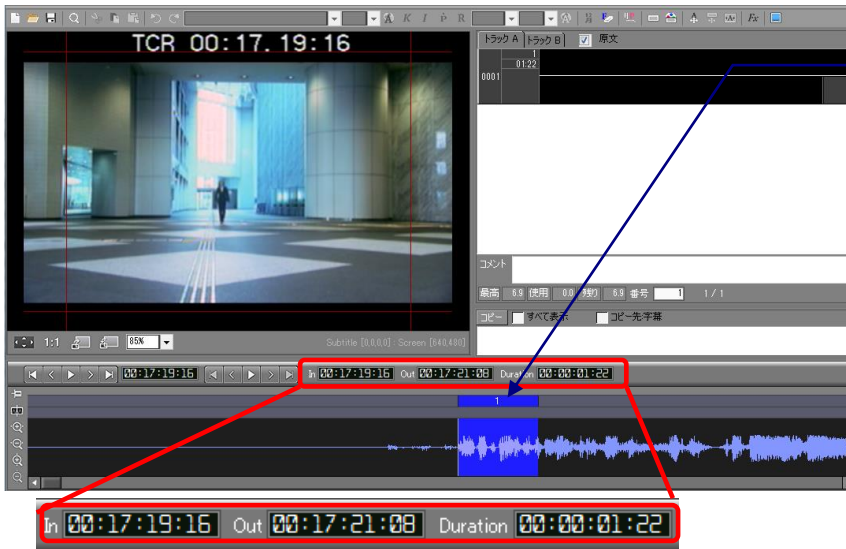
! タイムコード表示のない映像を使用する場合は、映像の先頭を 00:00:00:00 で合わせるか、目印となる場面でタイムコードを設定してください。

《スポットティング》

字幕を表示するタイミングを決めることを「スポットティング」といいます。メインのトラックは、トラック A です。

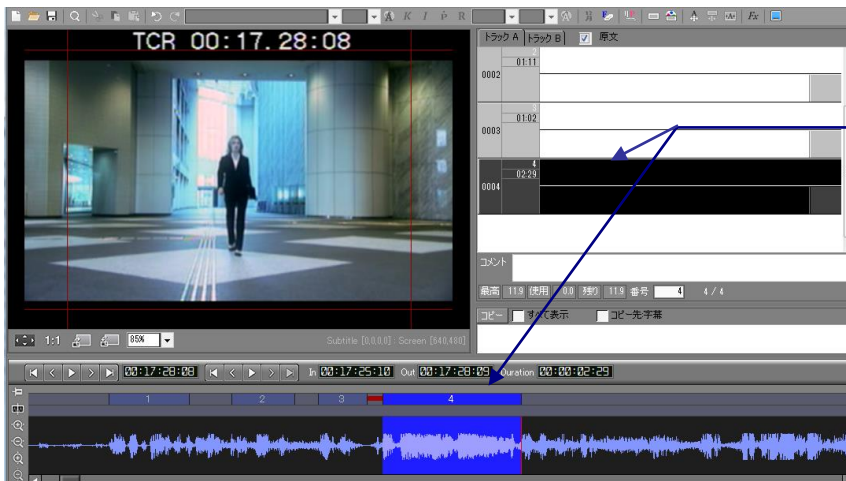
- ・イン点…字幕が表示される最初のフレームです。
- ・アウト点…字幕が消えて無くなった最初のフレームです。

(字幕が表示された最後のフレーム+1の値になります。)



1. 音声波形をクリックして、音声を聞きながら、話し始めから話し終わりまでをドラッグします。または、Shift キーを押しながらキーボード上の左右矢印キーを使って指定することもできます。

インジケータにインタイム・アウトタイム・デュレーションが表示されます。



2. 1の操作を繰り返し行くと、順番に字幕番号が振られると同時に、テキストウィンドウにボックスができます。

○ショートカットキー設定し、キーボードでスポットティングをとります。

- ・ショートカットキーの設定方法

[ファイル]メニュー → [ショートカットキー設定] → [ビデオ操作] → [インタイム・アウトタイムの設定]を選択し、任意のショートカットキーを入力、[設定]をクリックします。《ショートカットキーの設定》を参照。

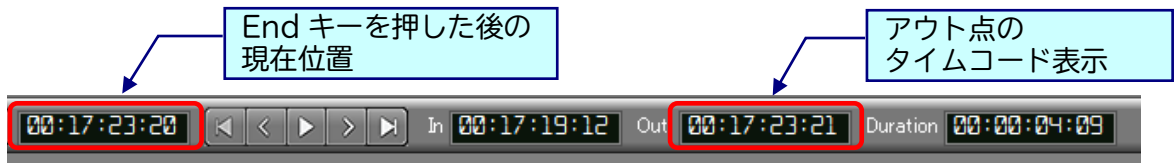
映像再生中に、設定したキーを押すと、イン点がとれます。再度押すとアウト点がとれます。最初にスポットティングを大まかにとり、後で微調整（次ページ参照）する時に便利です。

《スポッティングの調整と移動／トラックBにスポッティングをとる》

○スポッティングの調整について

イン点またはアウト点の調整方法は3つあります。

- ①マウスカーソルを音声波形上のイン点またはアウト点のあたりに移動して、カーソルの表示が双方向矢印の形に変わったらドラッグします。
- ②スポッティングがアクティブになっている時に、Homeキーを押すとビデオカーソルがイン点へ移動します。またはEndキーを押すとビデオカーソルが当該スポッティングの最後のフレーム（アウト点のタイムコード表示-1フレームの位置）へ移動します。次に、Shiftキーを押しながら左右方向キーを押します。



- ③正しいタイムコードを [インタイムインジケータ]、[アウトタイムインジケータ]、または [デュレーションインジケータ] へ直接入力し、Enterを押します。

○スポッティング（現字幕）を移動する方法

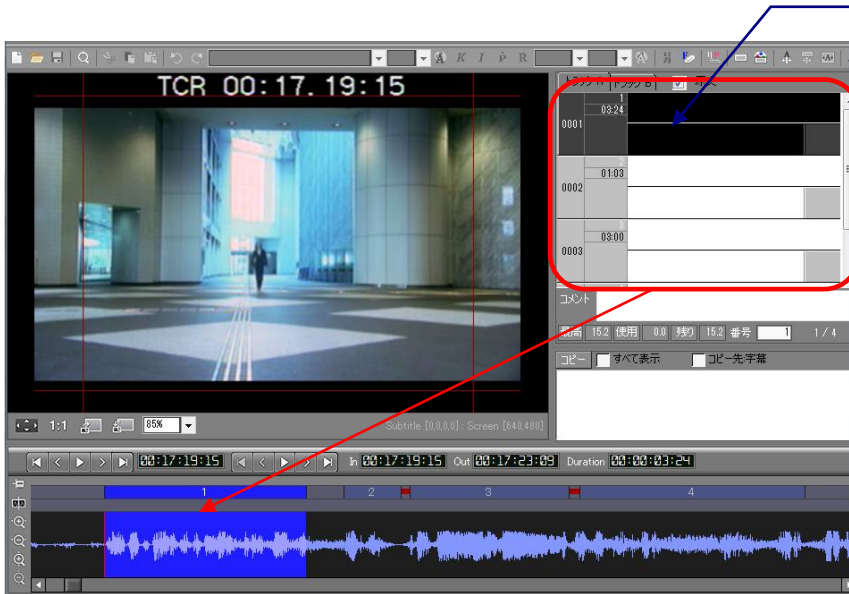
マウスカーソルで音声波形上のスポッティングをクリックし、Ctrlキーを押すと、マウスカーソルが四方向矢印の形に変わります。Ctrlキーを押しながらマウスを左右に動かすと、デュレーションを変えずに字幕を移動することができます。

○トラック B にスポッティングをとる（画面上の2ヶ所に字幕を出す場合）

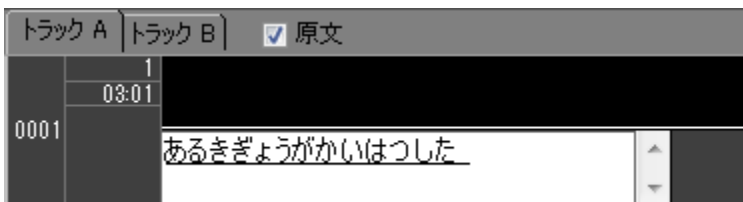
トラック A とトラック B を利用し、画面上の2ヶ所に字幕を題します。メインは A トラックです。

《字幕の入力》

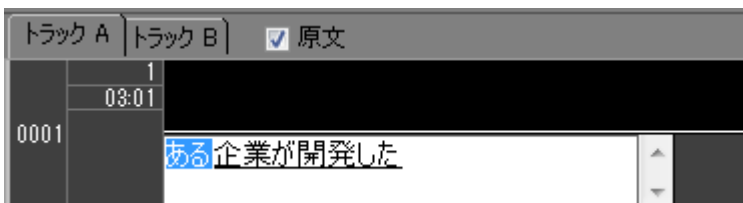
スポッティングをとったら字幕を入力します。



1. テキストウィンドウに字幕ウィンドウができていることを確認し、文字を入力します。

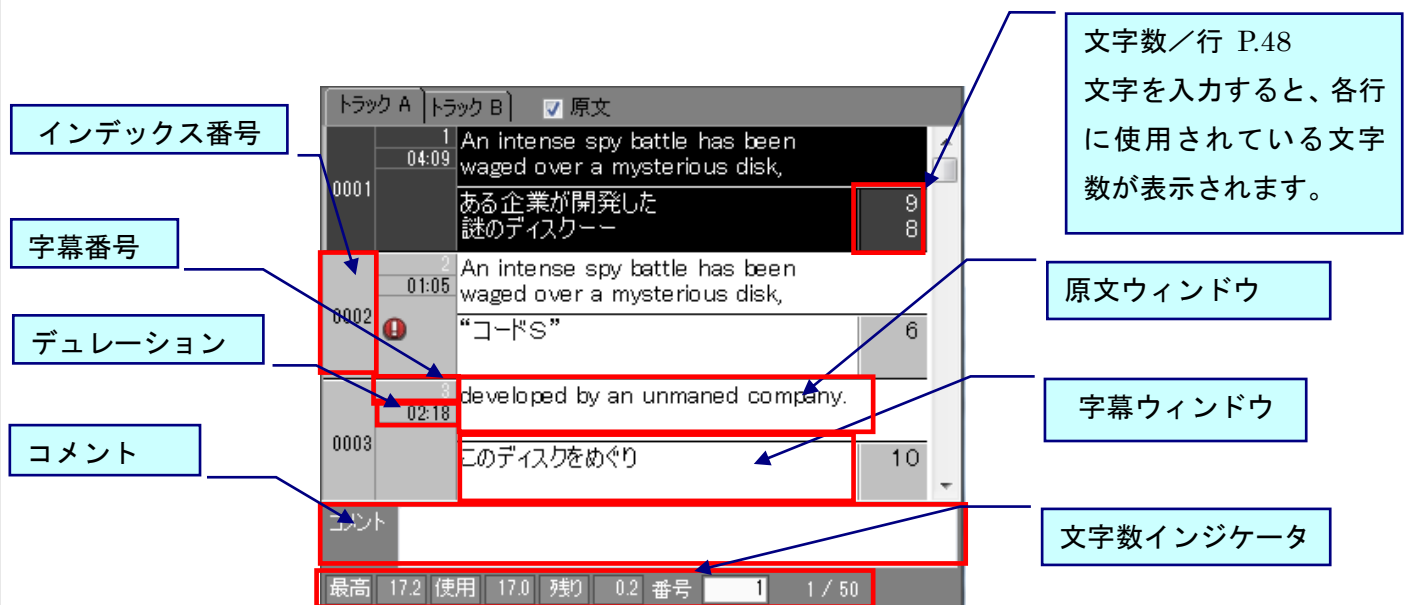


2. 字幕ウィンドウに文字を入力し、スペースキーで変換します。





○テキストウィンドウの拡大図



インジケータで次の情報を確認しながら、テキストを入力します。

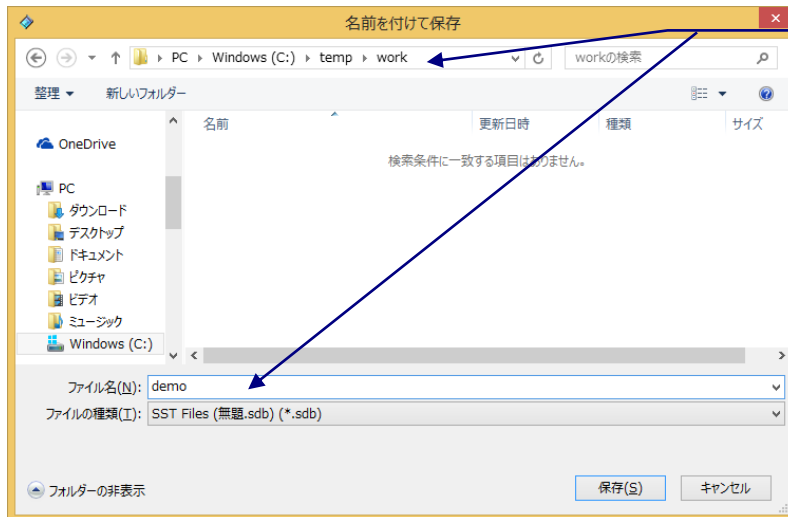
- ・ [最高文字数インジケータ]：使用できる文字数
- ・ [使用文字数インジケータ]：使用されている文字数
- ・ [残り文字数インジケータ]：使用できる残りの文字数
- ・ [番号]：現在アクティブになっている字幕番号

グレー部分の数字は、「現在の字幕番号／トータルの字幕枚数」を表します。

《作業中のプロジェクトファイルを保存する》

作業中の字幕データ (.sdb) を保存します。

1. [ファイル] メニューの [名前を付けて保存] をクリックします。




2. ファイル名と保存先を指定します。



3. プロジェクトファイル (.sdb) が保存されました。

○上書き保存

[ファイル] メニューの [上書き保存] を選択するか、ツールバーの  をクリックしてください。作業中はこまめに上書き保存することをお勧めします。

《プロジェクトファイルと映像ファイルをひも付ける》

映像ファイルを開いた状態でプロジェクトファイルの保存を行うことで、映像ファイルとプロジェクトファイルのひも付けがされ、次回からプロジェクトファイルを開くと、保存した時に開いていた映像ファイルも自動的に開くようになります。

《注意点》

- ・ ひも付けを行った映像ファイルの保管場所を移動した場合は、映像ファイルは開きません。
- ・ 同名の映像ファイルでも、映像ファイルの差し替えなどを行った場合は、映像ファイルは開きません。

《SSTG1用に24Frで保存》

SSTG1Pro において 23.976 の映像を利用して作成した sdb ファイルを SSTG1 ユーザーに渡す場合のための専用の sdb セーブ機能です。SSTG1Pro 上で 23.976 の映像で作成した sdb (24P) を「24Fr」の設定にフレームタイプ変換して保存します。

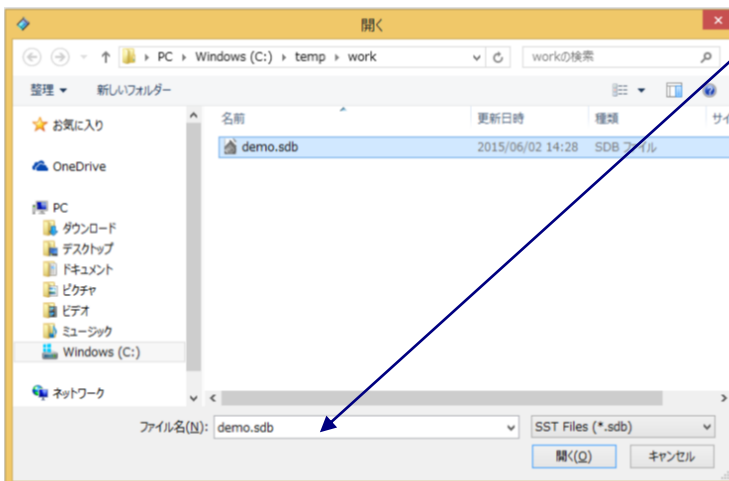
[ファイル] メニューの [SSTG1 用に 24Fr で保存] を選択してください。

※「SSTG1 用に 24Fr で保存」が使えるのは、ワーク映像のフレームレートが 23.976fps のファイルを利用している時のみご利用いただけます。

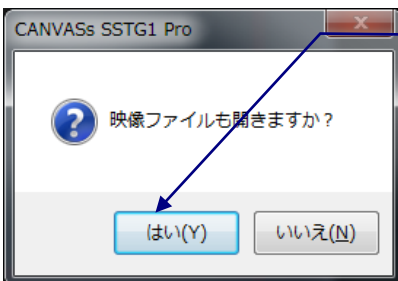
《既存のプロジェクトファイル (.sdb) を開く》

名前のついたプロジェクトファイルを開きます。

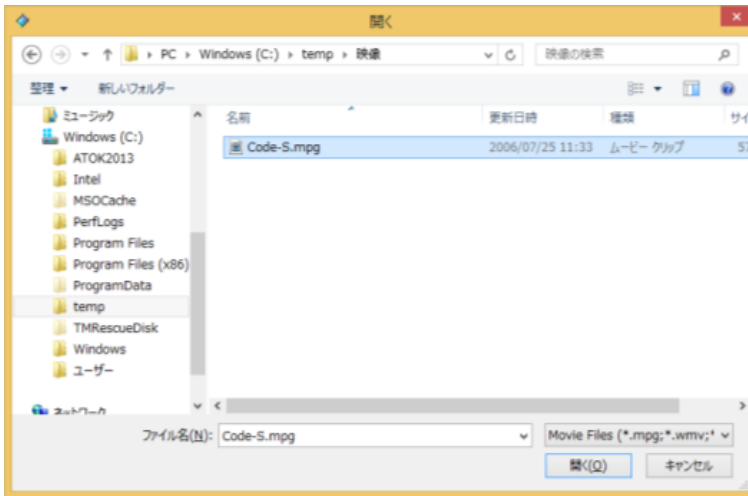
1. [ファイル] メニューから [プロジェクトファイルを開く] をクリックするか、ツールバーの [開く] ボタンをクリックします。



2. プロジェクトファイル (.sdb) を選択し、[開く] をクリックします。



3. 過去に映像ファイルを開いていない場合、「映像ファイルも開きますか?」というメッセージが表示されます。[はい] をクリックします。
※過去に映像ファイルを開いて保存をした場合、メッセージは表示されず、自動で映像ファイルも開きます。



4. [はい]を選択した場合、映像ファイルを選択します。
[いいえ]を選択した場合は、字幕データとスポッティングデータのみ反映されます。

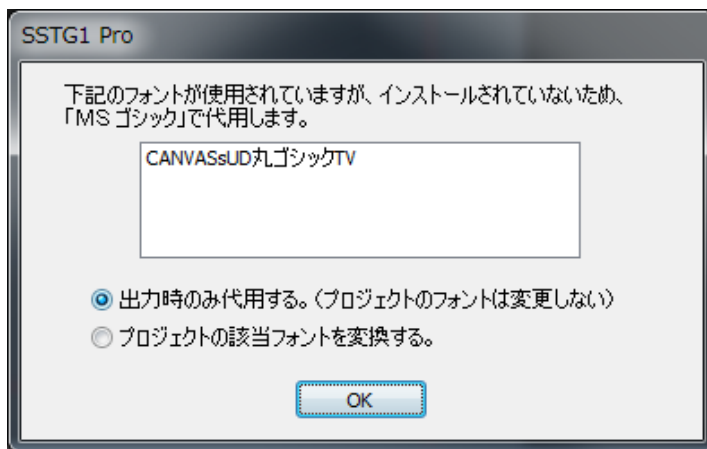
○映像データ・字幕データ・スポッティングデータが取り込まれます。



SST G1Proが起動していなくても、sdbファイルをダブルクリックするだけでSST G1Proが立ち上がり、映像データ・字幕データ・スポッティングデータが読み込まれます。

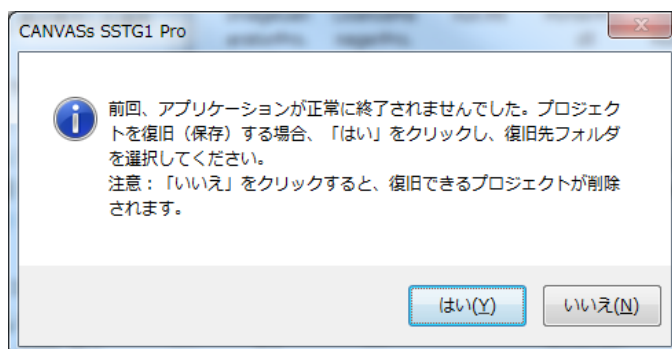
起動後、映像を取り込む時は、[ファイル]メニューから[映像ファイルを開く]を選択してください。

○プロジェクトファイルで使用されているフォントがインストールされていない場合、下記のメッセージが表示されます。



《復旧されたプロジェクトファイルを開く》

プロジェクト ファイル が開いた状態で SST G1Pro が正しく終了されなかった場合、次回起動したときに、下記のようなメッセージが表示されます。[はい]を選択し、保存場所を指定すると sdb ファイルとして保存することができます。

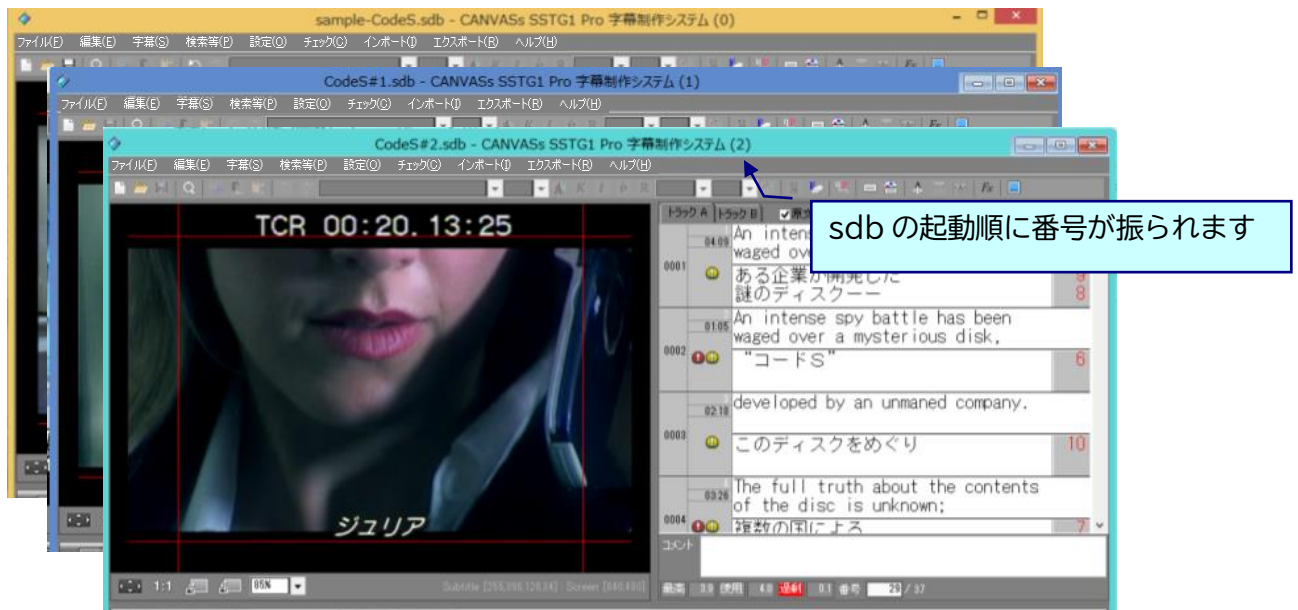


《多重起動》

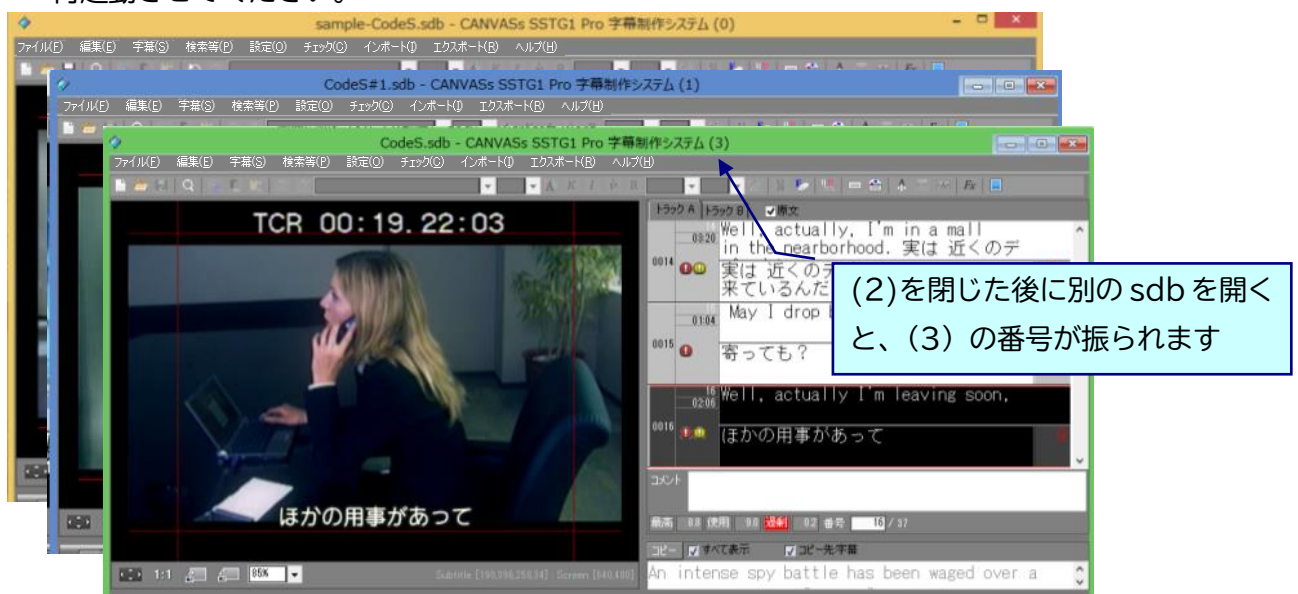
SSTG1Pro を既に起動した状態で、SSTG1Pro のアイコンをダブルクリックすると、別ウィンドウで SSTG1Pro が起動します。

また、別の sdb ファイルをダブルクリックすると、別ウィンドウでプロジェクトファイルを開くことができます。

○別ウィンドウでプロジェクトファイルを開くと、ウィンドウ上部に(0)(1)(2)(3)・・・というように、起動順に番号が振られます。



○(0)(1)(2)と開き、途中で(2)を閉じた後に更に別の sdb を開いた場合は、(3)の番号が振られます。ウィンドウ番号を一旦リセットしたい場合は、全てのウィンドウを閉じ、SSTG1Pro を再起動させてください。



※多重起動時のユーザー設定について

ユーザー設定を変更する場合は 1 画面のみ開いた状態で設定を行ってください。

※多重起動時のショートカット設定について

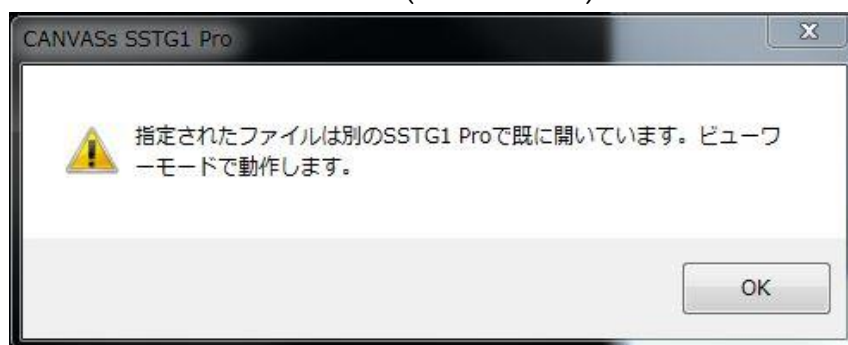
設定後、全てのウィンドウを閉じた後に反映されます。

※多重起動時のフォーマット設定について

フォーマットをリストに追加した直後から、開いている全てのウィンドウのフォーマットリストに追加されます。

※多重起動時に同じ sdb ファイルを開いた場合。

多重起動時に同じ sdb ファイルを開く際は、下のようなメッセージが出て、後から開く sdb ファイルがビューワモード(読み取り専用)として開きます。



ビューワモードで開いている sdb ファイルには、編集を加えることができません。

《注意点》

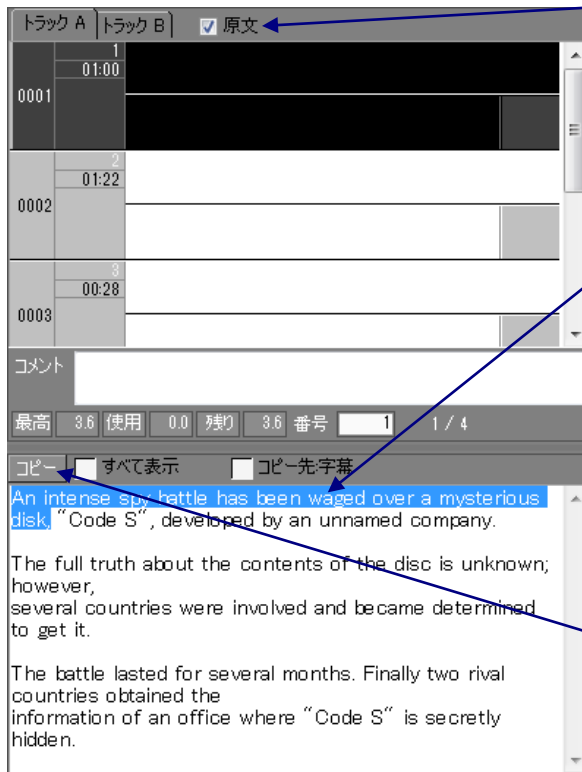
- ・ 本バージョンでは下記の場合における多重起動について動作保証しておりません。
 - オーバーレイ使用時の多重起動
- ・ sdb ファイルを、先に開いているプロジェクトの画面上にドラッグした場合には、別ウィンドウで開かずに、先に開いているプロジェクトファイルが閉じ、ドラッグしたプロジェクトファイルが開きます。

原文ウィンドウと台本ウィンドウについて

《ハコ割り》

ハコ割りとは、台本を字幕ごとに分割することで、[台本ウィンドウ]で選択したテキストを[原文ウィンドウ]へ移動します。

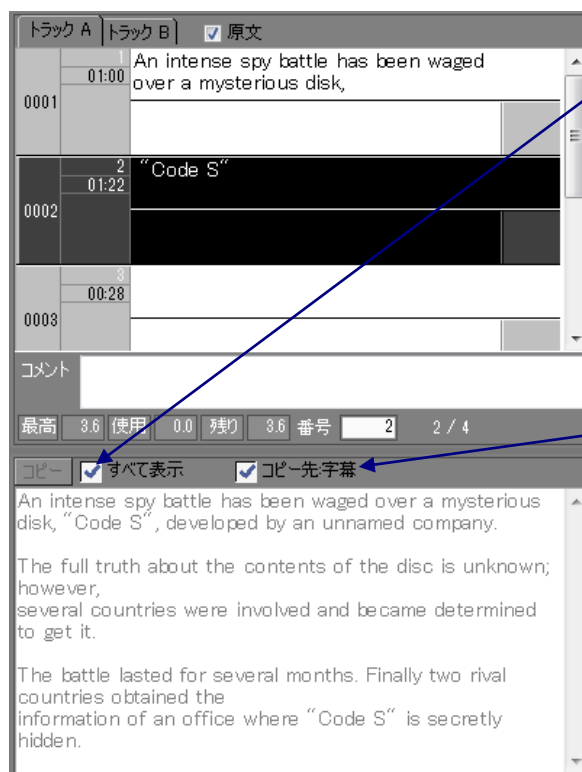
台本のインポート方法は、P.62 を参照ください。



1. [原文]にチェックを入れると原文ウィンドウが表示されます。

2. 任意の原文ウィンドウにカーソルを合わせた後、[台本ウィンドウ]のコピーしたいテキストを選択します。

3. [コピー]ボタンをクリックすると、原文ウィンドウにテキストが貼り付けされます。この場合、台本はウィンドウから切り取られません。



[すべて表示]にチェックを入れると、台本全体が再表示されます。

チェックを入れたまま、コピーすることも可能です。この場合は、台本ウィンドウから切り取られません。


[コピー先: 字幕]にチェックを入れると、字幕ウィンドウにテキストが貼り付けされます。

便利機能

《全画面表示》

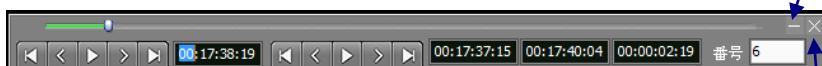
主にプレビューする時に使用します。



ツールバーの[全画面表示]
 をクリックするとビデオ
ウィンドウが全画面表示され
ます。

映像再生中にこの操作はでき
ません。

セーフティマーカーを消す場合は、[ユーザー設定]の[画面表示]で[セーフティエリアを表示する]のチェックを外します。



ビデオコントローラーは、こ
の-をクリックすると消えま
す。

コントロールバーを消した状
態で左クリックするとコント
ロールバーが表れます。

×をクリックすると元の操作
画面に戻ります。

《コメント機能》

現字幕にコメント(申し送り)をつけることができます。

トラック A | トラック B | 原文

| | | | |
|------|-------|--|--------|
| 0001 | 1 | An intense spy battle has been waged over a mysterious disk, | 9 8 |
| | 04:09 | ある企業が開発した謎のディスクー | |
| 0002 | 3 | An intense spy battle has been waged over a mysterious disk, | 6 |
| | 01:05 | “コードS” | |
| 0003 | 8 | developed by an unmaned company. | 10 |
| | 02:18 | このディスクをめぐる | |

コメント <http://canvass.co.jp/> 参照

1. コメントを付けたい字幕ウィンドウを選択し、コメントを入力します。

2. コメントを付けた字幕には、このように黄色いレターマークが表示されます。

- ・コメント欄の文字を消すと、レターマークも消えます。
- ・コメント欄の内容を Excel に出力することができます。
見直し用リスト (Excel) のエクスポートを参照ください。

《sdb検索》

特定フォルダ内のプロジェクトファイルの字幕・原文を検索することができます。
(サブフォルダも検索されます)

1. [検索等] メニューの [sdb 検索] をクリックします。

2. 検索するフォルダを指定します。
サブフォルダも含めて検索します。

検索場所
フォルダ: C:\temp

検索情報
キーワード: ジュリア スパイ
種類: 字幕 原文

検索方法
絞り込み: OR AND

検索開始

検索結果:

| プロジェクト | Track | Index | 字幕No. | 原文 | 字幕 | コメント | フォルダ |
|-------------------|-------|-------|-------|---------------------|---------------|------|-------------|
| sample-CodeS.s... | A | 8 | 8 | An expert spy. ... | スパイのひとりジュリ... | | |
| sample-CodeS.s... | A | 29 | 29 | Julia? | ジュリア | | |
| sample-CodeS.s... | A | 4 | 4 | The full truth a... | 複数の国によるスパ... | | |
| CodeS#2.sdb | A | 8 | 8 | An expert spy. ... | スパイのひとりジュリ... | | |
| CodeS#2.sdb | A | 29 | 29 | Julia? | ジュリア | | |
| CodeS#2.sdb | A | 4 | 4 | The full truth a... | 複数の国によるスパ... | | C:\temp#040 |
| CodeS#1.sdb | A | 8 | 8 | An expert spy. ... | スパイのひとりジュリ... | | C:\temp#sst |
| CodeS#1.sdb | A | 29 | 29 | Julia? | ジュリア | | C:\temp#sst |
| CodeS#1.sdb | A | 4 | 4 | The full truth a... | 複数の国によるスパ... | | C:\temp#sst |

9件見つかりました。

3. 検索するキーワードと種類を指定します。

4. 検索方法を指定します。

5. [検索開始] をクリックします。

- ・ 検索場所で指定したフォルダ内に開いている sdb ファイルが存在した場合、その sdb ファイルも検索対象です。但し当該 sdb ファイルを保存しておく必要があります。
- ・ 複数のキーワードをスペースで区切ることによって複数検索が行えます。
(上記の場合はジュリアとスパイの OR 検索)

6. ヒットした場合、検索結果に表示されます。

検索結果:

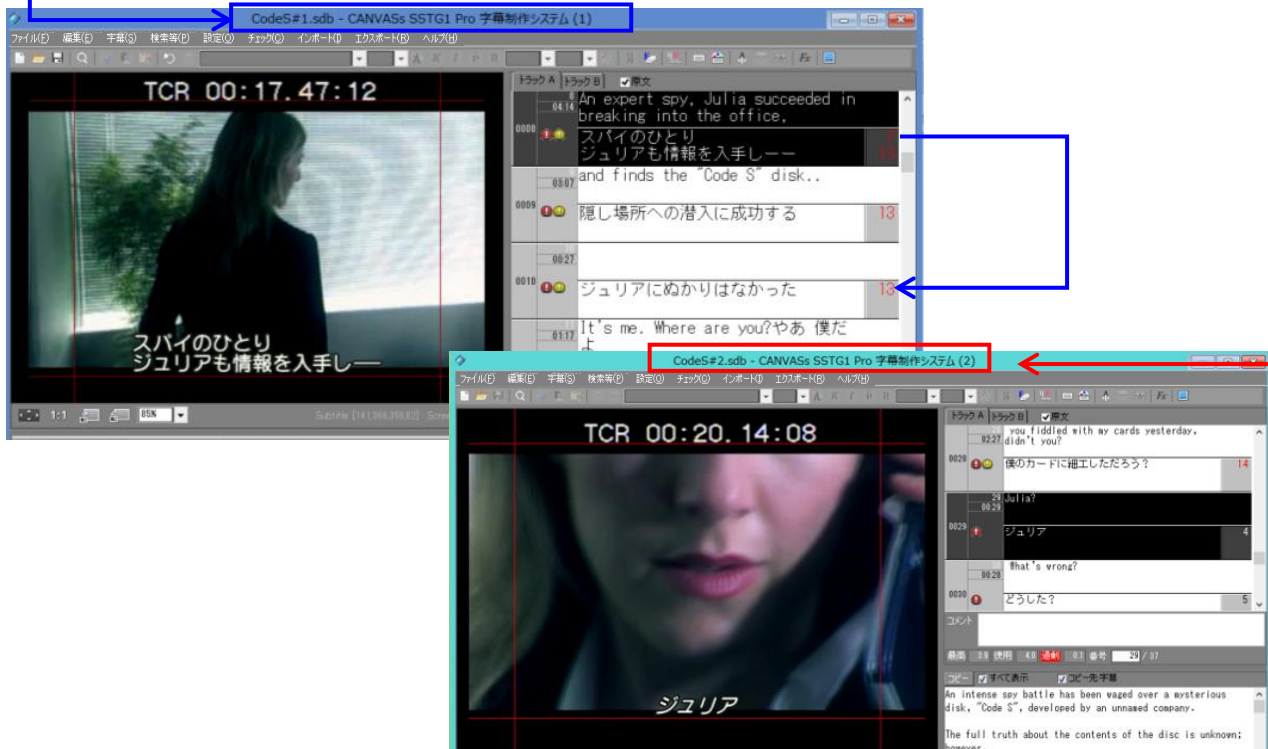
| プロジェクト | Track | Index | 字幕No. | 原文 | 字幕 |
|-------------------|-------|-------|-------|---------------------|--------------|
| sample-CodeS.s... | A | 8 | 8 | An expert spy, ... | スパイのひとりノ... |
| sample-CodeS.s... | A | 29 | 29 | Julia? | ジュリア |
| sample-CodeS.s... | A | 4 | 4 | The full truth a... | 複数の国による... |
| CodeS#1.sdb | A | 8 | 8 | An expert spy, ... | スパイのひとりノ... |
| CodeS#1.sdb | A | 10 | 10 | Julia? | ジュリアにぬかりは... |
| CodeS#1.sdb | A | 30 | 29 | Julia? | ジュリア |
| CodeS#1.sdb | A | 4 | 4 | The full truth a... | 複数の国による... |
| CodeS#2.sdb | A | 8 | 8 | An expert spv... | スパイのひとりノ... |
| CodeS#2.sdb | A | 29 | 29 | Julia? | ジュリア |
| CodeS#2.sdb | A | 4 | 4 | The full truth a... | 複数の国による... |

7. 検索結果の行をダブルクリックすると、該当箇所の sdb ファイルが開きます。

○既に開かれている sdb の検索結果をダブルクリックした場合は、sdb は別ウィンドウでは開かずに該当の箇所へ移動します。



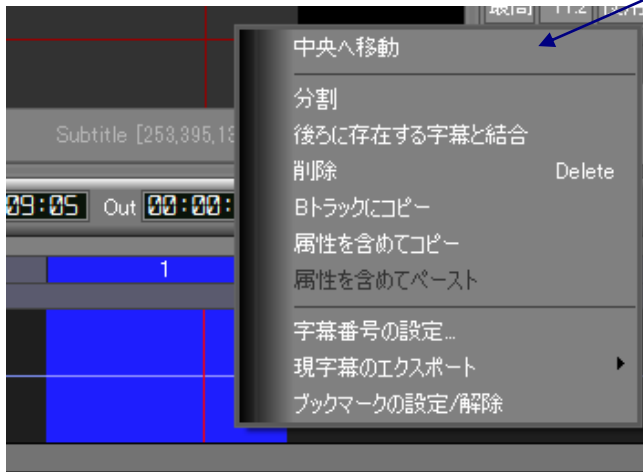
○開かれていない sdb の検索結果をダブルクリックした場合は、sdb ファイルが別ウィンドウで開き（多重起動）、当該ダブルクリック箇所へジャンプします。また同一プロジェクト内であれば、検索結果をダブルクリックすることで該当箇所へジャンプします。



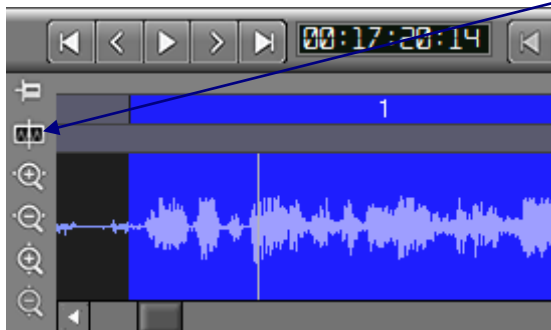
音声波形ウィンドウ上で編集

《現字幕を画面の中央に移動する》

スポッティングの表示位置を画面の端から中央に移動したい時に使用します。



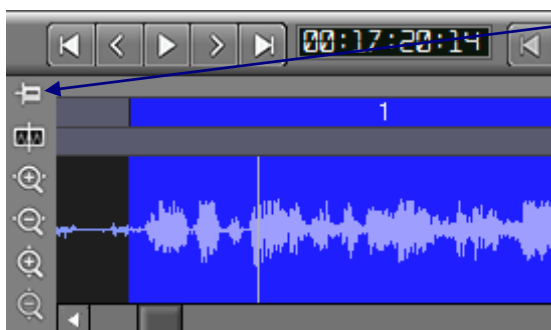
移動したいスポッティングにカーソルをおき、右クリックして[中央へ移動]を選択します。



このアイコンをクリックして中央へ移動することもできます。

《編集をロックする》

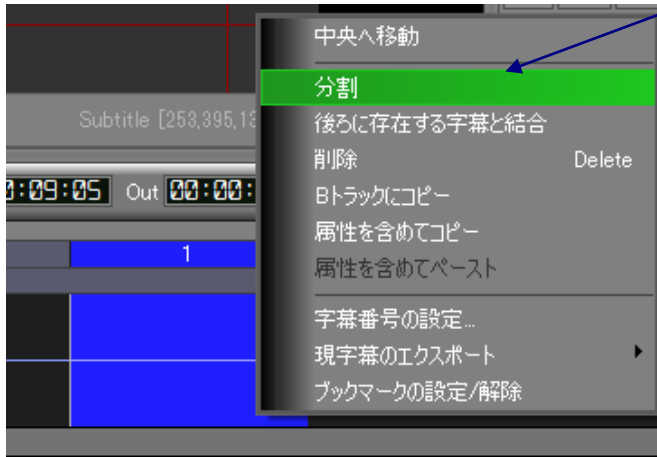
編集中のスポッティングが調整できないようロックします。



このアイコンをクリックすると編集がロックされます。スポッティングをとったり、微調整をすることができません。

《字幕の分割》

長いスポッティングを2つに分ける場合に使用します。



1. スポッティングの分割したい場所にカーソルを合わせ、右クリックして[分割]を選択します。
分割した位置が、次の字幕のイン点になります。

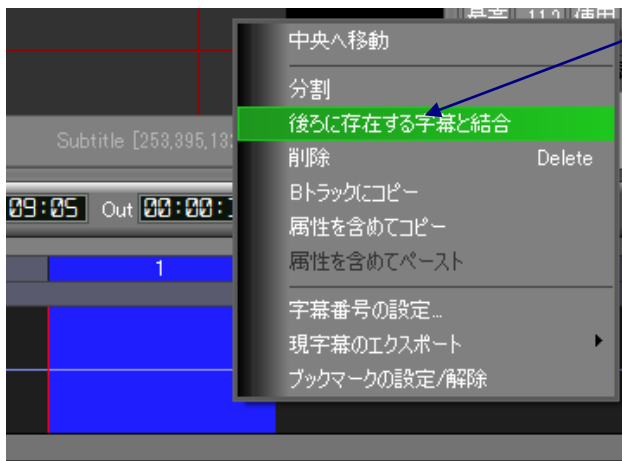


2. 原文と字幕は、前後同じものが表示されますので、それぞれ余分なテキストを削除します。

分割後の後ろの字幕番号は、前の字幕番号の枝番になります。

《字幕の結合》

2つのスポッティングを結合し、1つにします。



1. 結合したい2つのスポッティングの「前の」スポッティングにカーソルをおき、右クリックして[後ろに存在する字幕と結合]を選択します。

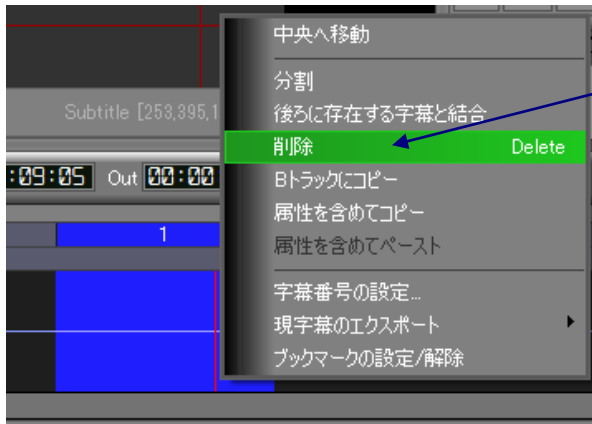


2. 前後の原文と字幕が2行になって表示されます。
(前の字幕が1行目、後ろの字幕が2行目)

結合後、後ろの字幕番号は消去されます。

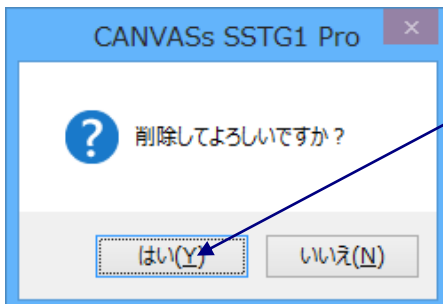
《現字幕の削除》

スポッティングを削除します。



1. 削除したいスポッティングを右クリックして、[削除]を選択します。

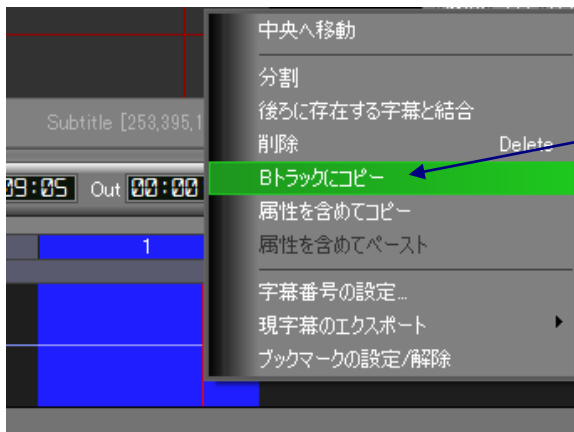
キーボードの[Delete]でも削除できます。



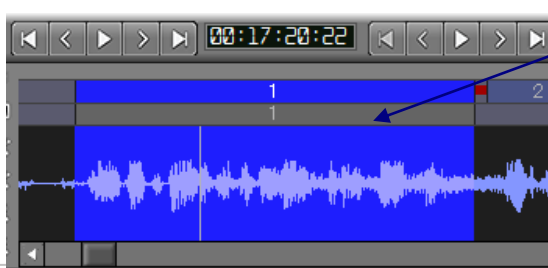
2. [はい] をクリックします。

《Bトラックにコピーする》

Aトラックと同じタイミングのスポッティングをBトラックにコピーします。その逆も可能です。



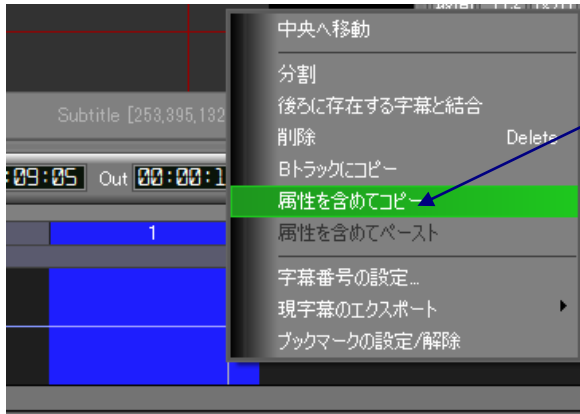
1. コピーしたいスポッティングにカーソルをおきます。右クリックして[Bトラックにコピー]を選択します。



2. コピーされました。この場合、字幕テキストもコピーされます。字幕が重なって見えるので、どちらかの字幕を削除または変更してください。

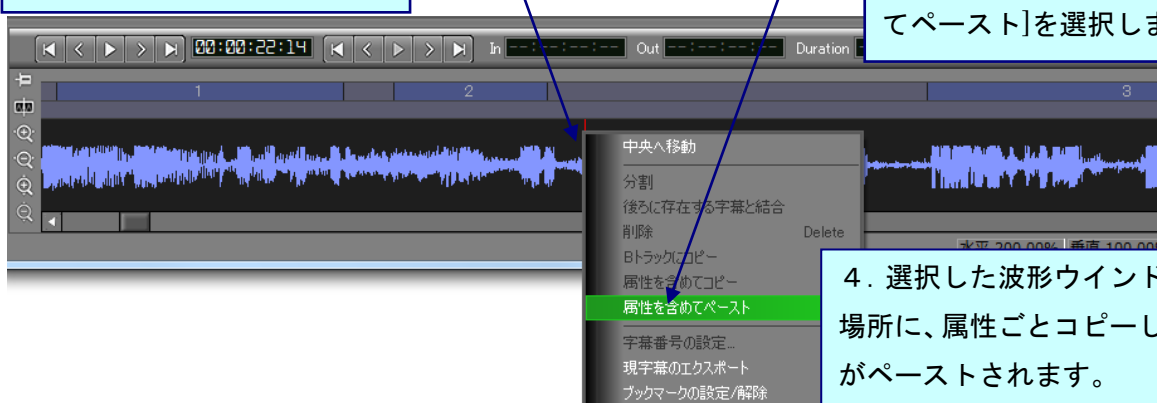
《属性を含めてコピー／属性を含めてペースト》

選択した字幕内の字幕と属性（フォントの種類・色・ルビ・斜体・傍点 etc…）をコピーし、波形ウィンドウ上へペーストします。



1. コピーしたいスポッティングにカーソルをおきます。右クリックして[属性を含めてコピー]を選択します。

2. 波形ウィンドウ上の空いている箇所を選択します。



3. 右クリック→[属性を含めてペースト]を選択します。

4. 選択した波形ウィンドウ上の場所に、属性ごとコピーした内容がペーストされます。

※コピー元のハコごと波形ウィンドウ上にペーストされるため、表示時間はコピー元のデュレーションに依存します。

※ペースト先に、コピー元のハコの表示時間分の空きがない場合（例えば 2 秒のハコをコピーしているのに、ペースト先に 1 秒分の空きしかない場合）、ペーストはできません。

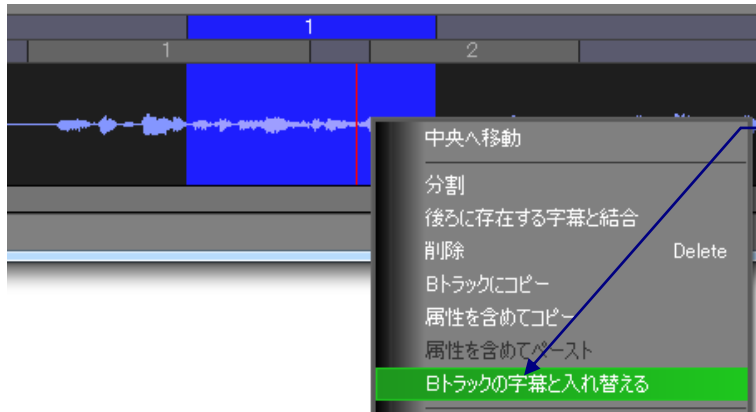
※複数字幕をコピー＆ペーストすることも可能です。その場合、コピーした字幕の表示時間分、ペースト先に空きが必要になります。

※別の sdb へペーストした場合、デフォルトフォーマットで設定されている属性はコピーされません。ペースト先のデフォルトフォーマットが反映されます。

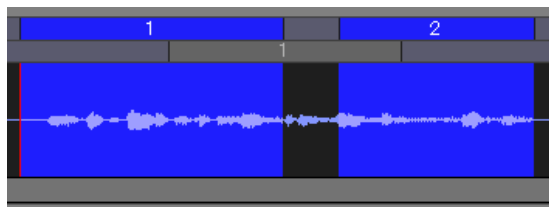
※フレームレートが異なる sdb 間で貼り付けを行うとタイムコードの数値が変わってしまいますので、フレームレートが同一の sdb 間で行うか、ペースト後調整を行うようにしてください。

《Bトラックの字幕と入れ替える》

AトラックとBトラックのタイミングが重なっているスポッティングを入れ替えます。その逆も可能です。



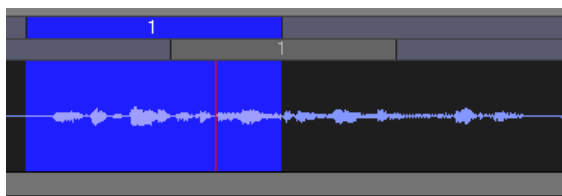
1. 入れ替えたいスポッティングにカーソルをおきます。右クリックして[Bトラックの字幕と入れ替える]を選択します。(複数選択も可能です)



2. AトラックとBトラックのスポッティングが入れ替わります。

ただし、入れ替える相手の字幕が、入れ替え元の字幕以外の字幕と、入替後に重なってしまう場合は入れ替えることができません。また、ABトラックが重なっていない箇所ではこのメニューは選択できません。

<入れ替え可能>



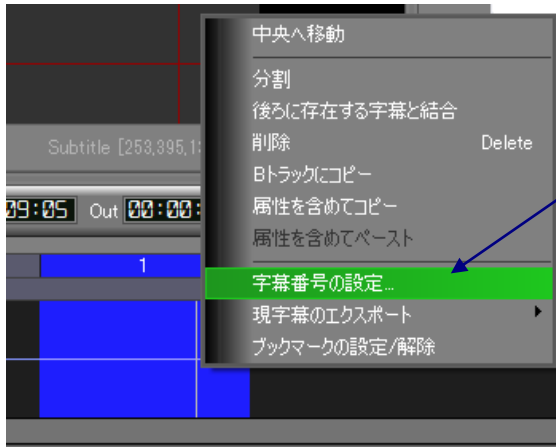
<入れ替え不可>



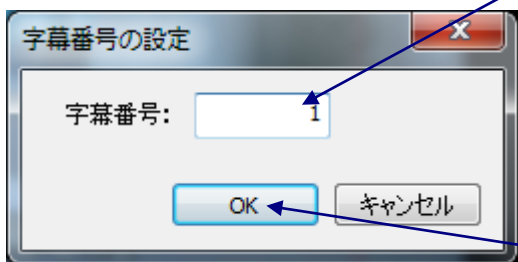
B1の字幕にA2の字幕が重なってしまうため、入れ替えられません。

《字幕番号の設定》

現字幕に任意の番号または文字列を設定します。



1. 字幕番号を設定したいスポッティングにカーソルをおき、右クリックして[字幕番号の設定]を選択します。

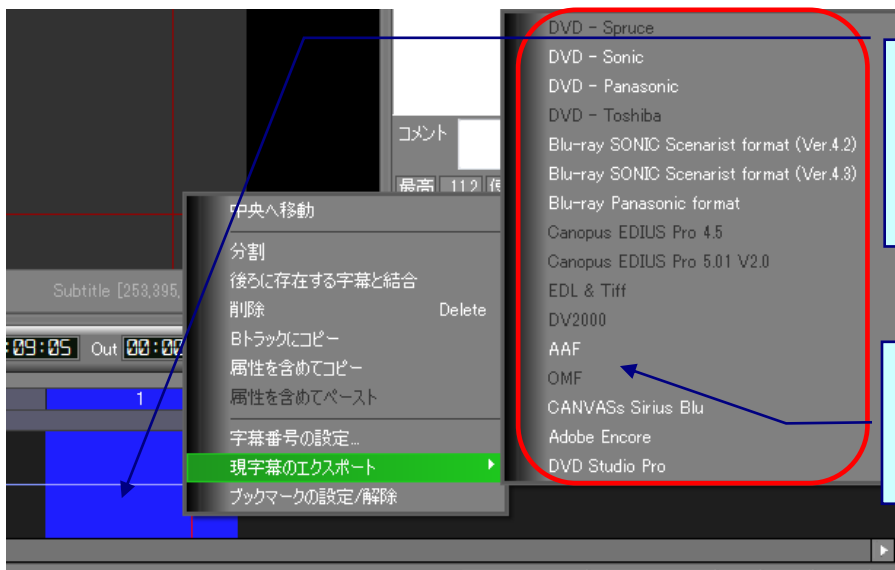


2. 字幕番号または文字列を入力します。

3. [OK]をクリックします。

《現字幕をエクスポートする》※オプション

現字幕だけを任意のファイル形式にエクスポートします。エクスポートメニューを参照。



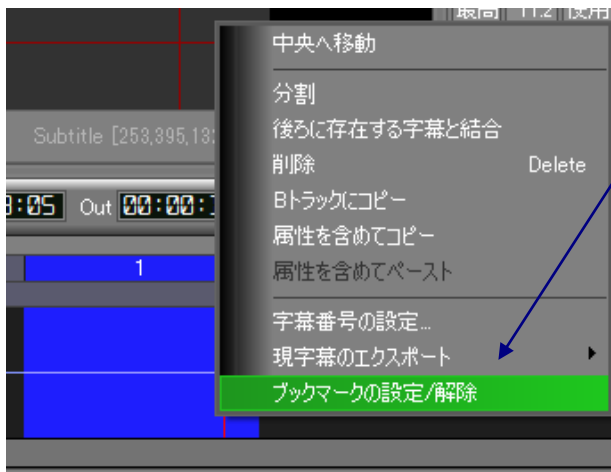
1. エクスポートしたい字幕にカーソルをおき、右クリックして[現字幕のエクスポート]を選択します。

2. リストが表示されるので、該当する項目を選んでクリックし、各種設定をします。

《ブックマークの設定／解除》

指定したタイムコードにブックマークをつけることができます。

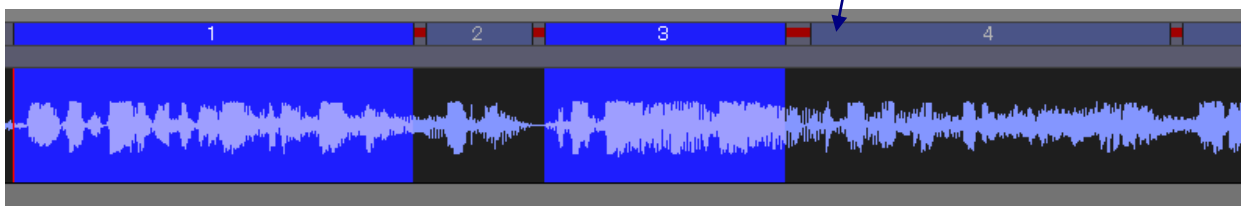
1. ブックマークを付けたい（または、解除したい）音声波形上にカーソルを置きます。



2. [ブックマークの設定／解除]を選択します。

《字幕の複数選択》

波形ウィンドウ上で Alt キーを押しながら、該当の字幕を左クリックすることで、複数の字幕が波形ウィンドウ上で個別に選択します。



Alt を押しながら左クリックで字幕を選択します。

また、波形ウィンドウ上で Shift キーを押しながら字幕を左クリックで選択することで、字幕の範囲選択が可能です。

字幕ウィンドウ上で編集

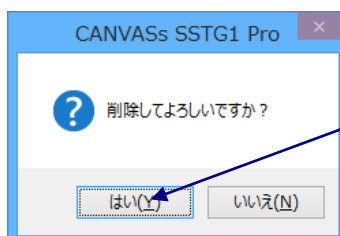
字幕ウィンドウの編集機能は、Shift キーまたは Ctrl キーを押しながら、複数の字幕ウィンドウを選択すると一括変更できます。

! フォーマット情報で個別に設定を変えるためには、高等編集オプションが必要になります。
(フォントの種類、フォント・エッジの色、フォント・エッジのサイズ、カーニング・レディング、マスク、フェードはオプションです。)

《字幕を削除する》

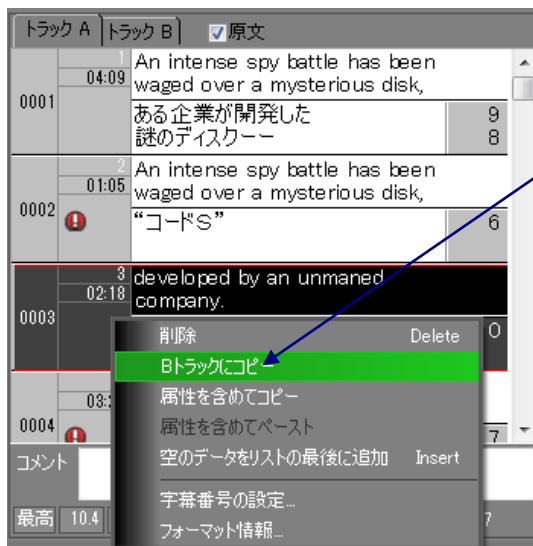


1. 削除したい字幕ウィンドウを右クリックして、[削除]を選択します。



2. [はい] をクリックします。

《Bトラックにコピーする》



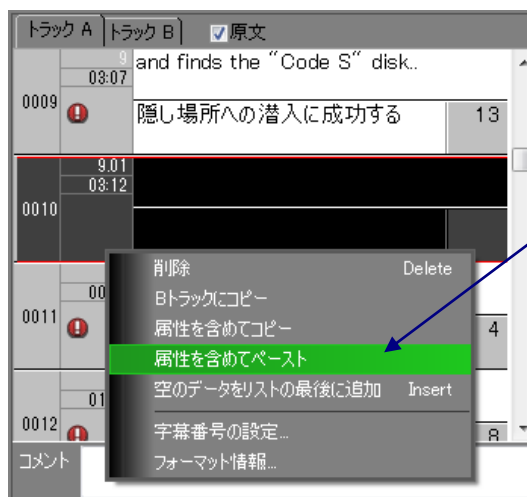
コピーしたい字幕ウィンドウを右クリックして、[Bトラックにコピー]を選択します。字幕が重なって見えるので、どちらかの字幕を削除または変更してください。

《属性を含めてコピー／属性を含めてペースト》

選択した字幕内の字幕と属性（フォントの種類・色・ルビ・斜体・傍点 etc…）をコピーし、空の字幕へペーストします。



1. コピーしたい字幕を選択し、右クリックして[属性を含めてコピー]を選択します。



2. あらかじめ作成しておいた、空の状態のハコを選択し、右クリックして[属性を含めてペースト]を選択します。

3. 選択したハコに、属性ごとコピーした内容がペーストされます。

※字幕の表示時間（デュレーション）はペーストされず、ペースト先のハコの表示時間に依存します。

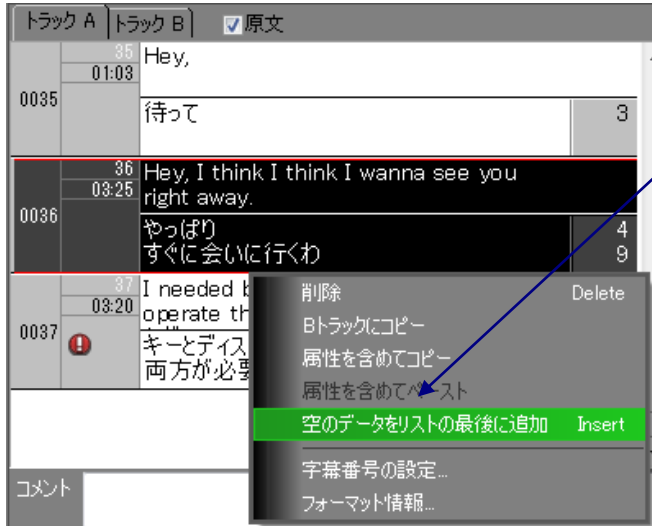
※ペースト先の字幕に既に字幕が入力されている場合、ペーストはできません。

※複数字幕をコピー&ペーストすることも可能です。その場合、コピーした字幕の数分、空の状態のハコが必要になります。

※別の sdb へペーストした場合、デフォルトフォーマットで設定されている属性はコピーされません。ペースト先のデフォルトフォーマットが反映されます。

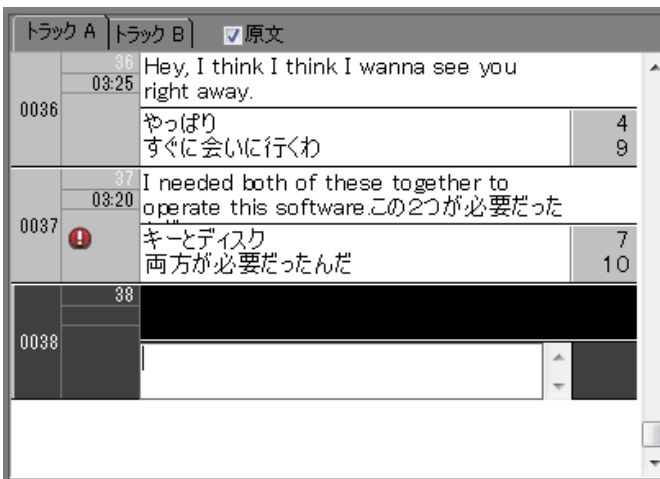
《空のデータをリストの最後に追加》

先にスポッティングをとらずに空の字幕ウィンドウを作り、後からスポッティングをとる時に使用します。



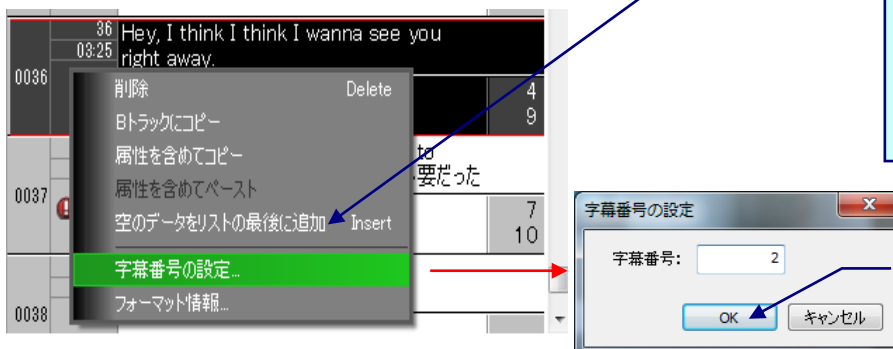
字幕ウィンドウを右クリックして、[空のデータをリストの最後に追加]を選択します。

字幕ウィンドウをアクティブにしたまま、Insert キーを押すだけでも空ボックスができます。



《字幕番号の設定》

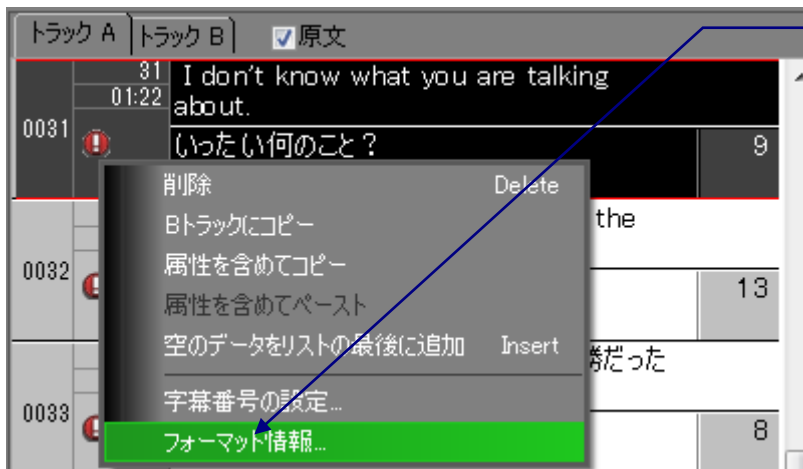
現字幕に任意の番号または文字列を設定します。



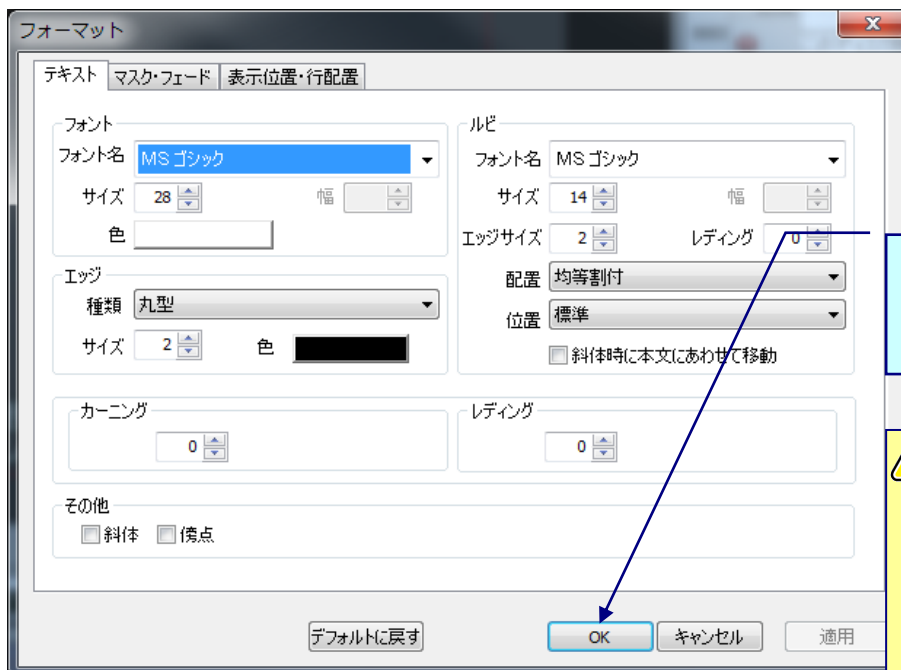
1. 字幕番号を設定したい字幕ウィンドウ、を右クリックして、[字幕番号の設定]を選択します。

2. 任意の番号または文字列を入力して、[OK]をクリックします。

《フォーマット情報》



1. 字幕ウィンドウを右クリックして、[フォーマット情報]を選択します。



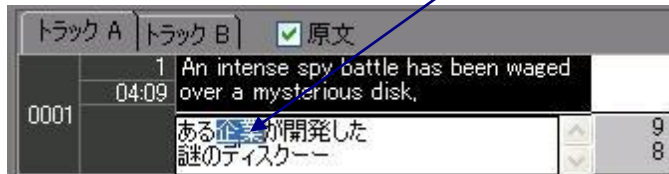
2. 設定が終わったら、[OK]をクリックします。

⚠下記の項目はオプションになります。

- ・フォントの種類
- ・フォント・エッジのサイズ
- ・フォント・エッジの色
- ・カーニング・レディング
- ・マスク・フェード

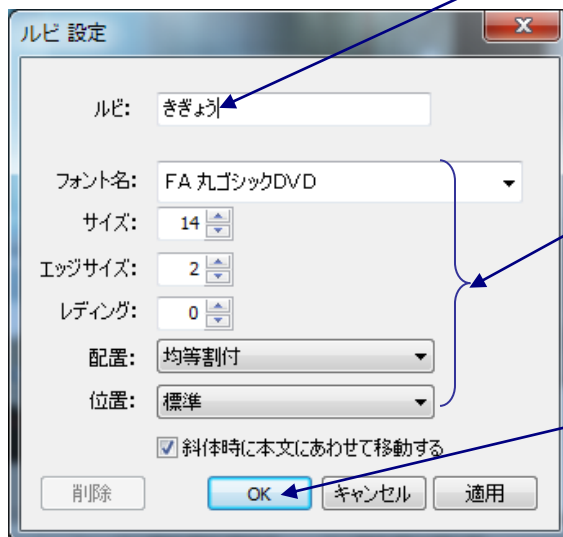
エフェクト

《ルビ》



1. ルビを振りたい文字を選択し、ツールバーの **R** をクリックします。

2. ルビを入力します。



必要があれば、各種設定を行います。
個別設定はオプションになります。

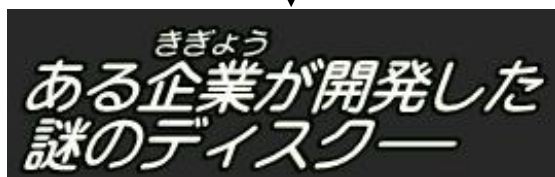
3. [OK]をクリックします。

きぎょう
ある企業が開発した

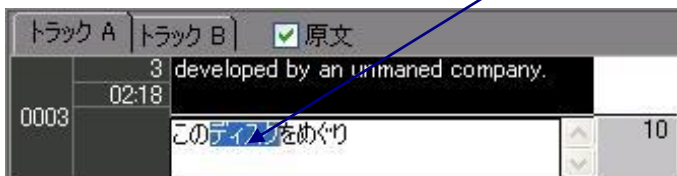
《イタリック（斜体）》



イタリックにしたい文字を選択し、ツールバーの **I** をクリックします。



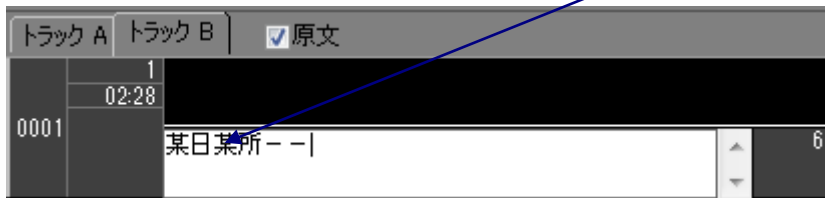
《傍点（強調点）》




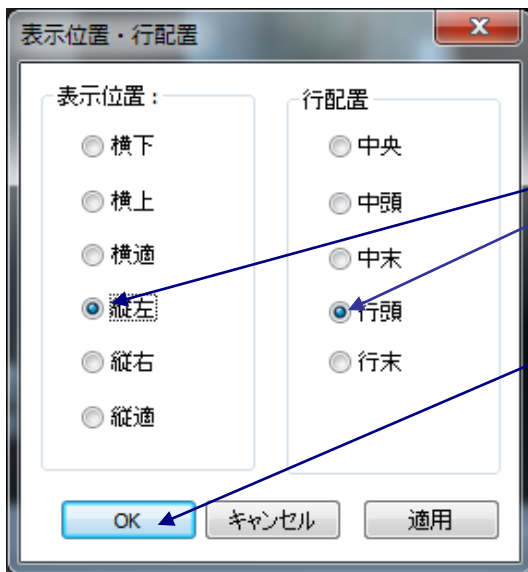
傍点を振りたい文字を選択し、ツールバーの **P** をクリックします。



《表示位置・行配置（ポジション）》

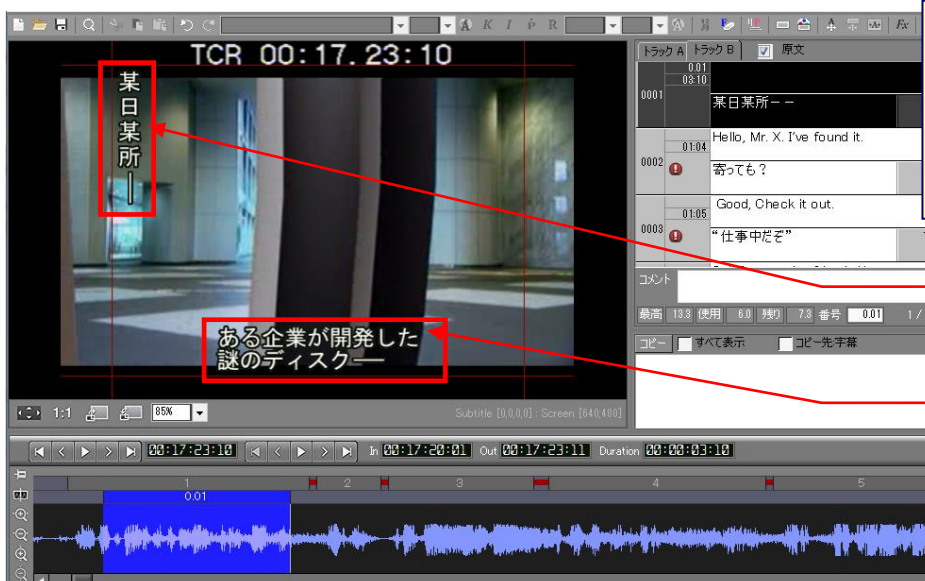


1. ポジションを変更したい字幕ウィンドウをアクティブにし、ツールバーの  をクリックします。



2. 表示位置・行配置を選択します。

3. [OK]をクリックします。



このように、表示位置を変えることで、AトラックとBトラックの2つの字幕が同時に表示できます。

トラック B

トラック A

《フォント及びエッジの種類、サイズの設定》



1. サイズやエッジの種類を変えたい文字を選択します。

・フォントの種類、サイズを変える



2. ツールバーからそれぞれを選択します。

・エッジの種類、サイズを変える



エッジの種類は、丸型・角型・シャドウから選べます。

○エッジイメージ

・丸型



・角型





・シャドウ

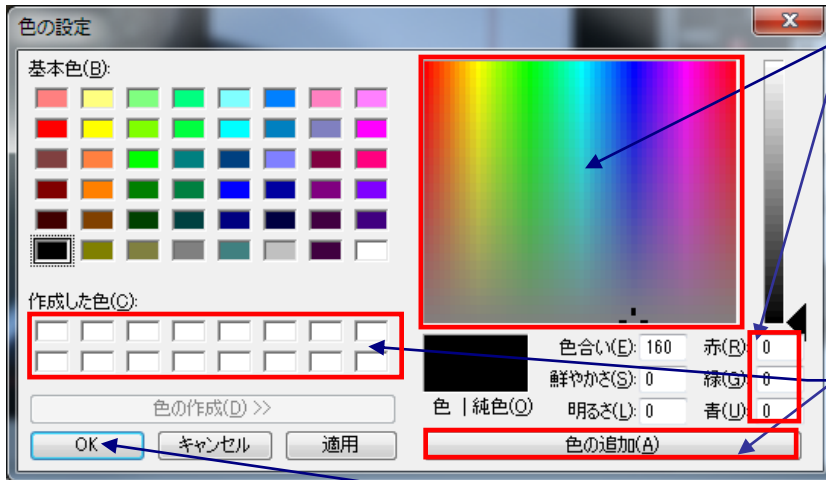


《フォント・エッジの色の設定》



1. 色を変えたい文字を選択し、文字色を変える場合は、ツールバーの  をクリック、エッジの色を変える場合は  をクリックします。

2. 色を選択します。



この画面上の色をクリックして、好みの色を作ることができます。もしくは、R・G・Bの数値でも色を指定できます。

作成した色を保存することができます。

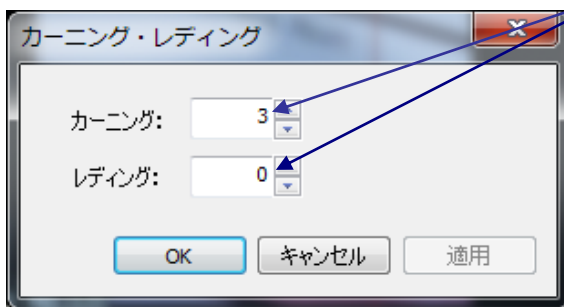
3. [OK]をクリックします。

《カーニング・レディング》

カーニングは文字と文字の間隔(文字間)、レディングは字幕の行と行の間隔(行間)のことを指し、この機能でそれぞれの間隔を調整することができます。



1. 調整したい文字を選択し、ツールバーの **K** を選択します。

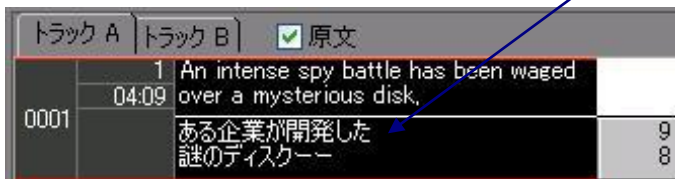



2. それぞれ数値を入力します。数値を大きくすると間隔が広く、小さくすると狭くなります。マイナス値の入力も可能です。

《文字の自由位置》

ベースラインで決められた位置以外に手動で自由に字幕を配置することができます。

◇マウス or 矢印キーで動かす場合



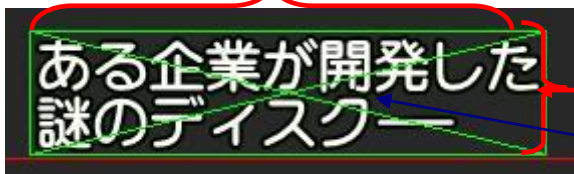
1. 移動させたい字幕ウィンドウを選択し、ツールバーの  をクリックします。もしくは、ビデオウィンドウ上に表示された文字を直接クリックします。

・ビデオウィンドウ右下の座標軸の表示（ピクセル単位）



座標軸の見方（左からの数値の説明）

- ・ 223 : 画面の一番左からの距離
- ・ 121 : 画面の一番上からの距離
- ・ 187 : 字幕の横の長さ
- ・ 32 : 字幕の縦の長さ



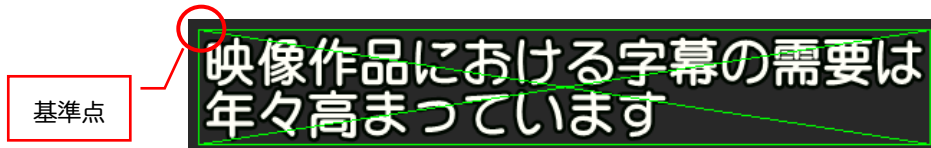
2. このような表示になったら、矢印キーもしくはマウスで移動させます。

◇数値を入力して動かす場合

1. 移動させたい字幕を字幕ウィンドウもしくは波形ウィンドウ上で選択（複数選択可）
2. 右クリック→[自由位置設定] もしくは[字幕]メニュー→[自由位置設定] を選択

[基準点]

ビデオウィンドウ上で字幕をクリックすると、下記画像のように緑線の枠が表示されます。この枠線の左上を基準として、自由位置は移動します。



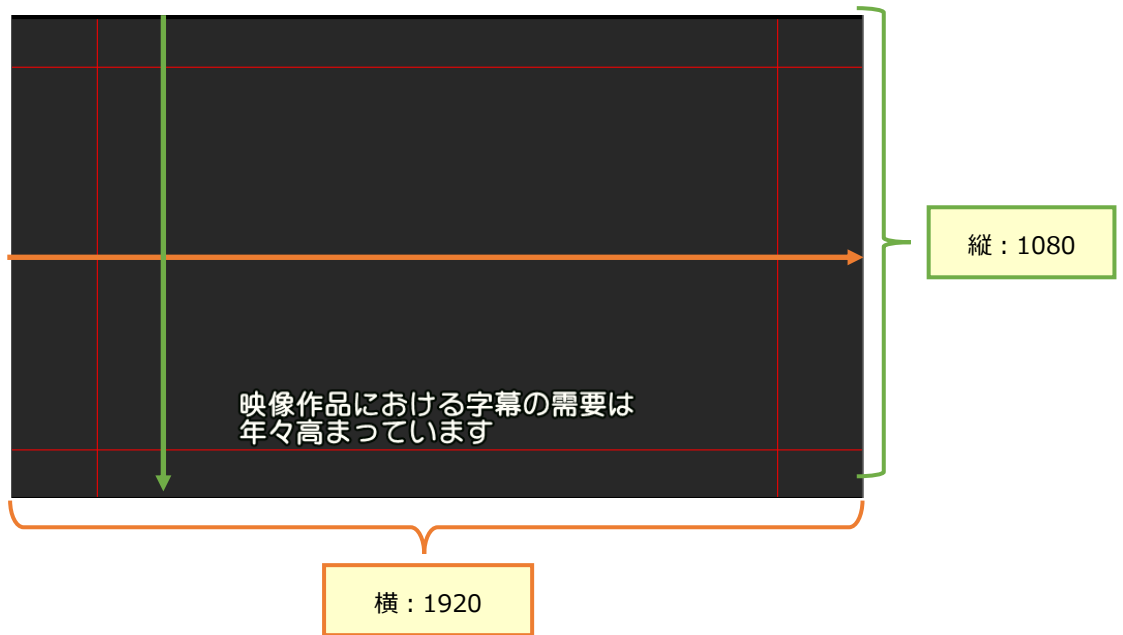
[位置]：ピクセル単位で移動する位置を数値で入力します。

画面調整の目的モニタの設定によって、横位置/縦位置の入力可能な最大値が下記のように変わります。

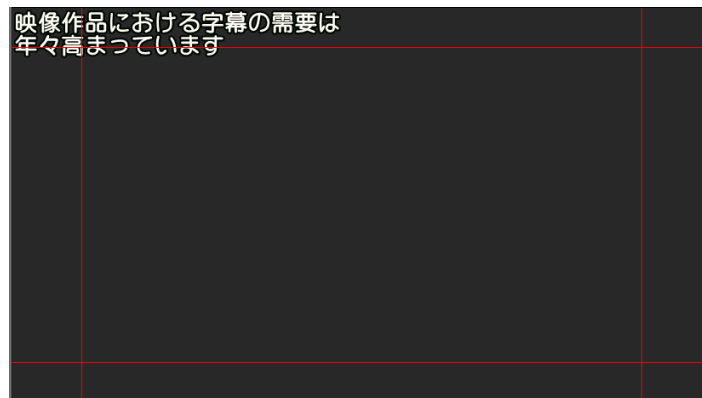
| 目的モニタの設定 | 横位置の最大値 | 縦位置の最大値 | (単位:ピクセル) |
|------------------------|---------|---------|-----------|
| 720x480(4:3NTSC) | 720 | 480 | |
| 720x480(16:9NTSC) | 720 | 480 | |
| 720x576(4:3PAL) | 720 | 576 | |
| 1280x720(16:9HD) | 1280 | 720 | |
| 1920x1080(16:9Full HD) | 1920 | 1080 | |
| 3840x2160(4KUHD) | 3840 | 2160 | |
| ユーザー設定 | 設定した数値 | 設定した数値 | |

※字幕が画面からはみ出す数値は設定できません

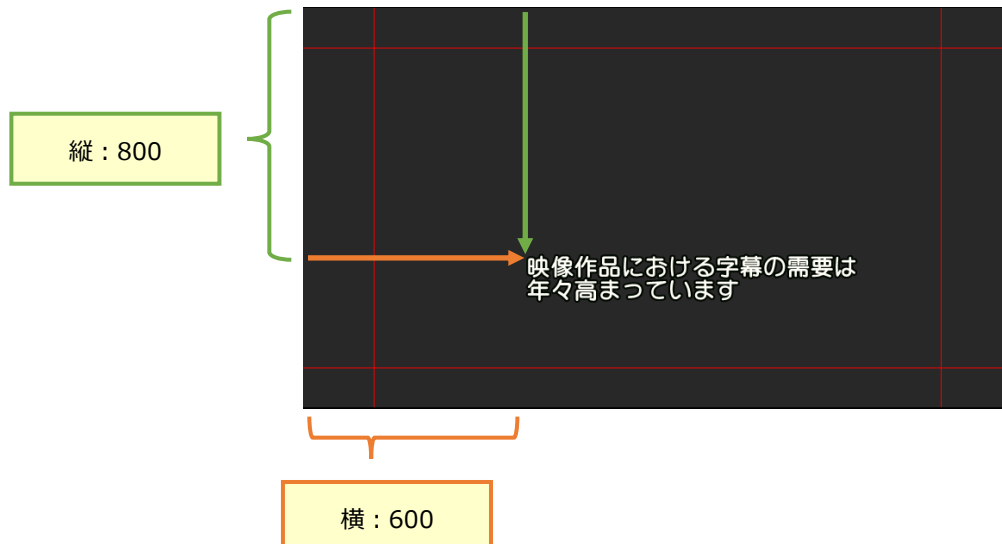
[例]：目的モニタを「1920x1080（16：9FullHD）」に設定



⇒横位置を「0」、縦位置を「0」とした場合

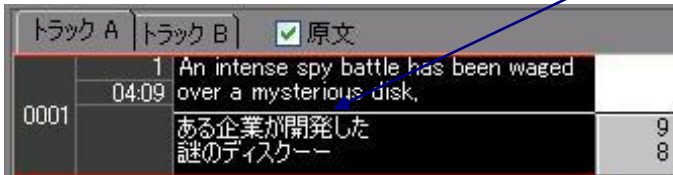



⇒横位置を「600」、縦位置を「800」とした場合

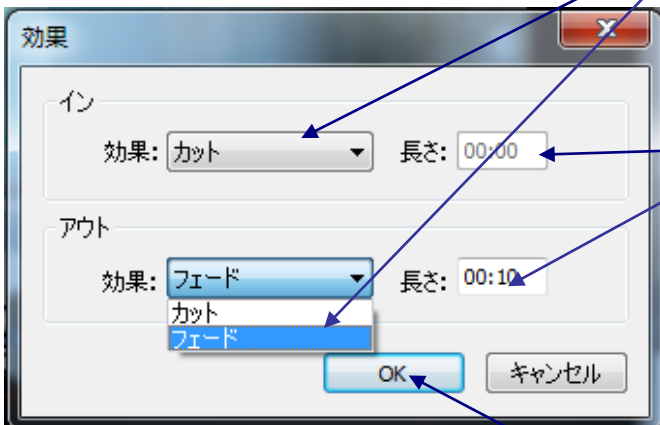


《効果（フェードイン・フェードアウト）》

徐々に字幕が表示される効果（フェードイン）、徐々に字幕が消える効果（フェードアウト）です。効果の長さとは、字幕が画面上に完全に表示されてから完全に消えるまで（または、表示されていない状態から完全に表示されるまで）の時間です。



1. 効果を付けたい字幕ウィンドウを選択し、ツールバーの  をクリックします。



2. リストから[フェード]を選択します。

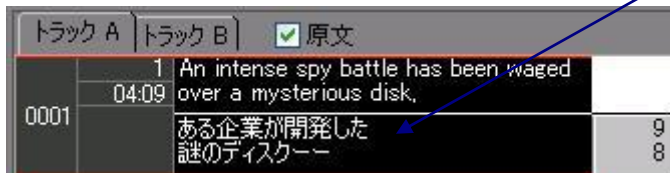
3. 効果の長さをフレーム単位で入力します。デューレーションを超えた値は入力できません。


3. [OK]をクリックします。

《マスク（座布団）を作成する》


字幕の背後にマスク（座布団）をつけることができます。

※マスク（座布団）とは、字幕の背後の領域を塗りつぶすことです。



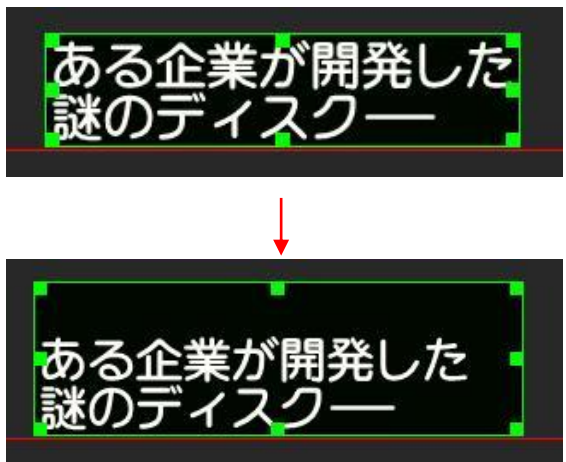
マスク（座布団）を付けたい字幕を選択し、ツールバーの  をクリックします。




マスク（座布団）の色を変更するには、ツールバーの  をクリックします。
※39 ページを参照

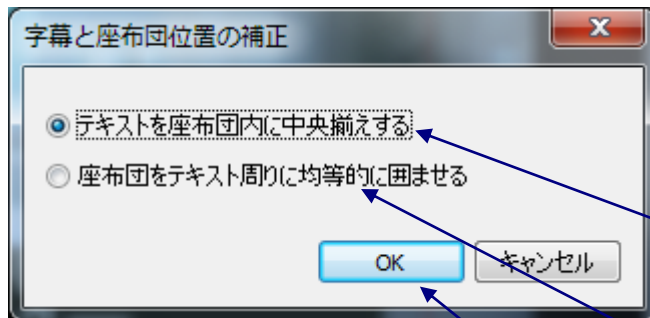
アイコンをもう一度クリックすると、マスク（座布団）は外れます。


《マスク（座布団）の移動、またはサイズ変更を行う》



ツールバーの  をクリックすると、図のように緑の枠が表示されます。矢印キーやマウスで位置やサイズの変更ができます。

《字幕をマスク（座布団）内に中央揃えする》



ツールバーの  をクリックすると、図のようなメッセージが表示されるので、どちらかを選択します。

マスク（座布団）に合わせて、字幕が移動します。

字幕に合わせて、マスク（座布団）が移動します。

[OK]をクリックします。

ファイルメニュー

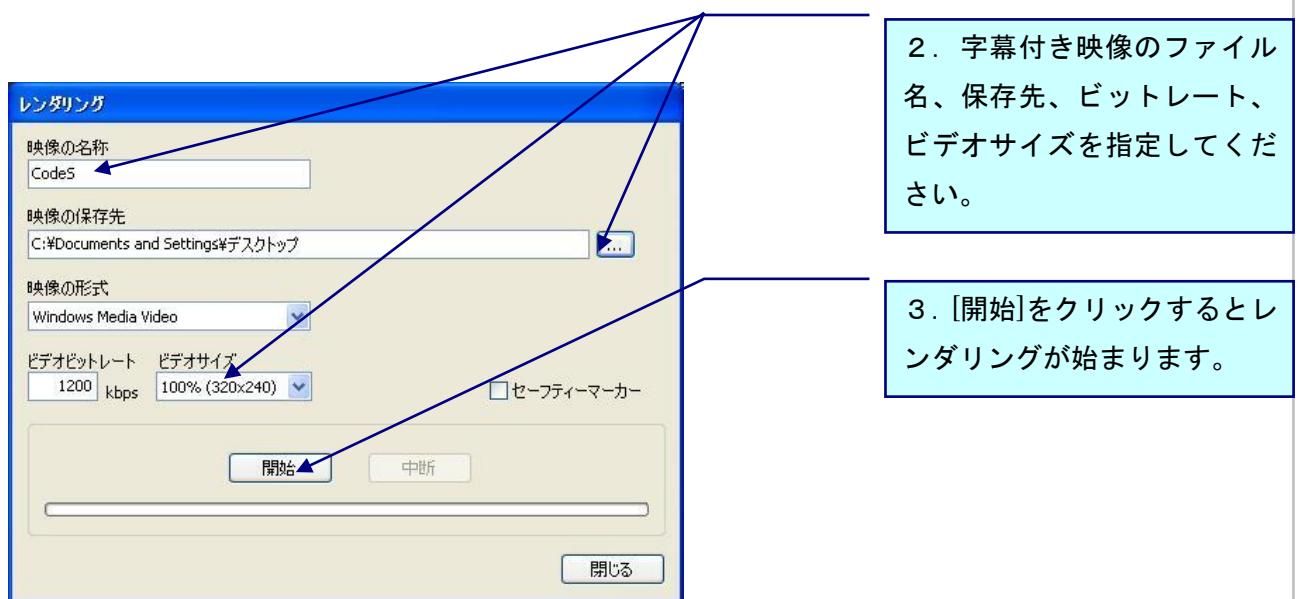
《レンダリング》

字幕制作に使用した MPEG-1 ファイルに字幕を合成して、字幕付き WMV ファイルを生成します。

⚠ MPEG1 以外を使用する場合はレンダリングができません。

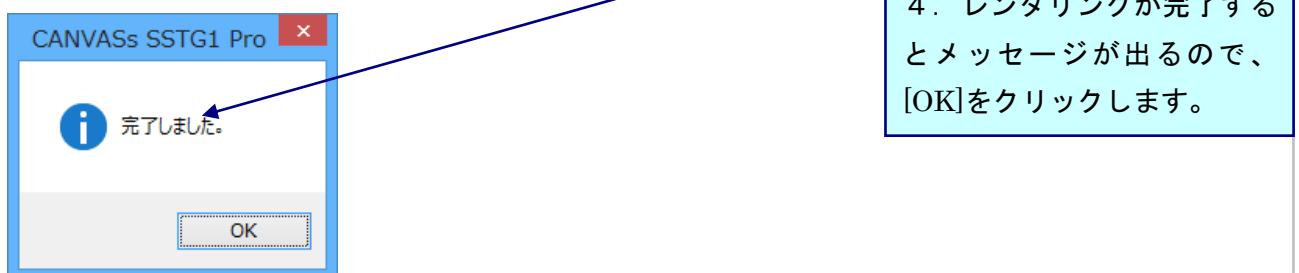
⚠ 全ての PC で動作保障するものではありません。windows のバージョン等パソコンの環境によっては、映像と音声にズレが生じる場合があります。

1. [ファイル] メニューの [レンダリング] をクリックします。



2. 字幕付き映像のファイル名、保存先、ビットレート、ビデオサイズを指定してください。

3. [開始]をクリックするとレンダリングが始まります。



4. レンダリングが完了するとメッセージが出るので、[OK]をクリックします。

- ・レンダリングは、パソコン処理能力のかなりの割合を使用しますので、他の作業との併用はお勧めできません。
- ・ビットレートを下げすぎると、30 フレームすべてが生成されず、コマ送りの様な映像になる場合があります。
- ・[セーフティマーカー]にチェックを入れると、セーフティラインも一緒にレンダリングします。

字幕メニュー

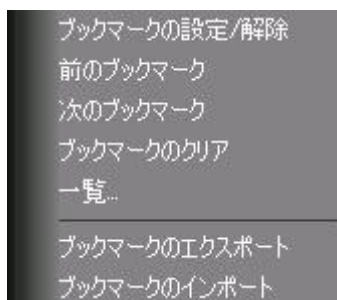
《ブックマーク》

指定したタイムコードにブックマークをつけることができます。

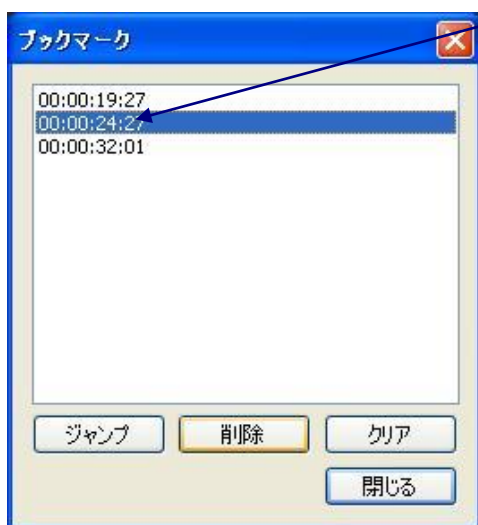
1. ブックマークを付けたい音声波形上にカーソルを置きます。
2. [字幕] メニューの [ブックマーク] をクリックし、メニューより[ブックマークの設定/解除] を選択します。または、音声波形を右クリックして設定することも可能です。



○ブックマークのメニュー



- ・ブックマークの設定/解除・・・上記参照。
- ・前のブックマーク・・・現在のブックマークより1つ前のブックマークに飛びます。
- ・次のブックマーク・・・現在のブックマークより1つ後ろのブックマークに飛びます。
- ・ブックマークのクリア・・・全てのブックマークがクリアされます。
- ・一覧・・・ブックマークの一覧を表示します。次ページ参照。
- ・ブックマークのエクスポート・・・ブックマークのデータ（フレーム情報）をエクスポートすることができます（.txt）。
- ・ブックマークのインポート・・・フレーム情報（.txt）をインポートすることができます。



[編集] メニューの [ブックマーク] をクリックし、メニューの [一覧] を選択すると、図のような一覧が表示されます。

タイムコードを選択し、[ジャンプ] をクリックすると、該当するブックマークに移動します。また削除したい場合には、[削除] をクリックします。

○Sirius Blu のチャプター情報に利用する

エクスポートしたブックマークのデータ（フレーム情報）をチャプターポイントの情報として、カンバスの BD オーサリングソフト Sirius Blu にインポートすることができます。

《字幕削除》

1. [字幕] メニューの [字幕削除] をクリックします。



2. 現字幕を削除する場合は [現在位置の字幕を削除] を選択します。

3. [OK] をクリックします。

○複数の字幕を一括削除する場合

1. [字幕] メニューの [字幕削除] をクリックします。



2. 複数の字幕を削除する場合は、範囲を指定します。

3. [OK] をクリックします。

[a-b] という形で、削除する字幕番号の範囲を入力します。[a] は削除する最初の字幕、[b] は削除する最後の字幕です。字幕[a] から最後の字幕まで削除するには、[a-]と入力します。最初の字幕から字幕 [b] まで削除するには、[-b] と入力します。

○その他の削除方法

- ・音声波形上の現字幕をCtrlキーを押しながらクリックして、マウスカーソルを音声波形ウィンドウの外にドラッグさせると、ゴミ箱の絵が出ます。マウスを放すと[削除してよろしいですか?]というメッセージが表示されるので、[はい]をクリックします。
- ・字幕ウィンドウを選択し、右クリックで削除します。

《字幕番号の振り直し》

スポッティングの追加や削除により、字幕番号が連番でなくなってしまった場合など、字幕番号を振り直したい時にこの作業を行います。

1. [字幕] メニューの [字幕番号の振り直し] をクリックします。

2. [Track A]、または[Track B]を選択します。

3. プロジェクトの[先頭の字幕から番号を振り直す]、または[指定番号から振り直す]を選択し、開始番号を指定します。入力できるのは整数のみです。


4. [OK]をクリックします。

《字幕移動》

字幕を一括で移動したり、調整する時に使用します。

1. 映像とタイムコードの調整が完了していることを確認してください。
2. [字幕] メニューの [字幕移動] をクリックします。
3. 移動するトラックを選択します。
4. 該当する項目を選択し、必要事項を入力します。次ページ参照。
5. 入力が終わったら [OK] をクリックします。

- a. [挿入または削除によるタイムコードの調整]を選択
 - i. [ビデオのインサートによる調整]を選択
新しく映像が追加された場合、映像を追加した位置のタイムコードを[スタート位置]に入力し、追加した映像の長さを[デュレーション]に入力します。
 - ii. [ビデオの削除による調整]を選択
映像の一部が削除された場合、削除した箇所のタイムコードを[スタート位置]に入力し、削除した長さを[デュレーション]に入力します。

 映像が削除された部分の字幕をあらかじめ削除してから行ってください。

- b. [現在位置より後ろの字幕を移動]を選択
カーソルは、移動させたいスポッティングの前に置いてください。
 - i. [左へ移動]を選択
[デュレーション]に移動させたい時間の値を入力すると、『音声波形ウィンドウ』上のカーソルが置かれている部分より後ろにあるスポッティングすべてが、[デュレーション]に入力された値分左へ移動します。

 - ii. [右へ移動]を選択
[デュレーション]に移動させたい時間の値を入力すると、『音声波形ウィンドウ』上のカーソルが置かれている部分より後ろにあるスポッティングすべてが、[デュレーション]に入力された値分右へ移動します。

- c. [現在選択されている字幕のインフレームを基準に字幕を移動]を選択
 - i. 『音声波形ウィンドウ』上のカーソルが置かれている現字幕のインフレームが[現在のインフレーム]にデフォルトとして表示されています。
 - ii. [全体を移動]にチェックを入れ、[現在のインフレーム]の右側にある入力欄に移動したいタイムコードを入力すると、選択されているスポッティングを含めた全体のスポッティングが移動します。
 - iii. [選択されている字幕以降を移動]にチェックを入れ、[現在のインフレーム]の右側にある入力欄に移動したいタイムコードを入力すると、それ以降のスポッティングが移動します。

- d. [全体のスポッティングのIn,Outを移動]を選択
[選択されている字幕以降を移動]にチェックを入れると、それ以降のスポッティングが調整されます。
 - i. イン点を左へ移動した場合
すべてのスポッティングのイン点が設定した数値分左(前)に伸び、デュレーションが長くなります。

ii.イン点を右へ移動した場合

すべてのスポッティングのイン点が設定した数値分右(後)に伸び、デュレーションが短くなります。

iii.アウト点を左へ移動した場合

すべてのスポッティングのアウト点が設定した数値分左(前)に伸び、デュレーションが短くなります。

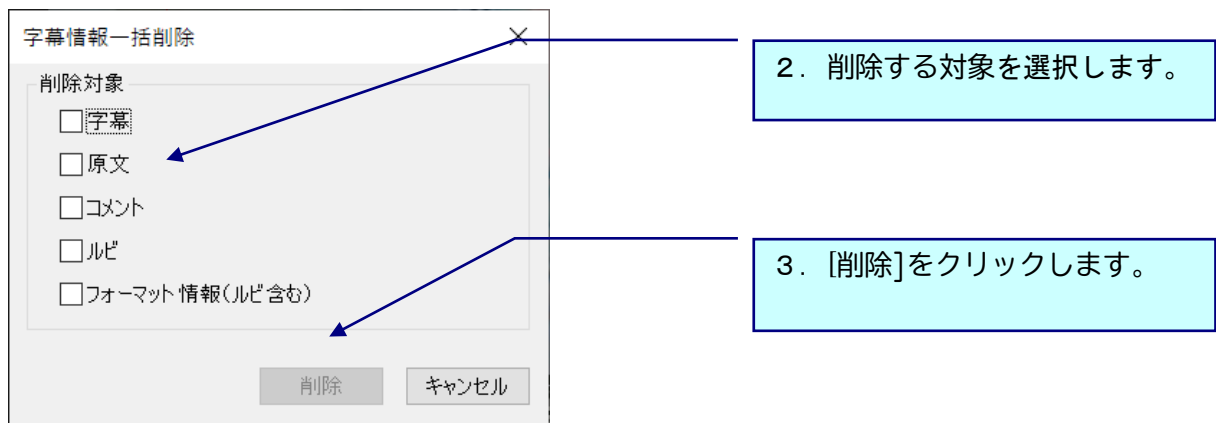
iv.アウト点を右へ移動した場合

すべてのスポッティングのアウト点が設定した数値分右(後)に伸び、デュレーションが長くなります。

《字幕情報一括削除》

字幕、原文、コメントを一括削除する時に使用します。

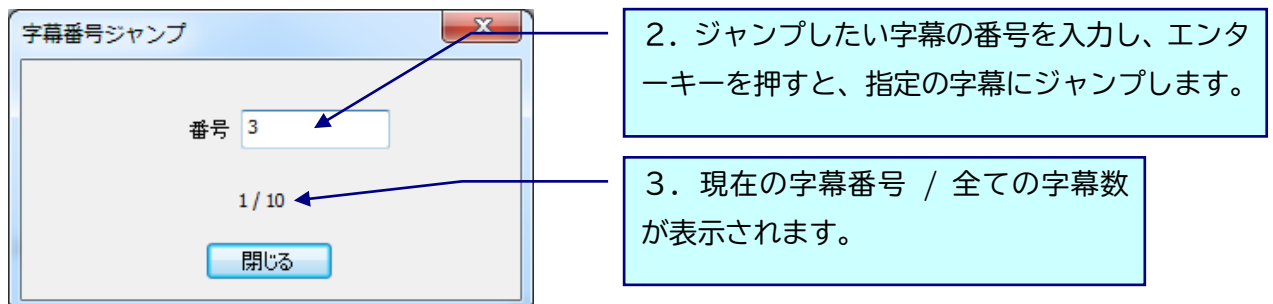
1. [字幕] メニューの [字幕情報一括削除] をクリックします。



《字幕番号ジャンプ》

指定した字幕番号のハコにジャンプします。※トラックをまたいでのジャンプはできません。

1. [字幕]－[字幕番号ジャンプ]をクリックします。




《字幕と原文を入れ替える》

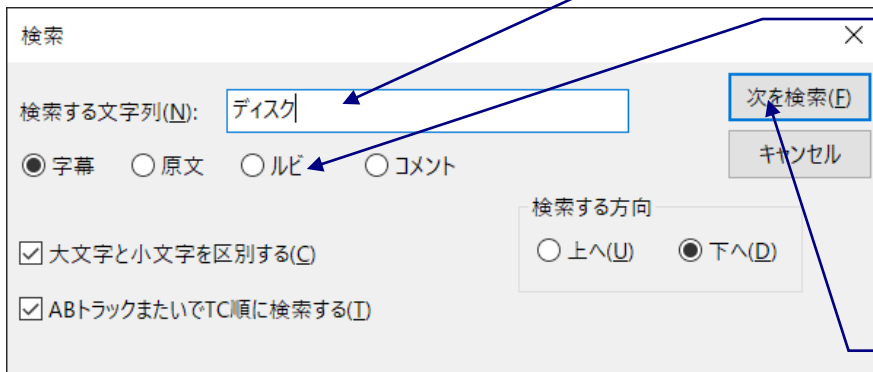
すべての字幕で原文ウィンドウの内容と字幕ウィンドウの内容が一括で入れ替わります。
表示位置やルビなどのエフェクトはすべて解除され、デフォルトフォーマットに戻ります。

検索メニュー

《字幕の検索》

字幕や原文、ルビにある文字列を検索します。

1. [検索] メニューの [字幕検索] をクリックするか、ツールバーの  をクリックします。



2. 検索する文字列を入力します。

3. 検索するフィールドを選択し、アルファベットの大文字と小文字が混ざった単語を検索する時には、[大文字と小文字を区別する]にチェックを入れます。

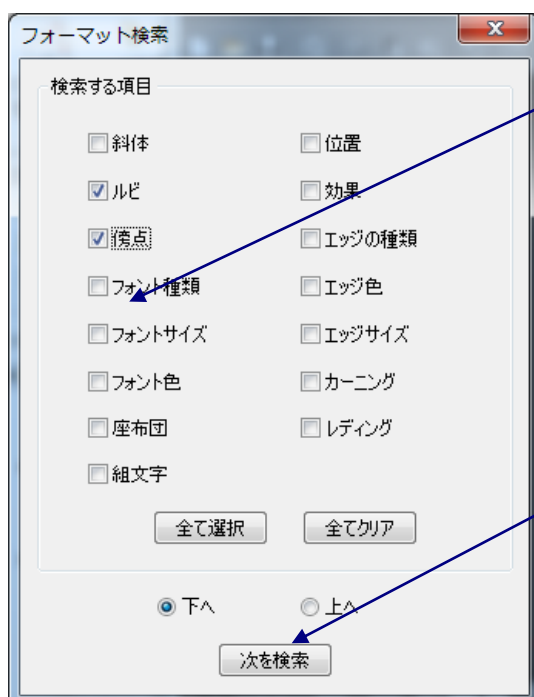
4. [次を検索]をクリックします。

- ・ 検索対象の文字列が含まれるテキストウィンドウがアクティブになります。
- ・ 検索したい文字をドラックしてから[検索]をクリックすると、検索する文字列に表示されます。置換も同様です。

《フォーマットの検索》

個別に編集をかけた文字列を検索します。

1. [検索] メニューの [フォーマットの検索] をクリックします。



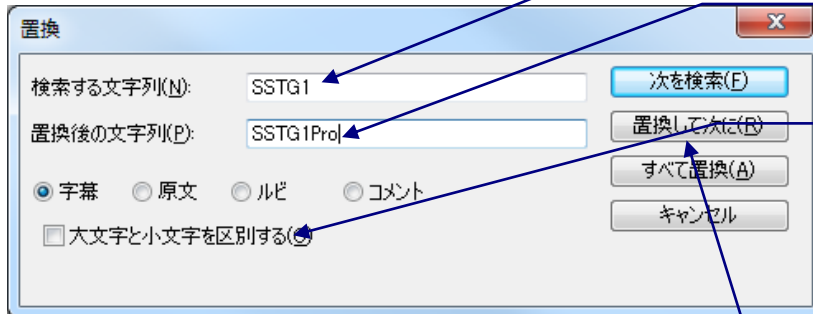
2. 図のようなダイアログボックスが表示されるので、検索したい項目にチェックをします。複数項目のチェックが可能です。

3. [次を検索]をクリックすると、[検索]機能同様、該当箇所の映像・字幕ウィンドウ・スポットティングが移動します。

《字幕の置換》

字幕や原文、ルビにある文字列を検索し、置換します。

1. [検索] メニューの [置換] をクリックします。



2. 検索する文字列を入力します。

3. 置換後の文字列を入力します。

4. 検索するフィールドを選択し、アルファベットの大文字と小文字が混ざった単語を検索する時には、[大文字と小文字を区別する]にチェックを入れます。

5. [置換して次に]をクリックします。



[すべて置換]をクリックすると、図のようなメッセージが出て置換が完了しますので、[OK]をクリックします。

《検索属性指定》※オプション

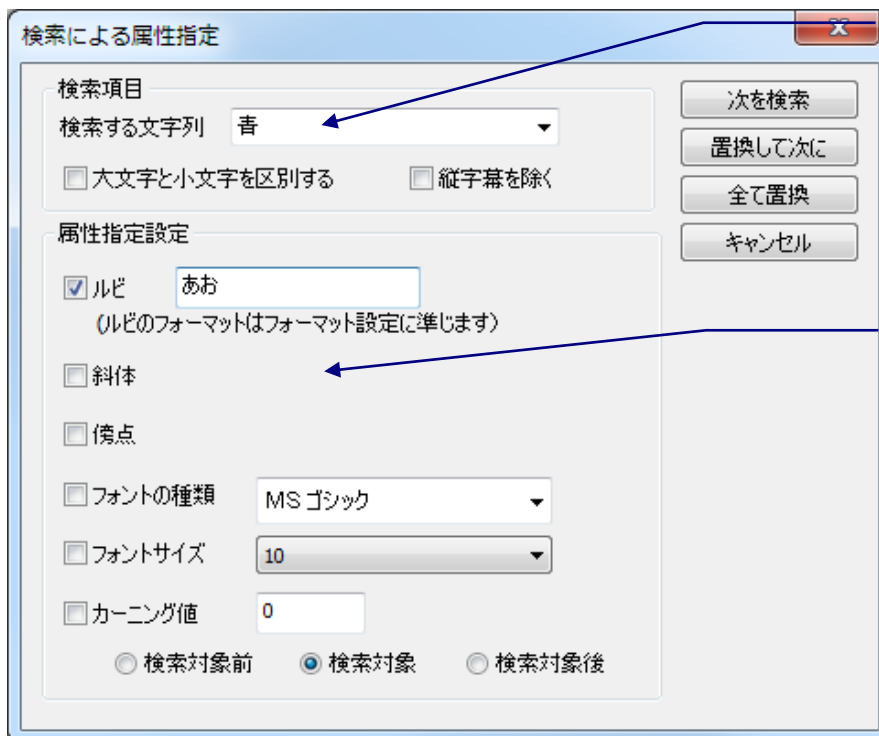
特定の文字列を検索して、その文字列に対して一括で属性を付与します。

例えば、特定の文字列を一括で斜体にしたり、ルビをつけたりすることが可能です。

※従来の SSTG1 に存在していた「文字列検索によるカーニング設定」は本機能に統合されました。

1. [検索] メニューの [検索属性指定] をクリックします。

※画像は、「青」という文字列に「あお」とルビをふる場合です。



2. 検索する文字列を入力します。必要に応じて以下の条件を追加することができます。

- ・大文字と小文字を区別する
- ・縦字幕を除く

3. 文字列に付与する属性を指定します。

[全て置換]をクリックすると、置換が完了しますので、[OK]をクリックします。

○属性指定設定で、「SST」にカーニング値を設定する場合の例

検索対象前

検索対象

検索対象後

SSTなら
操作がすごく簡単なの

- ・検索対象前：指定した文字列の1つ前の文字との間を調整します。
- ・検索対象：指定した文字列の文字間を調整します。
- ・検索対象後：指定した文字列の1つ後ろの文字との間を調整します。

《sdb検索》

特定フォルダ内のプロジェクトファイルの字幕・原文を検索することができます。
(サブフォルダも検索されます)

1. [検索] メニューの [sdb 検索] をクリックします。

2. 検索するフォルダを指定します。
サブフォルダも含めて検索します。

The screenshot shows the 'SST G1 プロジェクトファイル検索ツール' window. It has several sections: '検索場所' (Search Location) with a folder path 'D:\Desktop\作業用'; '検索情報' (Search Information) with a keyword 'ディスク' and search type '字幕' selected; '検索方法' (Search Method) with 'OR' selected; and '検索結果' (Search Results) which is a table. Blue arrows point from numbered callouts to these specific elements.

3. 検索するキーワードと種類を指定します。

4. 検索方法を指定します。

5. [検索開始]をクリックすると検索結果に出ます。

6. [csv 出力]をクリックすると検索結果が csv ファイルに出力されます。

| プロジェクト | Track | Index | 字幕No. | 原文 | 字幕 | コメント |
|---------------------|-------|-------|-------|-----------------------|-----------------------|--------------------------------|
| 後半.sdb | A | 1 | 1 | 111 | このディスクを | 後半 |
| 後半.sdb | B | 2 | 2 | 55555 | ディスクの隠し場所に侵入する | |
| sample-CodeS_HD.sdb | A | 1 | 1 | An intense spy ... | ある企業が開発した謎のディスクー | きぎょう / かい... D:\Desktop\作業用... |
| sample-CodeS_HD.sdb | A | 3 | 3 | developed by a... | このディスクをめぐり | D:\Desktop\作業用... |
| sample-CodeS_HD.sdb | A | 7 | 7 | Finally two rival... | 最終的に2カ国だけがディスクの在りか... | |
| sample-CodeS_HD.sdb | A | 37 | 37 | I needed both o... | キーとディスク両方が必要だったんだ | |
| sample-CodeS_HD.sdb | B | 2 | 1 | Hello, Mr. X. I've... | “ディスクを発見” | |
| 画面調整用.sdb | A | 1 | 1 | An intense spy ... | ある企業が開発した謎のディスクー | |
| 画面調整用.sdb | A | 3 | 3 | developed by a... | このディスクをめぐり | |
| 画面調整用.sdb | A | 7 | 7 | Finally two rival... | 最終的に2カ国だけがディスクの在りか... | |
| 画面調整用.sdb | A | 37 | 37 | I needed both o... | キーとディスク両方が必要だったんだ | |
| 画面調整用.sdb | B | 1 | 1 | Hello, Mr. X. I've... | “ディスクを発見” | |

102件見つかりました。

- ・ 検索場所で指定したフォルダ内に開いている sdb ファイルが存在した場合、その sdb ファイルも検索対象です。但し当該 sdb ファイルを保存しておく必要があります。
- ・ 複数のキーワードをスペースで区切ることによって複数検索が行えます。

6. ヒットした場合、検索結果に表示されます。

検索結果:

| プロジェクト | Track | Index | 字幕No. | 原文 | 字幕 |
|------------------|-------|-------|-------|---------------------|--------------|
| sample-CodeSs... | A | 8 | 8 | An expert spy, ... | スパイのひとりノ... |
| sample-CodeSs... | A | 29 | 29 | Julia? | ジュリア |
| sample-CodeSs... | A | 4 | 4 | The full truth a... | 複数の国による... |
| CodeS#1.sdb | A | 8 | 8 | An expert spy, ... | スパイのひとりノ... |
| CodeS#1.sdb | A | 10 | 10 | Julia? | ジュリアにぬかりは... |
| CodeS#1.sdb | A | 30 | 29 | Julia? | ジュリア |
| CodeS#1.sdb | A | 4 | 4 | The full truth a... | 複数の国による... |
| CodeS#2.sdb | A | 8 | 8 | An expert spv... | スパイのひとりノ... |
| CodeS#2.sdb | A | 29 | 29 | Julia? | ジュリア |
| CodeS#2.sdb | A | 4 | 4 | The full truth a... | 複数の国による... |

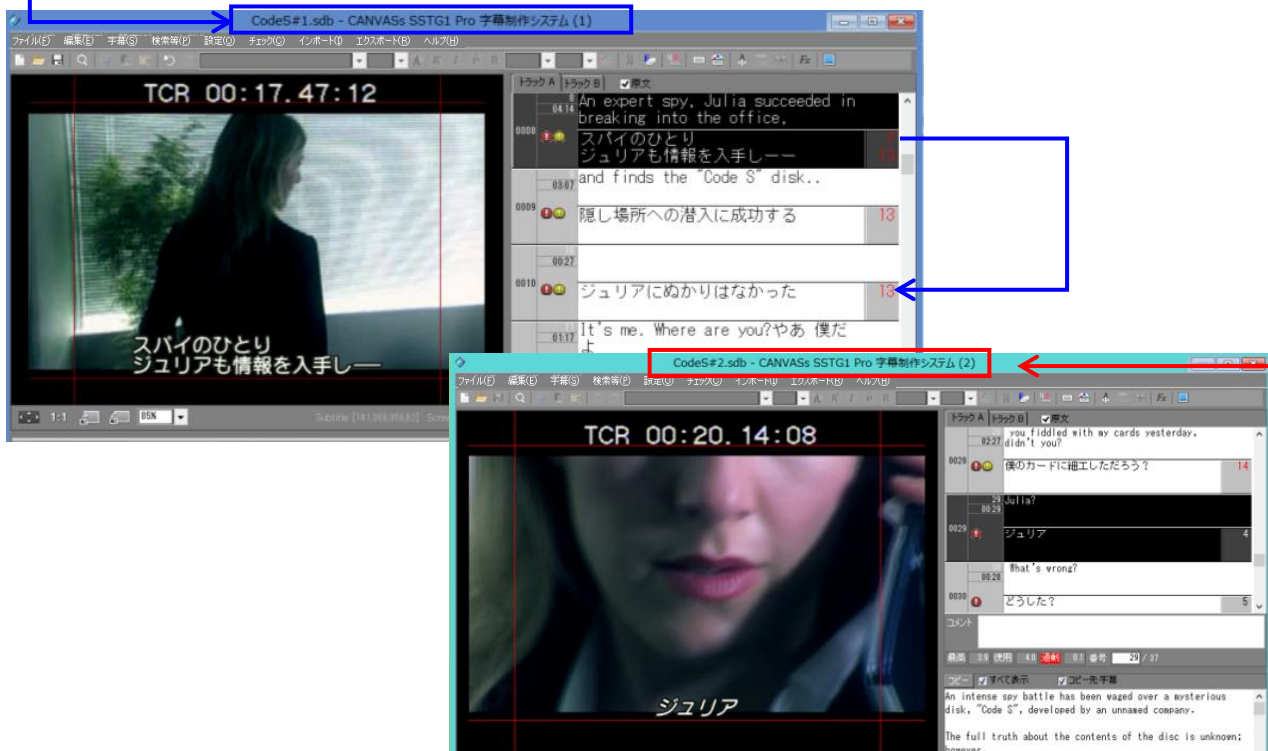
7. 検索結果の行をダブルクリックすると、該当箇所の sdb ファイルが開きます。

○既に開かれている sdb の検索結果をダブルクリックした場合は、sdb は別ウィンドウでは開かずに該当の箇所へ移動します。



最初に開いたウィンドウに (0) 番が つきます

○開かれていない sdb の検索結果をダブルクリックした場合は、sdb ファイルが別ウィンドウで開き (多重起動)、当該ダブルクリック箇所へジャンプします。また同一プロジェクト内であれば、検索結果をダブルクリックすることで該当箇所へジャンプします。



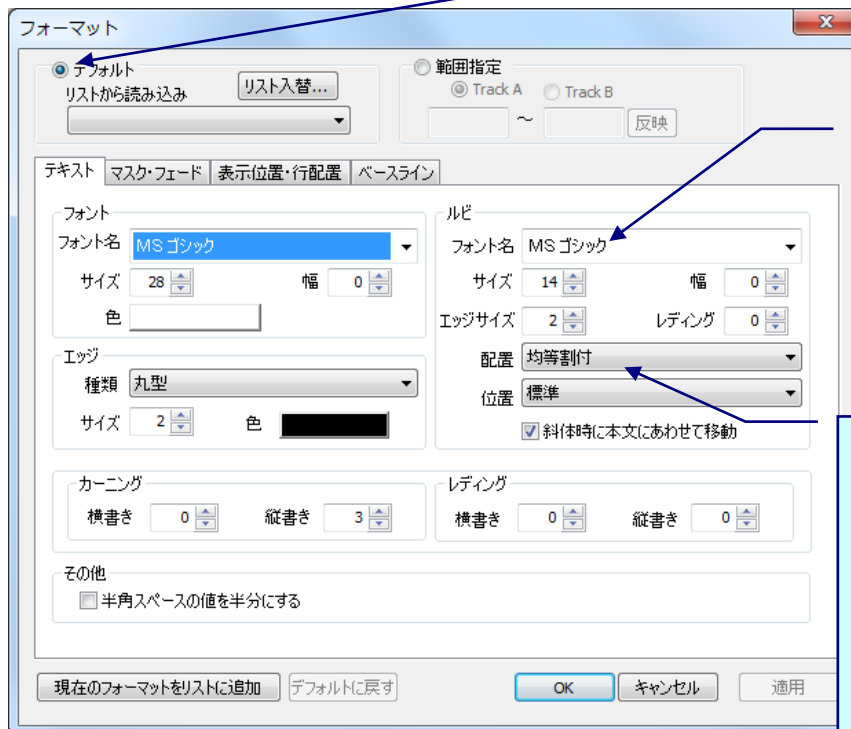
設定メニュー

《フォーマット設定（全編設定）》

字幕制作をする前に、フォーマットを設定しておきます。

[設定] メニューの [フォーマット設定] をクリックします。

- ・テキストの設定



[デフォルト]にチェックを入れます。

ルビフォント名について
フォントのフォント名を変更すると、ルビのフォント名も連動して変更されます。

ルビ配置について

- ・「均等割付」: 選択した文字列の範囲に対して均等に表示します。
- ・「左揃え」: 選択した文字列に対して左寄りに表示します。
- ・「中央揃え」: 選択した文字列の中央に表示します。

- ・ルビ位置について

標準：横書きの場合、1行目は上、2行目は下に付きます。

縦書きの場合、1行目は右、2行目は左に付きます。

前：横書きの場合、すべての行の上に付きます。

縦書きの場合、すべての行の右に付きます。

後：横書きの場合、すべての行の下に付きます。

縦書きの場合、すべての行の左に付きます。

レディングとは、字幕とルビの間隔です。

- ・エッジについて

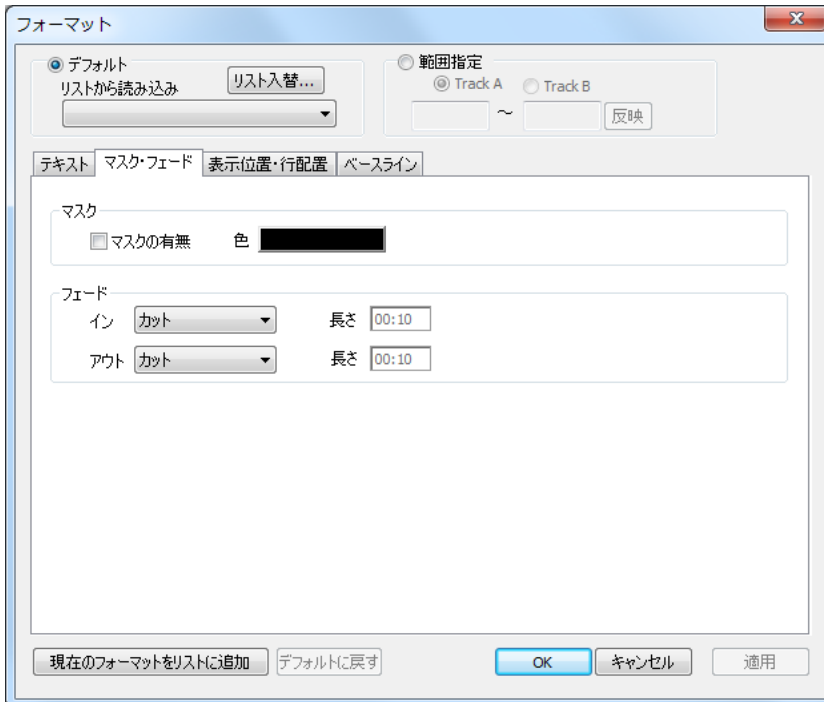
エッジの種類には[角型]、[丸型]、[シャドウ]があります。シャドウのズレ幅はエッジサイズの設定で調整できます。イメージは、P.45を参照ください。

・その他

[半角スペースの値を半分にする]にチェックを入れると、半角スペースが更に半分になります。

・マスク・フェードの設定 ※オプション

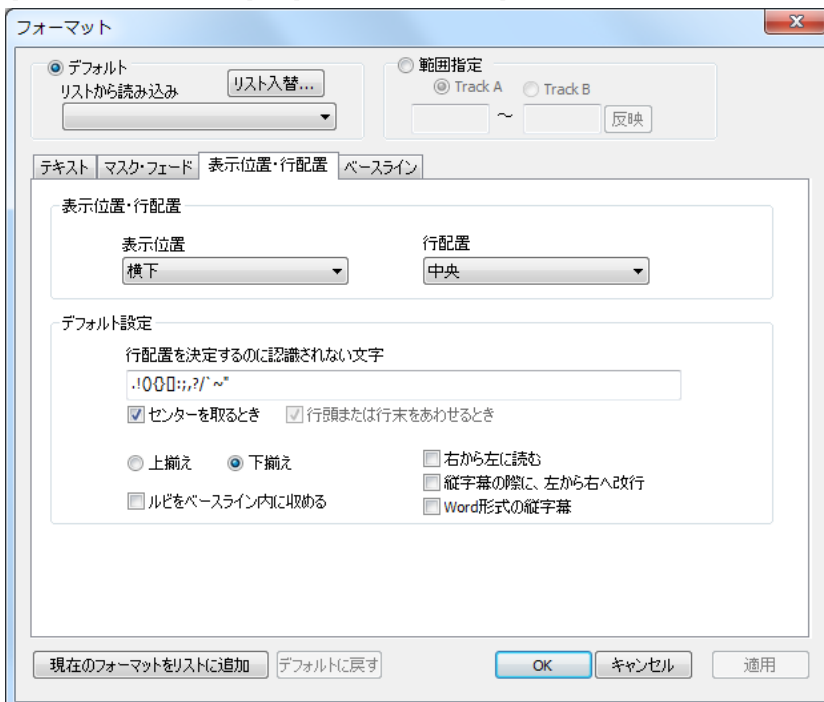
[マスク]や[フェード]の調整をします。



マスクとは・・・P.49 参照
 フェードとは・・・P.48 参照
 通常の場合は、「カット」といいます。

・表示位置・行配置の設定

[表示位置・行配置]や[デフォルト設定]の調整をします。



a. 行配置を決定するのに認識されない文字

頭揃えまたは中央揃えにする時に、文字として認識させたくない記号を登録することができます。

b. センターを取る時

チェックを入れると、字幕をセンタリングした時に登録した記号は認識されません。

c. 行頭または行末をあわせる時

チェックを入れると、行頭または行末をあわせる時に登録した記号は認識されません。

・チェックを入れた時



・チェックを外した時



d. 上揃え／下揃え

・上揃え：ベースラインより下に字幕が表示されます。

・下揃え：ベースラインより上に字幕が表示されます。

e. ルビをベースライン内に収める

チェックを入れると2行字幕などで下ルビを使用した場合、下ルビも含めてベースライン内に収まるよう自動的に字幕位置が上がります。

・Kanpake100はこの機能に対応できておりません。

f. 右から左に読む（アラビア語）に対応

字幕ウィンドウにアラビア語のテキストを貼り付けると表示されますが、直接入力する場合は、チェックを入れることにより字幕ウィンドウのレイアウトを右から入力できるようになります。

g. 縦字幕の際に左から右へ改行

チェックを入れると、縦字幕を改行した時に2行目が右側に改行されます。これによりモンゴル語の縦表示が可能になります。

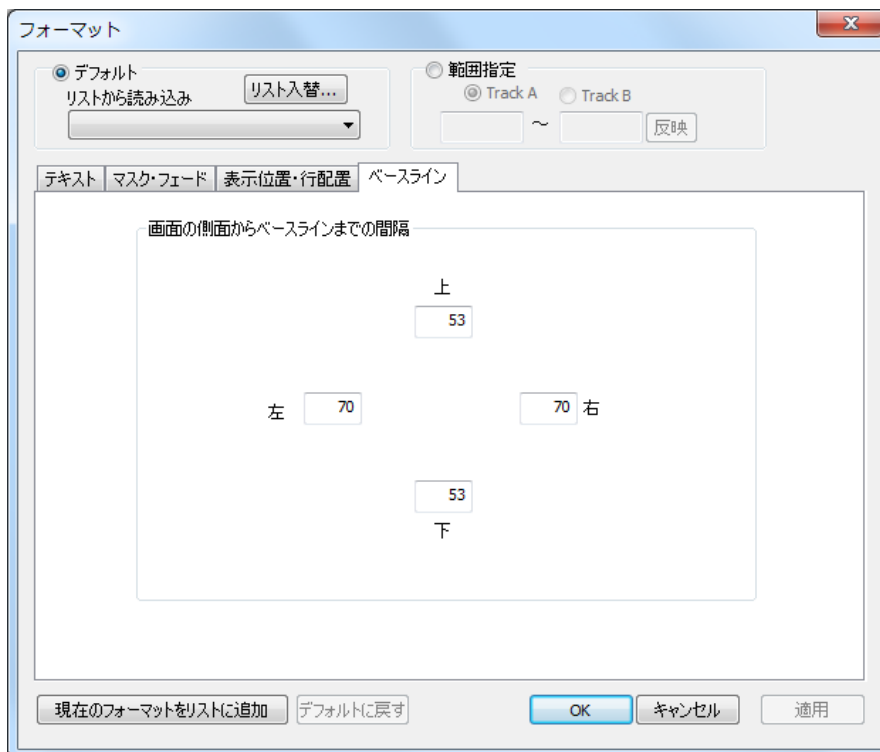
h. Word 形式の縦字幕

主にモンゴル語の表示で使用します。チェックを入れると縦字幕が下記のように表示されます。



・ベースラインの設定

ベースラインとは・・・映像の上下左右の端から字幕位置までの距離のことで、ピクセル単位で数値を入力します。



《フォーマットの設定（範囲設定）》

指定した範囲の字幕を一度にまとめてフォーマット設定することができます。

デフォルト設定に戻しても、範囲指定で設定したフォーマットは変更されません。

! フォントサイズ／カラー、エッジサイズ／カラー、マスク、フェードを範囲設定するためには高等編集オプションが必要です。

1. [設定] メニューの [フォーマット設定] をクリックします。

2. [フォーマット]画面の[範囲指定]にチェックを入れます。

3. 設定する範囲の最初と最後の字幕番号を入力します。

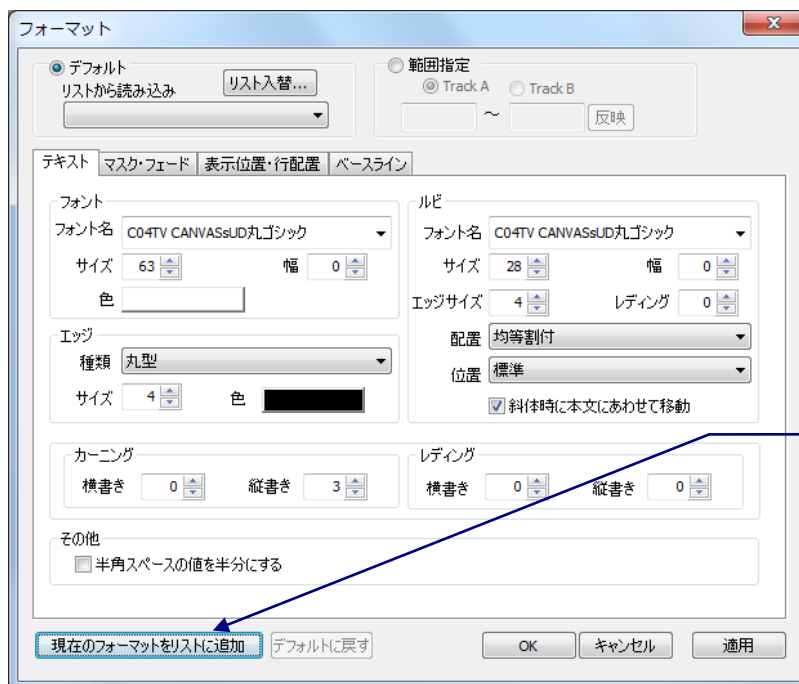
4. 必要な項目を設定します。

5. [OK]をクリックします。

《デフォルト・フォーマットリストの作成》

設定を行ったフォーマットを登録することができます。これによりリストから選択するだけで、毎回フォーマット設定する必要がありません。

1. [設定] メニューの [フォーマット設定] をクリックします。



2. 各種設定を行います。

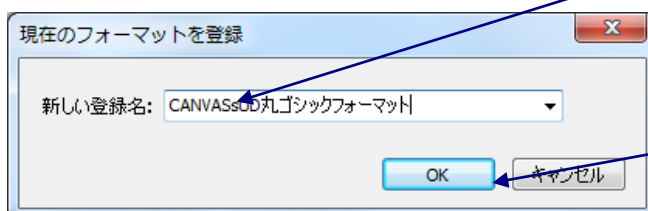
[テキスト]

[マスク・フェード]※オプション

[表示位置・行配置]

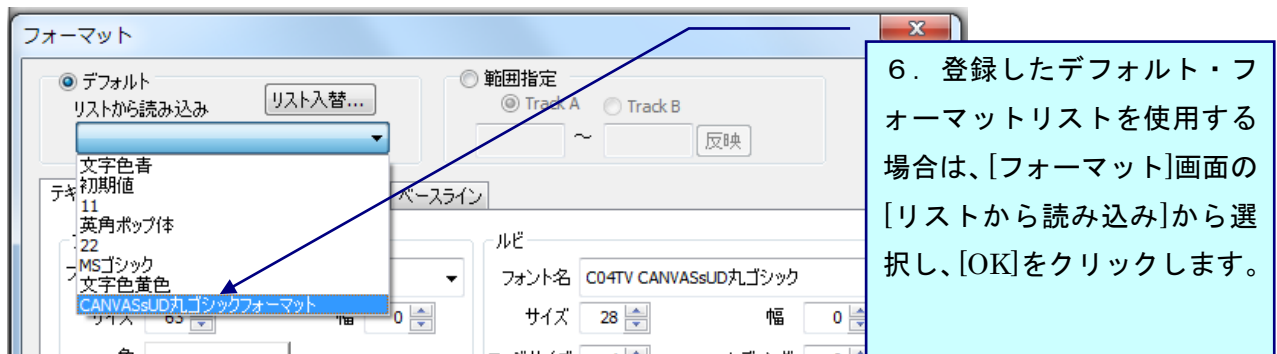
[ベースライン]

3. [現在のフォーマットをリストに追加] をクリックします。



4. フォーマット名を入力します。

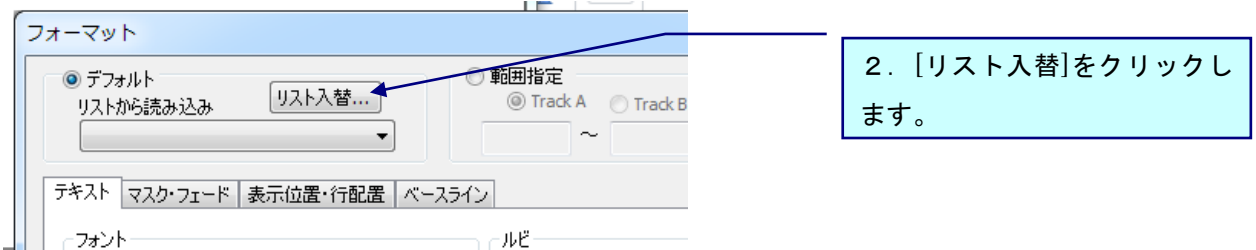
5. [OK] をクリックします。



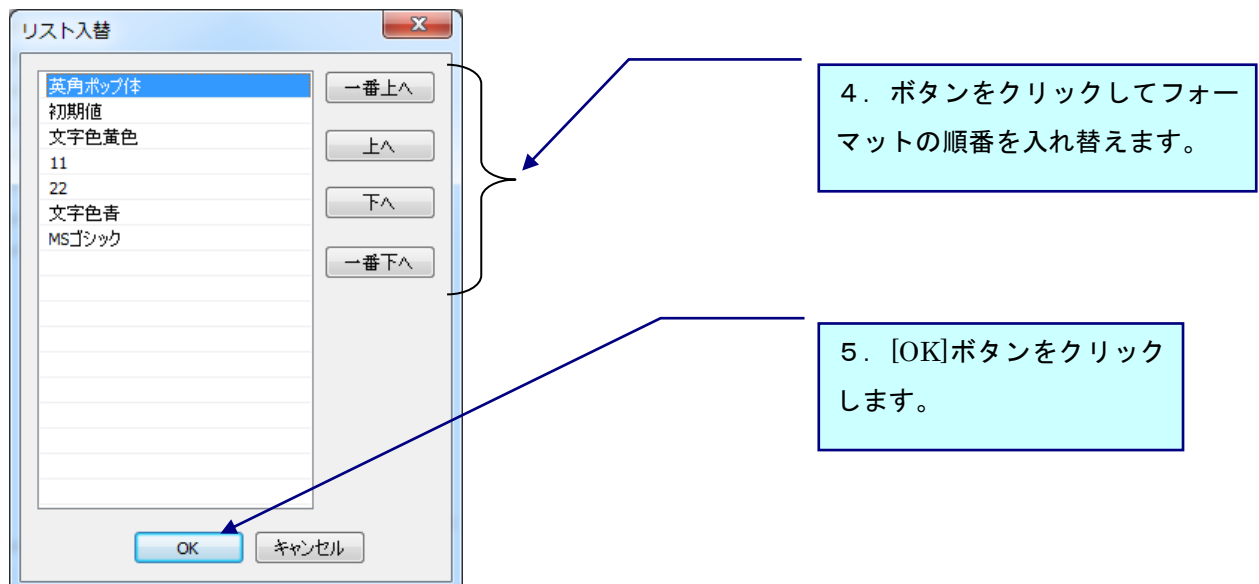
《フォーマットリストの入れ替え》

登録したフォーマットのリストの順番を入れ替えることができます。

1. [設定] メニューの [フォーマット設定] をクリックします。



3. リスト入替]画面が開きます。順番を入れ替えたいフォーマット名を選択します。



《デフォルト・フォーマットのインポート・エクスポート》



[設定] メニューの [デフォルト・フォーマット リスト] をクリックすると登録されているリストの一覧が出ます。

フォーマットを選択し、[エクスポート]をクリックすると、fmt ファイルとして出力することができます。また、[インポート]をクリックすると、fmt ファイルを取り込むことができるので、フォーマットを共有するのに便利です。

! SST で作成したフォーマット (.zst) は読み込むことができません。

フォーマットを選択し、[リストから削除]をクリックするとリストから削除することができます。

《タイムコードの基本設定》

初めて映像ファイルを開き、作業に入る前は必ずタイムコードの調整を行います。

1. [設定] メニューの [映像とタイムコードの同期] をクリックし、メニューの[基本設定]を選択します。

2. 現フレームのタイムコードを入力します。

3. [フレームタイプ]を選択します。

4. [OK]をクリックします。

＜使用する映像のフレームの種類＞

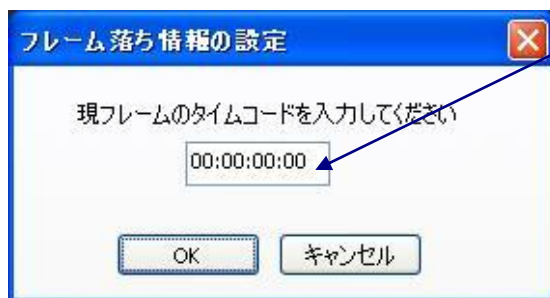
- ・ 30Fr DF・・・ドロップフレーム(29.97fps/主にテレビ放送用映像)
- ・ 30Fr NDF・・・ノンドロップフレーム (30fps/DVD、ビデオ用映像)
- ・ 25Fr・・・PAL：主にヨーロッパや中国で使用されています。(25fps)
- ・ 24Fr・・・映像のフレームレートが 29.97Fr のワーク映像を使用して 24Fr のスポットティング作業を行う際の設定です。VHS テープからエンコードした素材や MPEG1 ファイルなど、2-3 プルダウンされた映像で 24Fr の作業を行う場合はすべてこの設定を使用します。(29.97fps)
- ・ 24p・・・2-3 プルダウンされていない、映像のフレームレートが 23.98fps や 24Fr の wmv ファイルや mov ファイル、MP4 ファイルを使用してスポットティング作業を行う際の設定です。(23.98fps/デジタルシネマ及び映画素材、24fps(P))

※23.976fps の wmv ファイルを利用して、SSTG1 にて「24Fr」の設定で編集した sdb ファイルについては、SSTG1Pro で開いた際に、「この sdb ファイルは SSTG1 において、24Fr で編集されています。SSTG1Pro においては、24P にフレームタイプ変換をして編集してください」というメッセージが出ます。その場合、フレームタイプを「24Fr」から「24P」へと変換してください。


《フレーム落ち情報の設定》

フレーム落ちとは、ビデオを MPEG-1 にエンコードする際に、1～2 フレーム取りこぼしが発生する現象のことです。フレーム落ちがあると、基本設定でタイムコードを合わせても、フレーム落ちしたところからタイムコードが合わなくなるので、調整が必要です。

1. [設定] メニューの [映像とタイムコードの同期] をクリックし、メニューの [フレーム落ち情報の設定] を選びます。



2. フレーム落ちした後のタイムコードを入力し、[OK] をクリックしてください。

 フレームがダブっている場合は、1 フレームずつ上記の設定を行ってください。

《設定情報のクリア》

タイムコードの設定をキャンセルします。何度も [フレーム落ち情報の設定] が必要な映像で作業したプロジェクトファイルを新たな映像ファイルで開く時に使用します。

1. [設定] メニューの [映像とタイムコードの同期] をクリックし、メニューの [設定情報のクリア] を選びます。
2. [タイムコードをリセットします。よろしいですか?] という表示が出るので、[OK] をクリックします。
3. [OK] をクリックすると、映像が閉じるので、新たに映像を開く場合は、[ファイル] メニュー → [映像ファイルを開く] から開いてください。

《フレームタイプの変換》

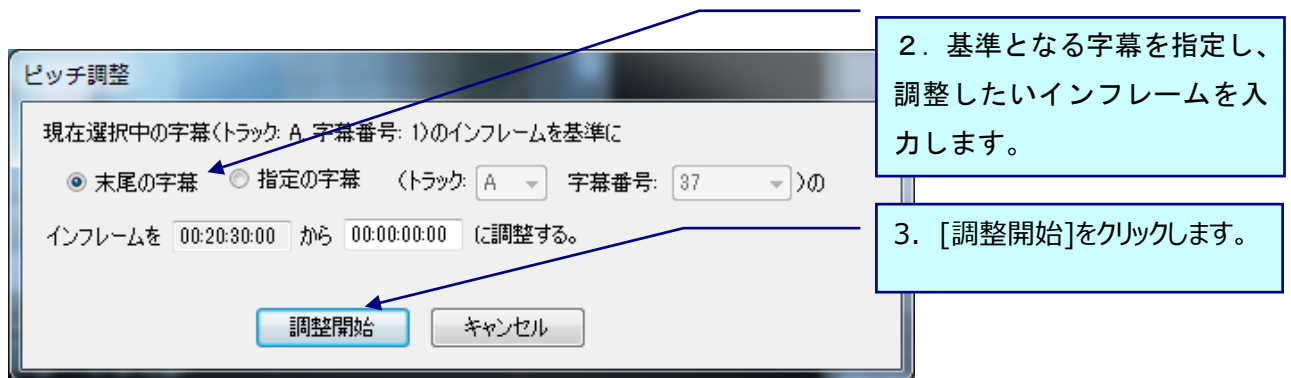
NTSC、PAL、24 フレームそれぞれへの変換をします。

1. [設定] メニューの [映像とタイムコードの同期] をクリックし、[フレームタイプ変換] を選びます。
2. タイムコードを入力し、フレームタイプを選択して、[OK] をクリックします。


《ピッチ調整》

以前作成した sdb ファイルで利用していたマスターテープと異なるマスターテープを利用する際に、タイムコードに微妙なずれが生じる場合があります。この場合、最初の字幕は正しくスポットされていてその後徐々にタイミングがずれてきます。そのタイミングの微妙なずれを、手で一つ一つ修正すると手間になるため、全体的に一括で修正する機能がピッチ調整機能です。

1. [設定] メニューの [映像とタイムコードの同期] をクリックし、メニューの [ピッチ調整] を選びます。



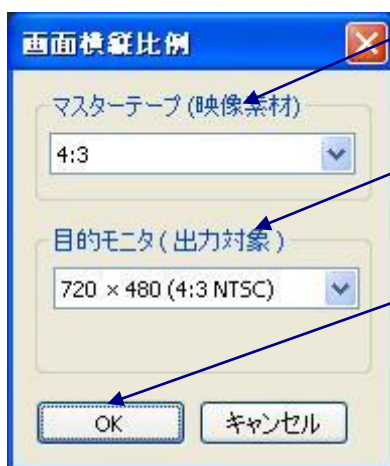
選択中の字幕から、[末尾の字幕] もしくは [指定の字幕]の間でピッチ調整が行われ、字幕のタイミングが調整されます。

 基準となる選択中の字幕のインフレームが正しいタイムであることが前提となります。

《画面調整》

マスターテープの画角と目的モニタの解像度を調整します。画面調整解説については、次ページ参照。

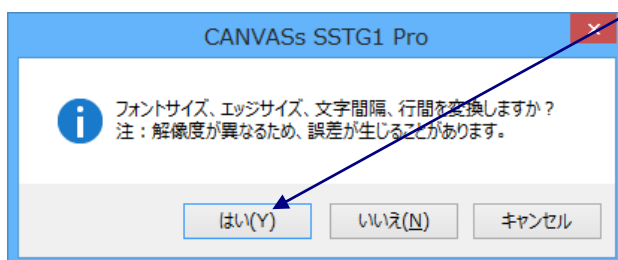
1. [設定] メニューの [画面調整] をクリックします。
 - ・マスターテープ (映像素材) : 字幕制作用 (SST G1Pro に取り込む) のワークテープのことをさします。
 - ・目的モニタ (出力対象) : 視聴者やユーザーが 4:3 モニタや 16:9 モニタでどのような画角で視聴できるかを意味します。



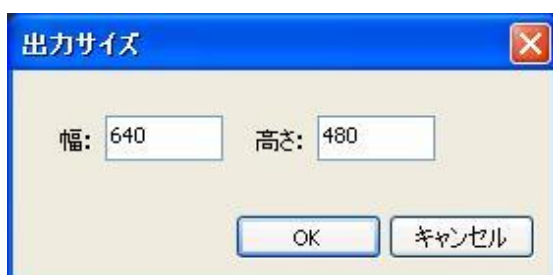
2. [マスターテープ (映像素材)] を選択します。

3. [目的モニタ (出力対象)] の選択を行います。

4. [OK] をクリックします。



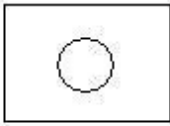
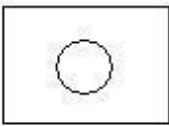
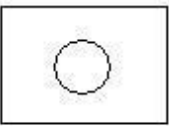
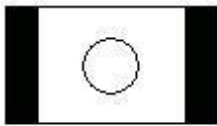
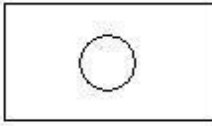

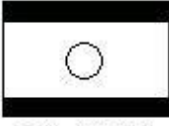
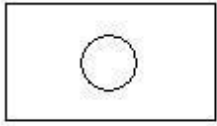
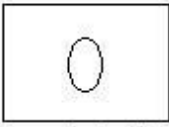
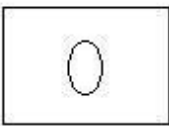
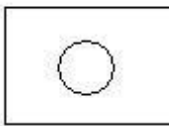
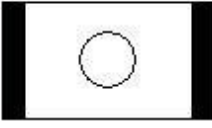
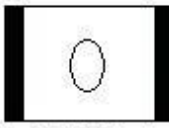
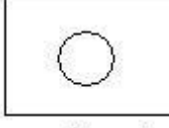
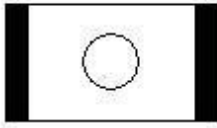
5. 変換をする場合は、[はい] を、変換しない場合は、[いいえ] を選択してください。

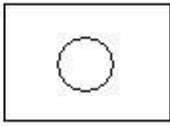
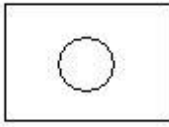
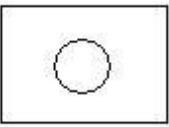
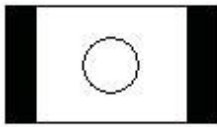
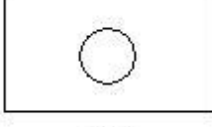
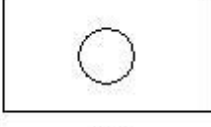

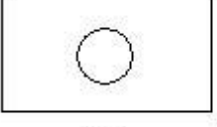
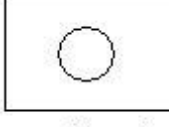


[目的モニタ (出力対象)] のリスト内にある「ユーザー定義サイズ」を選択すると図のような画面が表示され出力サイズを任意で入力することができます。

《SST G1Pro 画像調整解説》

SST G1Pro で設定できる画像調整の一覧です。

| オリジナル マスターテープ | SST G1(MPEG-1) 字幕ワーク映像 | | 目的モニタ(出力対象) 4:3 | 目的モニタ(出力対象) 16:9 |
|---|---|---|---|---|
|  4:3 |  4:3 | ⇒ |  4:3 |  サイドパネル追加 |
|  16:9 |  4:3レターボックス | ⇒ |  レターボックス |  16:9 |
| |  4:3スクイーズ | ⇒ | | |
| |  4:3スクイーズ | ⇒ |  エッジクロップ | |
|  16:9 |  4:3サイドブラック | ⇒ |  エッジクロップ |  16:9 |

| オリジナル マスターテープ | SST G1(WMV) 字幕ワーク映像 | | 目的モニタ(出力対象) 4:3 | 目的モニタ(出力対象) 16:9 |
|---|---|---|---|---|
|  4:3 |  4:3 | ⇒ |  4:3 |  サイドパネル追加 |
|  16:9 |  16:9 | ⇒ |  レターボックス |  16:9 |
| | | ⇒ |  エッジクロップ | |

- ・レターボックス：16:9の映像を4:3に変換した際の上下に黒味がある表示形式です。
- ・スクイーズ：16:9の映像を4:3に変換した際に、左右が圧縮され縦長に表示される形式です
- ・エッジクロップ：サイドカットとも呼ばれます。

ユーザー設定

[設定] メニューの [ユーザー設定] をクリックします。

《ガイドラインの設定》

a. 字幕

i. 文字数 (/秒)

このガイドラインにより、[最高文字数インジケータ]、[使用文字数インジケータ]、および[残り文字数インジケータ]に表示される数値が決定されます。このガイドラインの値を超えると、『テキストウィンドウ』に赤マークが表示されます。

[ルビも文字数に含む]のチェックボックスをオンにすると字幕数にルビの文字数も加えた数字になります。

ii. 文字数 (/行) (横)

横字幕の文字数が、このガイドラインの値を超えると、『テキストウィンドウ』に黄マークが表示されます。

iii. 文字数 (/行) (縦)

縦字幕の文字数が、このガイドラインの値を超えると、『テキストウィンドウ』に黄マークが表示されます。

b. タイムコード

i. 字幕表示時間

[警告] 設定された長さ以下のスポッティングは、『音声波形ウィンドウ』に赤く表示されます。

[強制] に設定された長さ以下のスポッティングは作成できません。

ii. 字幕の間隔

スポッティングとスポッティングの間隔が、[警告]された長さ以下だと赤いラインが表示されます。[強制]に設定された値より間隔を短くすることはできません。

最低間隔よりも短く間隔を設定するには、このガイドラインを調整する必要があります。ただし、再調整しても既存の字幕には影響はありません。

c. 数値による選択方法

『フォーマット設定』の[範囲指定]、『字幕削除』、『字幕番号の振り直し』、『テキストウィンドウ』の[番号]に入力する数字を、「字幕番号」とするか「インデックス番号」とするかを選択します。

インデックス

字幕番号

一行あたりの文字数

[字幕番号]を指定した場合、字幕番号を入力すると、該当する字幕に移動します。
[インデックス]を指定した場合はインデックス番号を入力してください。

| Index | Subtitle Number | Text | Characters per line |
|-------|-----------------|---|---------------------|
| 1 | 0001 | An intense spy battle has been waged over a mysterious disk, ある企業が開発した謎のディスク | 9 |
| 2 | 0002 | An intense spy battle has been waged over a mysterious disk, “コードS” | 6 |
| 3 | 0003 | developed by an unmanned company. このディスクをめぐり | 10 |
| 4 | | The full truth about the contents of the disc is unknown; | |


最高 17.2 使用 17.0 残り 0.2 番号 1 1 / 50

d. ダーシとして指定する文字列

ダーシとして指定する文字列を4つまで登録可能です。登録できる文字列は4文字までです。

ダーシとは：

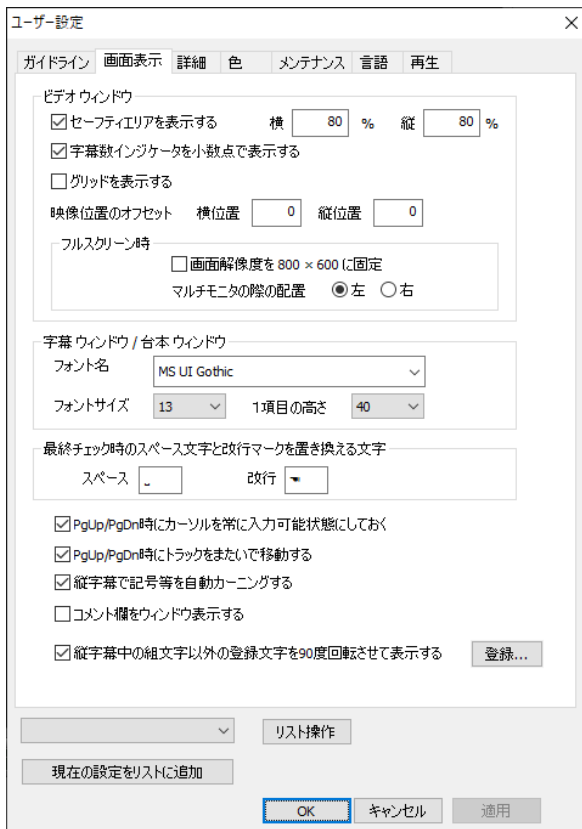
1つの字幕が「次の字幕に続く」ということを明確に示すための記号。
「ー」の長さが1.5倍になっているものである。（右図の赤丸）

ある企業が開発した
謎のディスク 

e. 字幕付与範囲

「映像の末尾以降に字幕を付与できる時間」を設定すると、映像ファイルが終了した後も設定時間分はスポットティング、波形上での in 点/out 点の調整、字幕移動等ができるようになります。

《画面表示の設定》



ユーザー設定

ガイドライン 画面表示 詳細 色 メンテナンス 言語 再生

ビデオウィンドウ

セーフティエリアを表示する 横 % 縦 %

字幕数インジケータを小数字で表示する

グリッドを表示する

映像位置のオフセット 横位置 縦位置

フルスクリーン時

画面解像度を 800 × 600 に固定

マルチモニタの配置 左 右

字幕ウィンドウ / 台本ウィンドウ

フォント名

フォントサイズ 1項目の高さ

最終チェック時のスペース文字と改行マークを置き換える文字

スペース

PgUp/PgDn時にカーソルを常に入力可能状態にしておく

PgUp/PgDn時にトラックをまたいで移動する

縦字幕で記号等を自動カーニングする

コメント欄をウィンドウ表示する

縦字幕中の組文字以外の登録文字を90度回転させて表示する

a. ビデオウィンドウ

i. セーフティエリアを表示する

このチェックボックスにチェックが入っている場合、セーフティエリアが『ビデオウィンドウ』上に赤線が表示されます。%の入力値によって、セーフティエリアの表示位置が決まります。SDの場合、一般的には80%に設定されることがほとんどです。

ii. 字幕数インジゲータを小数点で表示する

このチェックボックスにチェックが入っている場合、『テキストウィンドウ』にある文字数インジゲータの数字が小数点まで表示されます。

iii. グリッドを表示する

このチェックボックスにチェックが入っている場合、『ビデオウィンドウ』上にグリッドが表示されます。

iv. 映像のオフセットの設定

[横位置]と[縦位置]に数字を入力すると映像のオフセットができます。(エンコード時の水平・垂直の位置ずれを修正するのに使用します。エンコーダーの特性に合わせて調整してください。)

[横位置]: 数値を大きくすると左へ移動、マイナスの数値を入力すると右へ移動


[縦位置]: 数値を大きくすると上へ移動、マイナスの数値を入力すると下へ移動

v. フルスクリーン時

- ・画面解像度を 800 × 600 に固定

このチェックボックスにチェックが入っている場合、全画面表示にした時の画面解像度を 800×600 に固定します。

- ・マルチモニタの際の配置

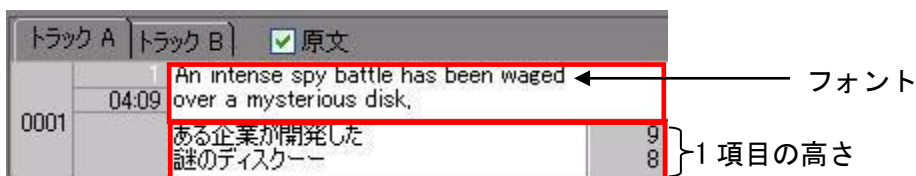
外部モニタを接続した場合、映像ウィンドウとテキストウィンドウを別々に表示できます。映像を左右のどちらに表示させるかを選択します。全画面表示ボタン  を押すと画面が映像とテキストウィンドウに分割されます。

b. 字幕ウィンドウ / 台本ウィンドウ

i. フォント名: 『テキストウィンドウ』に表示されているフォントの種類を指定することができます。

ii. フォントサイズ: 『テキストウィンドウ』に表示されているフォントサイズを指定することができます。

iii. 1項目の高さ: 『テキストウィンドウ』に表示される『字幕ウィンドウ』、『原文ウィンドウ』、『コメント欄』の入力枠の高さを指定することができます。

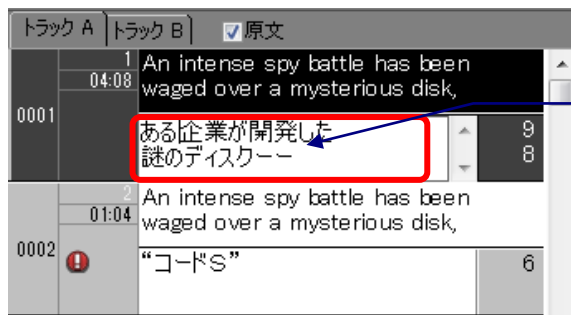


c. 最終チェック時のスペース文字と改行マークを置き換える文字

最終チェック機能にて、スペースと改行のチェックを行った際にエフェクトとして置き換えられる文字を設定することができます。

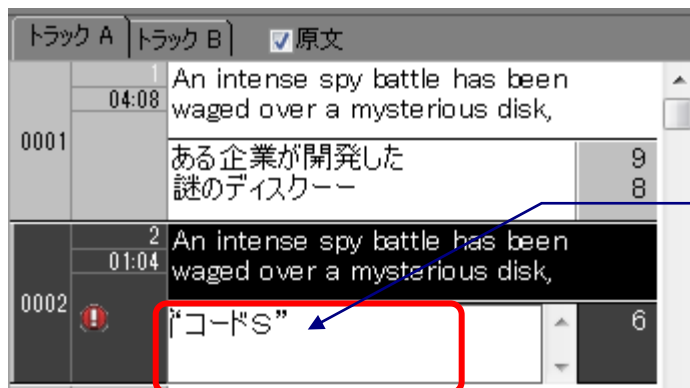
d. PgUp/PgDn時にカーソルを常に入力可能状態にしておく

このチェックの有無により、下図のように入力可能な状態で、Page Up/Page Down キーを押したときのカーソルの状態が異なります。



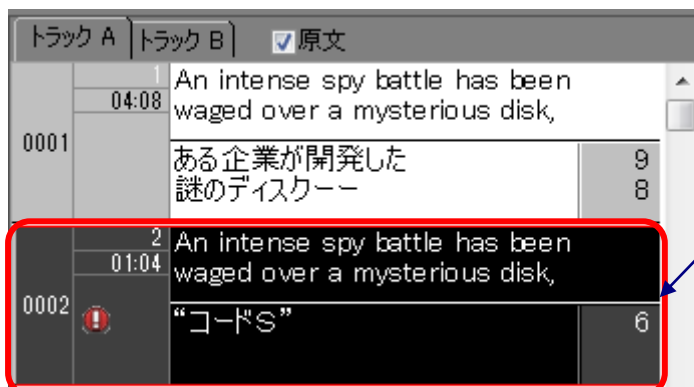
入力可能な状態で、Page Down キーを押す。

■ 「PgUp/PgDn時にカーソルを常に入力可能状態にしておく」にチェックを入れた状態



入力可能な状態で下の字幕に移動する。

■ 「PgUp/PgDn時にカーソルを常に入力可能状態にしておく」にチェックを入れない状態



下の字幕全体が選択された状態で移動する。

e. PgUp/PgDn時にトラックをまたいで移動する

このチェックを入れていると、PageUp/PageDown を押した時に、トラックをまたいでタイムコード順に移動します。

f. 縦字幕で記号等を自動カーニングする

このチェックの有無により、ダブルクォーテーションなど一部の記号を、画像ファイル (tif、png など) で出力したときに見やすいように、プレビューウィンドウ上で自動的にカーニングを調整します。

■自動カーニングあり→

あ
つ
ま
り
か
り
は
”
わ
か
い
”
デ
ィ
ス
ク
ッ
ク
テ
ィ
ノ
イ

あ
つ
ま
り
か
り
は
”
わ
か
い
”
デ
ィ
ス
ク
ッ
ク
テ
ィ
ノ
イ

←■自動カーニングなし

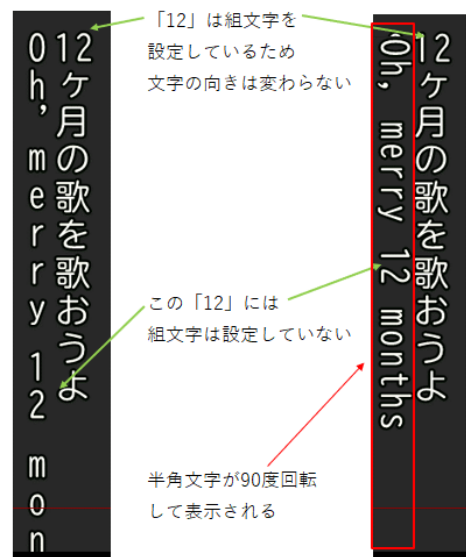
g. コメント欄をウィンドウ表示する

このチェックの有無により、コメントが別ウィンドウで表示されます。コメントウィンドウは常に最前面に表示されます。閉じるときは右上の「×」で閉じてください。

h. 縦字幕中の組文字以外の登録文字を90度回転させて表示する

リストに登録されている文字が 90 度回転した状態になります。回転させたい文字は同画面の [登録] ボタンから登録を行います。

[例]
半角英数字を登録している場合

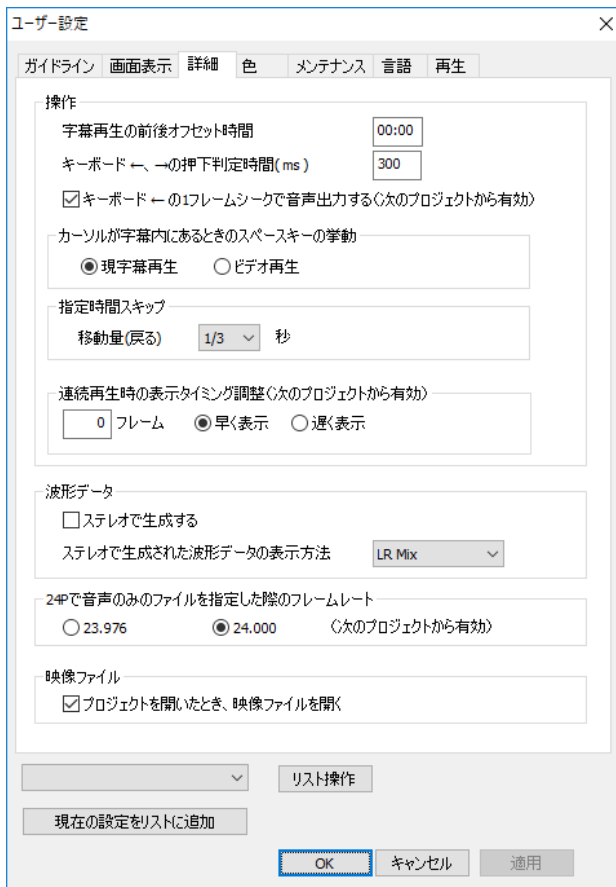


<注意>

- ◆ユーザー設定画面にて、[現在の設定をリストに追加]を行うと、回転させたい登録文字もユーザー設定リストに保存されます。ユーザー設定リストに登録されている登録文字を変更した場合は、必ずユーザー設定画面でリストを上書き保存してください。
- ◆回転させる文字は sdb ファイルには保存されません。ユーザー設定に基づいて表示が変わりますので、sdb ファイルを受け渡して別の PC で開く際は、ユーザー設定をご確認いただくか、ユーザー設定も一緒にインポートしてご利用ください。
- ◆以下の文字は縦字幕の場合、自動的に回転や位置調整が行われるため登録はできません。
自動的に調整される文字：

「 「 { 《 【 < « [[< 『 { [((< j } } »] > »]] } })) > ” …… — — — — ~ . . = = “ ”

《詳細の設定》



a. 操作

i. 字幕再生の前後オフセット時間

スポッティング領域内を繰り返し再生する場合、設定したフレーム分前から再生し、設定したフレーム分後で停止します。

ii. キーボード←、→の押下判定時間 (ms)

←、→の矢印キーを長押し再生する場合の判定時間を設定します。

300 は 0.3 秒です。数値が大きくなると反応が遅くなります。

iii. キーボード←の 1 フレームシークを 1 フレーム再生とする

チェックを外すと、←矢印キー（1 フレーム巻き戻し）を押した時に音が出なくなります。

長押し再生の場合は、チェックの有無にかかわらず下記の通りです。

新再生モード：音が出ます。

SSTG1 モード：音はが出ません。

iv. カーソルが字幕内にあるときのスペースキーの挙動

カーソルがスポッティング上にある状態でスペースキー押下時の再生について設定します。

現字幕再生：スポットティングの In 点から Out 点までを繰り返し再生します。

ビデオ再生：カーソルの位置から連続再生します。

v. 指定時間スキップ

本機能を利用するには[設定] - [ショートカットキー設定] の [ビデオ操作] タブにある「指定時間戻す」にショートカットキー設定を行って下さい。ショートカットキーを押すと指定の秒数分一気に戻ることができます。

「1/3」「1/2」秒はフレームレートの設定により、戻るフレーム数が異なります。

例) 30Fr DF のプロジェクトの場合

1/3 秒 → 10 フレーム戻る 1/2 秒 → 15 フレーム戻る

例) 24Fr で、「1/3」秒を設定した場合

タイムコードの 10 フレームではなくダブリコマを含んで 10 フレーム戻ります。
そのため、タイムコード上は 8 フレームだけ戻ります。

例) 25Fr の場合

1 秒を「1/3」「1/2」で割り切れないため、「1/3」で 9 フレーム、「1/2」で 13 フレーム戻ります。そのため「1/2」秒戻り設定で 2 回押した場合に、ちょうど 1 秒には戻らず 1 秒 1 フレーム戻ります。

同様に「1/3」戻り設定で 3 回押した場合には 1 秒 2 フレーム戻ります。

vi. 連続再生時の表示タイミング調整 (次のプロジェクトから有効)

連続再生時に、字幕の表示タイミングをフレーム単位で早めるもしくは遅らせることができます。PC や映像ファイルによって、データ上では正しく In 点と Out 点を取っているのに、連続再生時の表示に差がありずれているように見えるときに調整を行います。本機能は PC ごとの個性が多分に絡んでくるため、利用方法サポート以外のサポート対象外とさせていただきます。

b. 波形データ

音声をステレオもしくは L/R のどちらか片チャンネルを選択できる機能です。

新規の映像を取り込む前に[ステレオで生成する]にチェックを入れて波形を生成すると、後で波形の表示を「L Only」又は「R Only」に切りかえることができます。

[ステレオで生成する]のチェックを入れずに波形を生成した場合は L/R の切りかえができません。

c. 24P で音声のみのファイルを指定した際のフレームレート

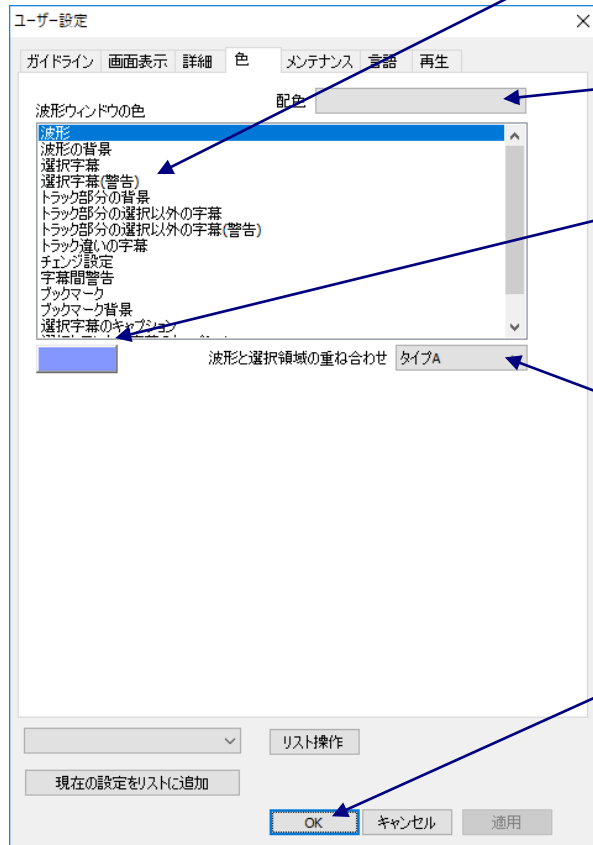
映像が無く音声のみの 24P ファイルでスポットティング作業をする場合、あらかじめ [23.976] が [24.000] のいずれかを指定してください。

d. プロジェクトファイルを開いたとき、映像ファイルを開く

過去に映像を開いた状態でプロジェクトファイルを保存していた場合、次に開くときに自動で開いていた映像ファイルが開きます。

《色の設定》

メニューに表示されている項目に関して、色の選択ができます。



1. 色を変更したい項目をクリックします。

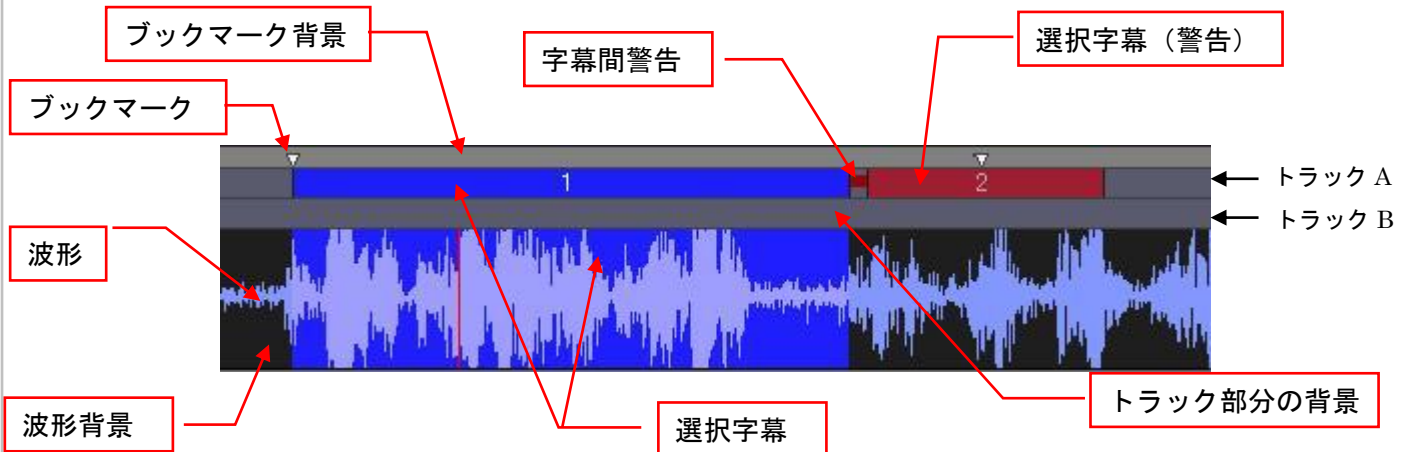
配色パターンを選択できます。

2. 色を選択します。

重ね合わせのタイプを選びます。

3. [OK]をクリックします。

a. 波形ウィンドウの色



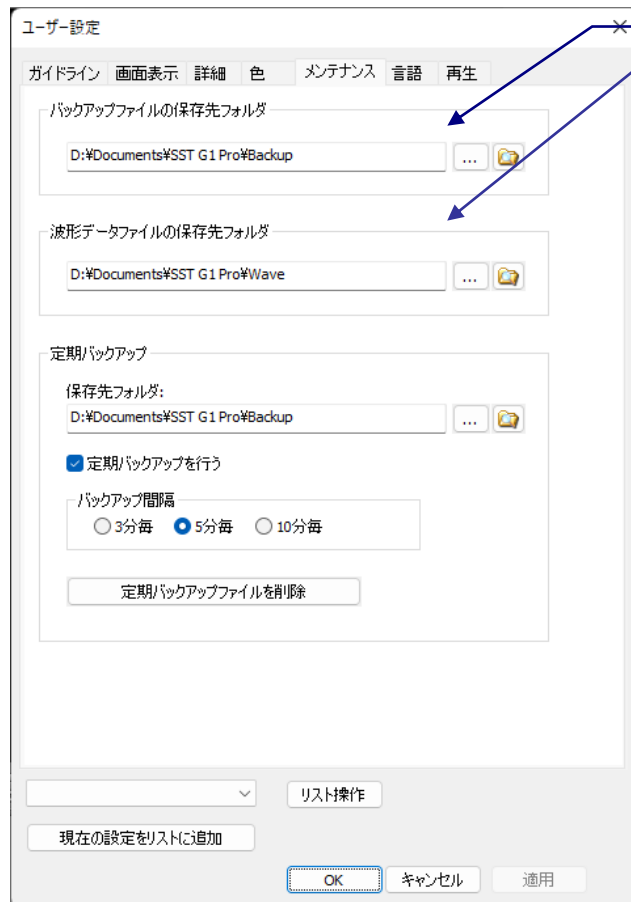
- トラック部分の選択以外の字幕：現トラックにある選択されていない字幕の色。
- トラック部分の選択以外の字幕（警告）：現トラックにある選択されていない字幕で警告が出ている場合の色。
- トラック違いの字幕：トラック A 選択時のトラック B の字幕の色。もしくはその逆。
- チェンジ設定：字幕間が0の時の字幕と字幕の間のトラック色。ただし、音声波形の幅が水平 200%以上でない見えません。
音声波形の右下の数値を参照してください。

水平 200.00% 垂直 100.00% SCRL

b. 波形と選択領域の重ね合わせ

『音声波形ウィンドウ』にスポッティング領域を表示させる際に、波形の背景・波形の色とスポッティング領域の色の合成方法を3パターンから選択できます。

《メンテナンスの設定》




エクスプローラーを開き、消
したいものを削除します。


不要になったバックアップフ
ァイルは定期的に消去するこ
とをお勧めします。

a. バックアップファイルの保存先フォルダ

i. バックアップファイルの消去


 [エクスプローラーを開く] ボタンをクリックし、バックアップファイル (.sdb) が保存さ
れているフォルダより削除できます。

ii. バックアップファイルの保存先


 パスを指定するとバックアップファイルの保存先を指定することができます。

b. 波形データファイルの保存先フォルダ

i. 音声波形データファイルの消去


 [エクスプローラーを開く] ボタンをクリックし、音声波形データファイル (.WAV) が保
存されているフォルダより削除できます。新再生機構は「Normal」フォルダに作成され、
SSTG1 モードは「DSMode」フォルダに波形データが作成されています。

ii. 音声波形データの保存先


 パスを指定すると音声波形データファイルの保存先を指定することができます。

c. 定期バックアップ

i. 定期バックアップを行う

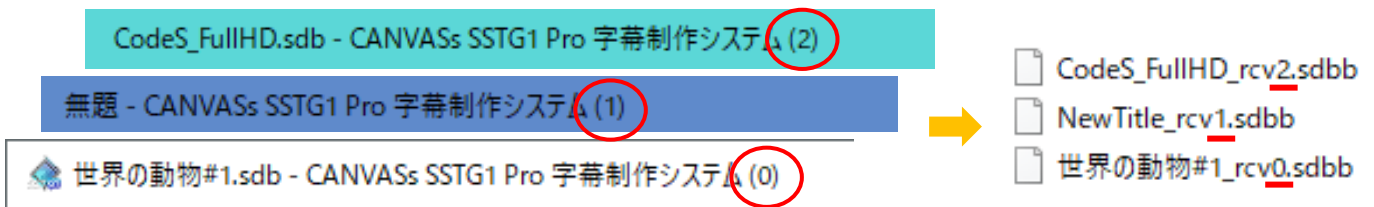
 ボタンをクリックし、バックアップファイル(.SDBB)の保存先フォルダを指定できます。「定期バックアップを行う」にチェックを入れていた場合、指定した時間ごとにバックアップファイルが作成されます。設定は、設定後にソフトを再起動させると適用されます。

ii. バックアップの復旧

 [エクスプローラーを開く]ボタンをクリックし、バックアップファイルの保存先フォルダを開きます。「バックアップ間隔」で設定した分毎に下記ファイル名のバックアップファイルが「保存先フォルダ」で設定したフォルダに自動保存されます。

定期バックアップファイル名

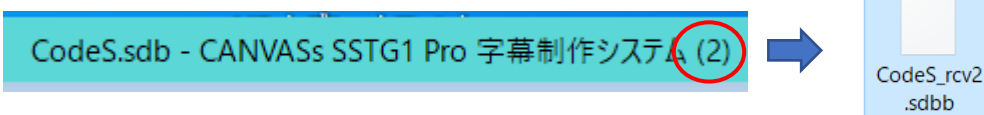
元の sdb ファイル名 + _rcv + 開いているウィンドウの番号(.sdbb)



※「名前を付けて保存」をせず「無題」のファイルは「NewTitle」として保存されます。

例) 「CodeS」を3番目のウィンドウで開いていた場合

→開いているウィンドウの番号は(0)から始まるため、3番目に開いているウィンドウにはヘッダーに(2)と番号が付きま




※定期バックアップファイルは一つの sdb ファイルに対して一つしか作成されず、設定した分毎に上書きされていきます。従来のバックアップ機能のように履歴を保存することはできません。

※前回の定期バックアップ時から sdb ファイルに変更がない場合、定期バックアップファイルの上書き保存は行われません。

<定期バックアップファイルの復元方法>

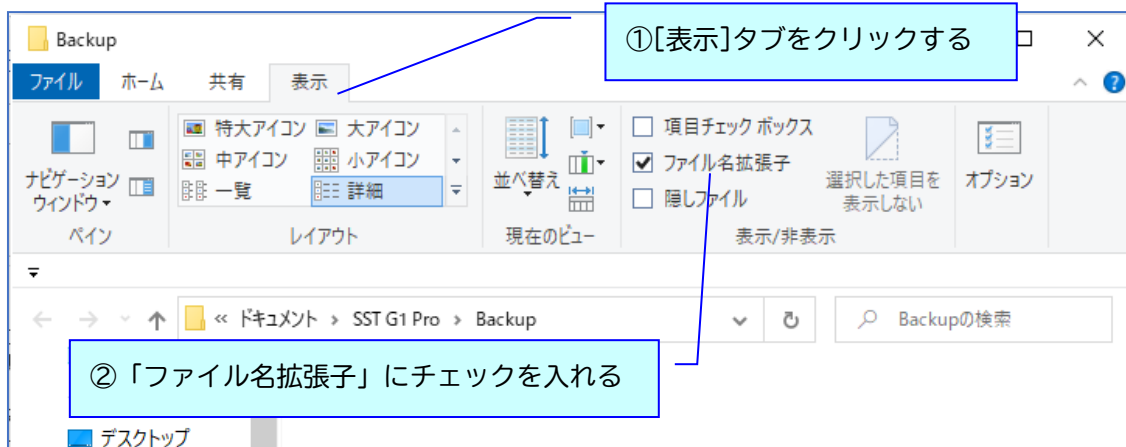
バックアップ保存先フォルダから定期バックアップファイルを任意の場所にコピーし、ファイル拡張子を「.sdb」に変更してください。詳細な手順は下記のとおりです。

1) バックアップファイルの保存先フォルダを開く

[設定]－[ユーザー設定] [メンテナンス]タブの「定期バックアップ」－「保存先フォルダ」
 [エクスプローラーを開く] ボタンをクリックし、保存先フォルダを開きます。

2) 拡張子を表示させる（すでに表示させている場合は不要です）

バックアップファイルを復元するには拡張子（ファイルの種類を識別するためにファイル名の末尾につけられる、（ドット）の後ろの文字列）を変更する必要があります。拡張子を非表示にしている場合、以下の手順で拡張子を表示させてください。

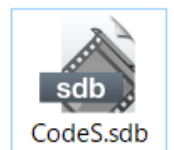


「ファイル名拡張子」にチェックを入れると、ファイル名の後ろに
 .（ドット）とアルファベットの文字列が表示されます。

例えば sdb ファイルの拡張子を表示させた場合、右のように
 ファイル名の後ろに「.sdb」が表示されます。

<拡張子なし>

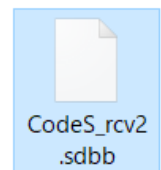
<拡張子あり>



3) 定期バックアップファイルをコピーする

復元したい定期バックアップファイル「元の sdb ファイル名_rcv ウィンドウ番号.sdbb」
 を任意の場所にコピーします。

定期バックアップファイルは右のように、白抜きアイコンのファイルです。

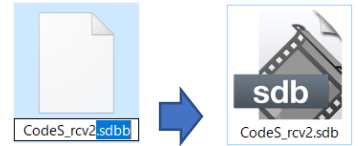


4) 拡張子を変更する

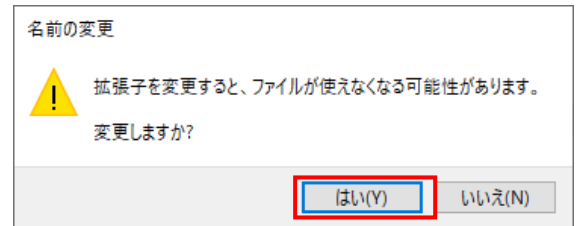
任意の場所にコピーした定期バックアップファイルを右クリックし、「名前の変更」を選択します。

ファイル名の後ろにある拡張子「.sdbb」の「b」をひとつ削除し、拡張子を「.sdb」に変更します。

変更時に「拡張子を変更すると、ファイルが使えなくなる可能性があります。変更しますか？」とメッセージが出た場合は「はい」を選択してください。



拡張子を「.sdb」に変更すると、通常の sdb ファイルとなり、SSTG1 シリーズで開くことができるようになります。



※ファイル名は任意の名前に変更してかまいません。

ユーザー設定のリスト追加機能(①)では[メンテナンス]タブの内容は登録の対象外です。バックアップ機能の設定もリストに登録はされません。

また、リストを変更(②)しても、[メンテナンス]タブの内容は変わりません。



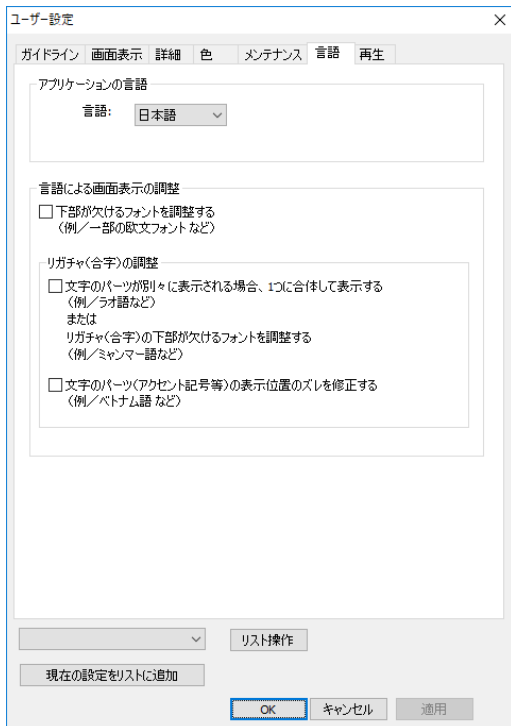
iii. 定期バックアップファイルを削除

クリックすると、定期バックアップの保存先フォルダに指定したフォルダ内にあるすべての .sdbb ファイル（定期バックアップファイル）が削除されます。

※従来のバックアップファイル（.sdb形式）など、他のファイルは削除されません。

※保存先フォルダを変更した場合、「適用」を押下しないと削除ボタンがアクティブになりません。

《言語》



a. アプリケーションの言語

表示する言語の選択ができます。言語の変更を有効にするためには、一度アプリケーションを閉じて、再度起動する必要があります。


b. 言語による画面表示の調整

画面ウィンドウ上で正しく表示できない一部の多言語フォント（ベトナム語、ラオス語、ミャンマー語 など）を正しく表示します。

※Unicode 対応のフォントにて検証を行っております。フォントによっては正しく表示されない場合がございます。

※ミャンマー語のフォントは、独自コードで作成されており Unicode 対応していないフォントが多いため、正しく表示されないことがあります。独自コードで作成された字幕は、そのコードに対応したフォントを設定してください。

- i. 下部が欠けるフォントを調整する（例／一部の欧文フォントなど）
- ii. 文字のパーツが別々に表示される場合、1つに合体して表示する（例／ラオ語など）
またはリガチャ（合字）の下部が欠けるフォントを調整する（例／ミャンマー語など）
- iii. 文字のパーツ（アクセント記号等）の表示位置のズレを修正する（例／ベトナム語など）

 多言語フォントを使用しないとき（日本語や英語フォントなどを使用するとき）は全てのチェックを必ず外してください。チェックが入っていると、斜体などのフォーマットが正しく表示できません。

■ベトナム語

表示



ユーザー設定

言語による画面表示の調整

- 下部が欠けるフォントを調整する
(例/一部の欧文フォントなど)

リガチャ(合字)の調整

- 文字のパーツが別々に表示される場合、1つに合体して表示する
(例/ラオ語など)
または
リガチャ(合字)の下部が欠けるフォントを調整する
(例/ミャンマー語など)
- 文字のパーツ(アクセント記号等)の表示位置のズレを修正する
(例/ベトナム語 など)

■ラオス語

表示



ユーザー設定

言語による画面表示の調整

- 下部が欠けるフォントを調整する
(例/一部の欧文フォントなど)

リガチャ(合字)の調整

- 文字のパーツが別々に表示される場合、1つに合体して表示する
(例/ラオ語など)
または
リガチャ(合字)の下部が欠けるフォントを調整する
(例/ミャンマー語など)
- 文字のパーツ(アクセント記号等)の表示位置のズレを修正する
(例/ベトナム語 など)

■ミャンマー語

表示



ユーザー設定

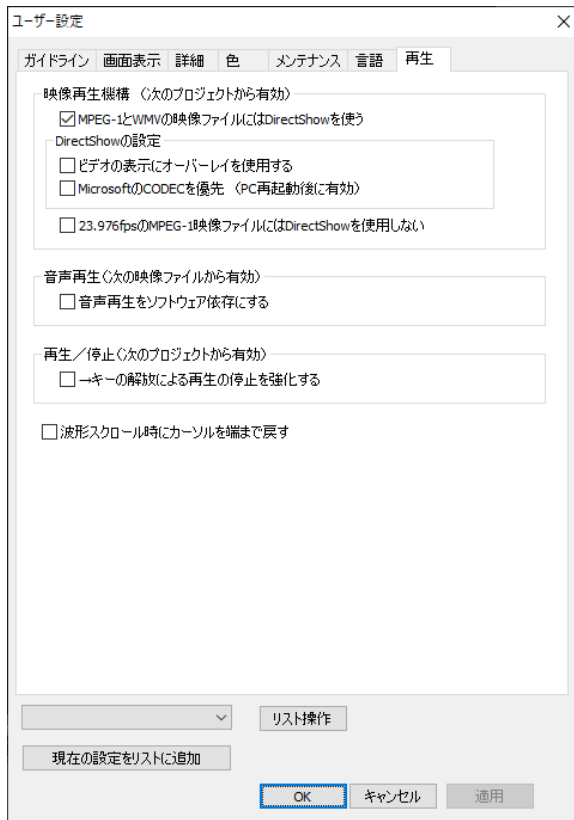
言語による画面表示の調整

- 下部が欠けるフォントを調整する
(例/一部の欧文フォントなど)

リガチャ(合字)の調整

- 文字のパーツが別々に表示される場合、1つに合体して表示する
(例/ラオ語など)
または
リガチャ(合字)の下部が欠けるフォントを調整する
(例/ミャンマー語など)
- 文字のパーツ(アクセント記号等)の表示位置のズレを修正する
(例/ベトナム語 など)

《再生》



a. 映像再生機構 (次のプロジェクトから有効)

i. MPEG-1とWMVの映像ファイルにはDirectShowを使う

映像の再生にDirectShowを使用します。映像再生がIBSSTG1と同じ挙動 (SSTG1モード) になります。「DirectShowを使う」を有効にするためには、一度アプリケーションを閉じて、再度起動する必要があります。

ii. ビデオの表示にオーバーレイを使用する

オーバーレイに対応しているパソコンを使用している場合、オーバーレイを使用することで動画再生時の負荷を軽減し、スムーズな再生ができるようになる機能です。波形生成、映像再生等の不具合があった場合にはチェックをつけてみてください。

iii. Microsoft の CODEC を優先

波形生成、映像再生等の不具合があった場合にはチェックをつけてみてください。

iv. 23.976fps の MPEG-1 映像ファイルには DirectShow を使用しない

23.976fps の MPEG-1 を開いた際は、SSTG1 モードではなく新再生モードを使用します。

b. 音声再生 (次の映像ファイルから有効)

音声再生をソフトウェアに依存する

Windows10 の PC において、1 フレーム再生時と通常再生開始時にノイズが発生することがある場合にチェックを入れてみてください。

c. 再生／停止（次のプロジェクトから有効）

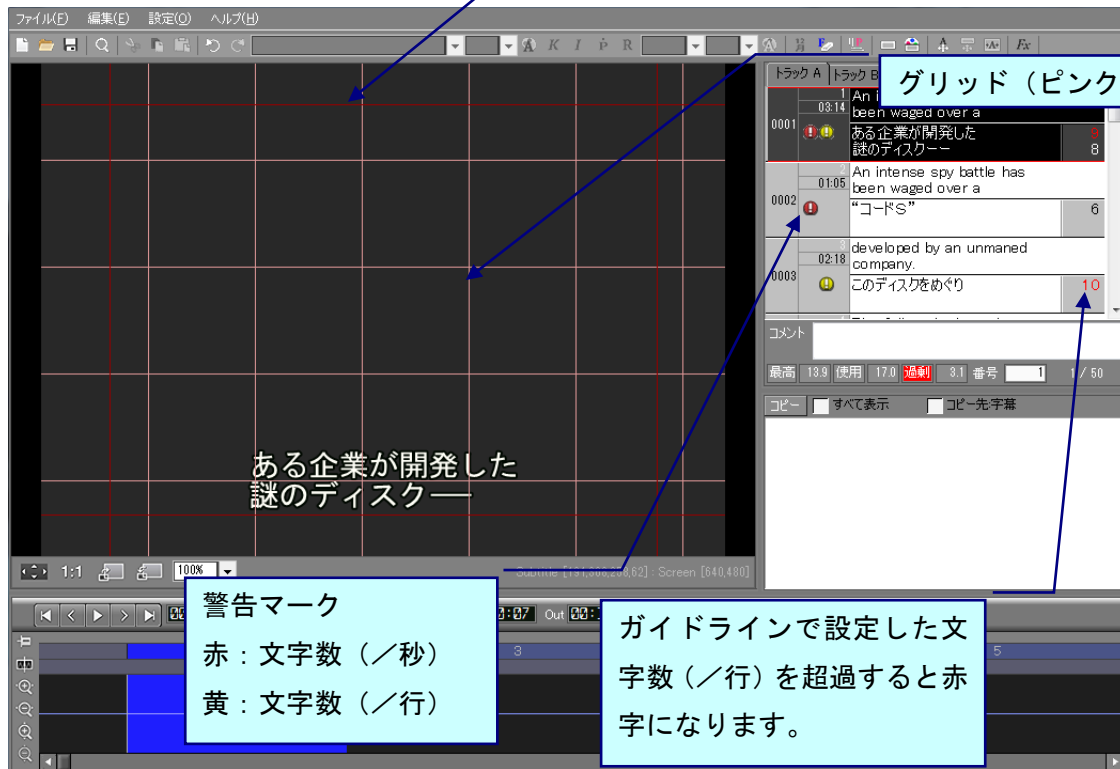
→キーの解放による再生の停止を強化する

PCによって、再生時やスポッティング時に停止が効かないことがあります。その場合にこのチェックを入れると停止を強化します。

d. 波形スクロール時にカーソルを端まで戻す

このチェックを入れると、再生などで波形上のカーソルが右端まで進んだ後、中央ではなく左端に戻ります。逆再生の場合は左端まで進んだ後、右端に戻ります。

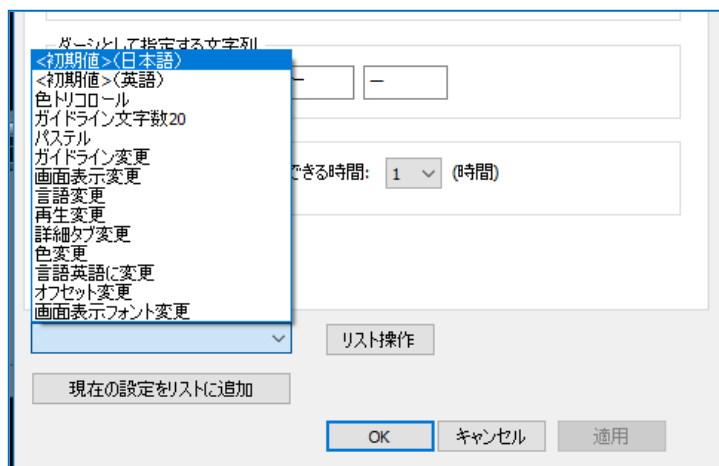
○表示の説明



《現在の設定をリストに追加》



変更したユーザー設定は、左下の[現在の設定をリストに追加]からリスト登録することが可能です。登録したユーザー設定は、左下のリスト名のプルダウンから選択可能です。



※「<初期値>（日本語）」と「<初期値>（英語）」は変更・削除ができません。

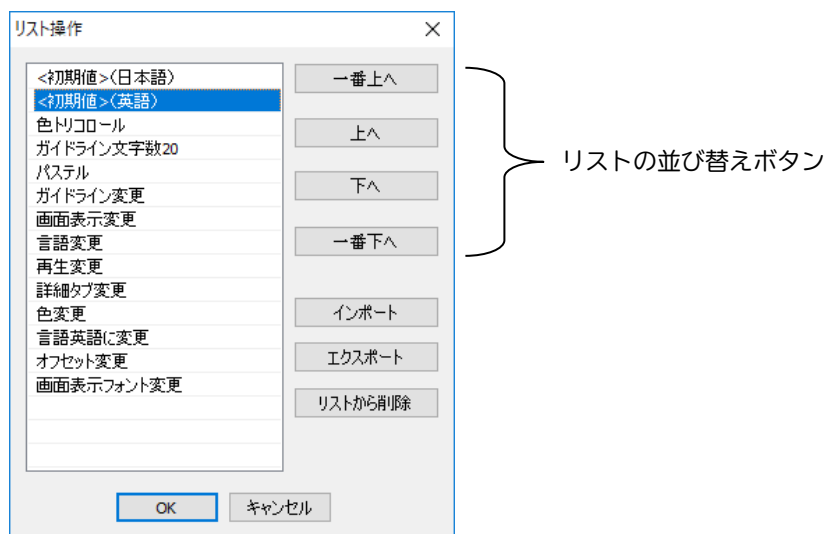
<初期値>（日本語）：従来の[デフォルトに戻す]ボタンを押した際の設定値です。

<初期値>（英語）：[言語]タブが「英語」に設定されます。それ以外は従来の[デフォルトに戻す]ボタンを押した際の設定値です。

※メンテナンスタブはリストに保存されないため、変更する場合はユーザー設定画面から手動で変更してください。

《リスト操作》

ユーザー設定画面から[リスト操作]をクリックします。



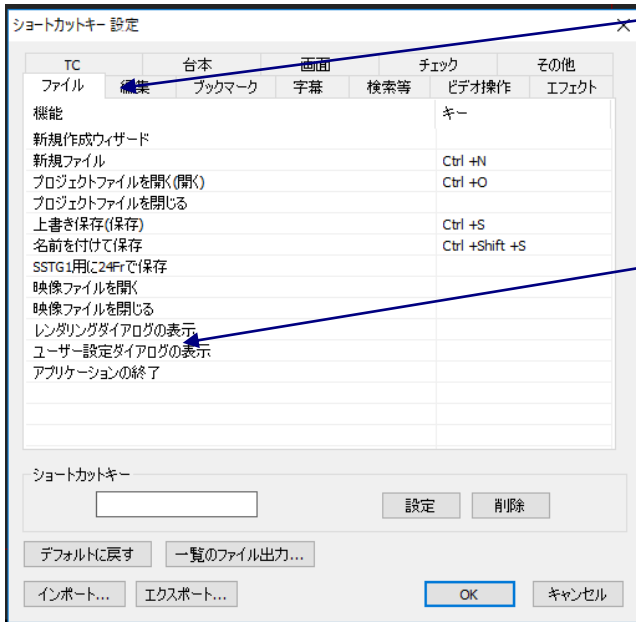
[インポート]：ユーザー設定のファイルをインポートします。[メンテナンス]タブは対象外です。

[エクスポート]：選択しているユーザー設定をファイルにエクスポートします。[メンテナンス]タブは対象外です。

[リストから削除]：選択しているユーザー設定をリストから削除します。<初期値>（<initial setting>）は削除できません。

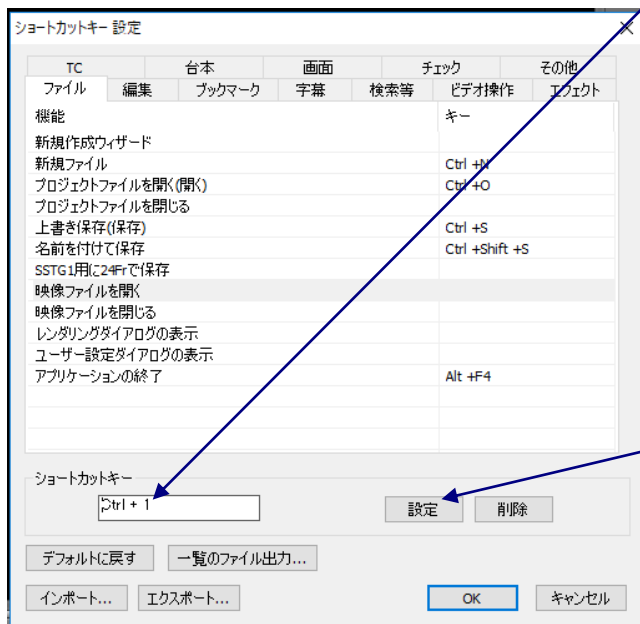
《ショートカットキーの設定》

1. [設定] メニューの [ショートカットキー設定] をクリックします。



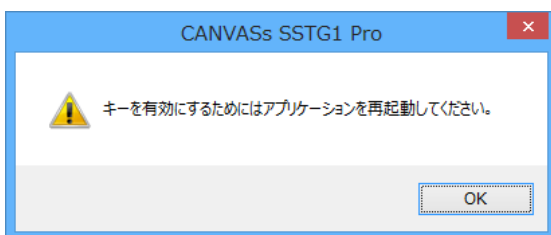
2. カテゴリごとに分かれていますので、該当のカテゴリのタブを選択します。

3. 選択したカテゴリのリストから設定する項目を選択します。



4. 現状のショートカットキーが表示されますが、登録が無い場合は空白です。設定したいキーを押すとボックス内に反映されます。

5. ショートカットキーを変更する、または新規登録する場合は、[ショートカットキー]のボックス内に新しいキーを入力し、[設定]ボタンをクリックします。



6. ショートカットキーを有効にするためには、SST G1Pro を再起動してください。

<ショートカットキーで設定可能な組み合わせ>

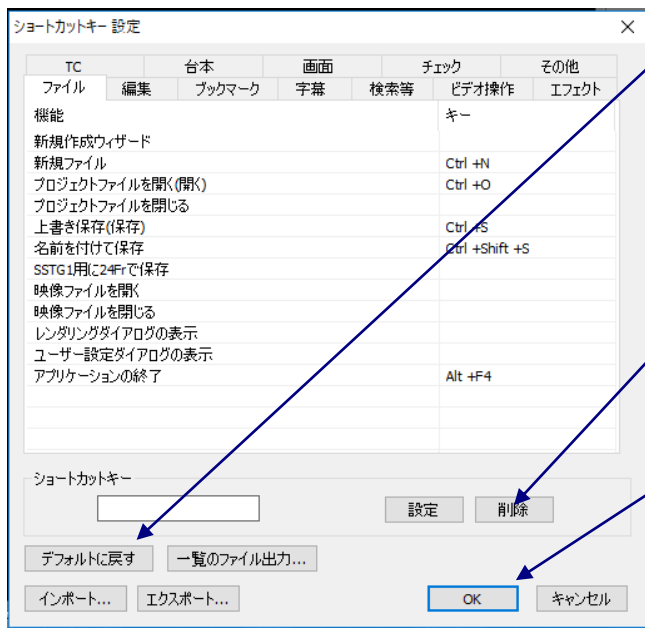
- ・単独キー : F2 ~ F12
- ・組み合わせ : Ctrl + 任意のキー
Alt + 任意のキー
Shift + 任意のキー
Ctrl + Alt + 任意のキー
Ctrl + Shift + 任意のキー
Shift + Alt + 任意のキー

※Home キーと End キーの単独キー、組み合わせは設定できません。

※Page Up、Page Down の単独キーは設定できません。

※Ctrl + Page Up、Ctrl + Page Down は設定できません。

《ショートカットキーをデフォルトに戻す／削除する》



すべてのショートカットキーをデフォルトの状態に戻す場合は[デフォルトに戻す]ボタンをクリックします。

ショートカットキーを削除する場合は[削除]ボタンをクリックします。

[OK]をクリックします。

SST G1Pro を再起動してください。

《ショートカットキー設定のインポート・エクスポート》

[エクスポート]をクリックすると、txt ファイルとしてショートカットキー設定を出力することができます。また、[インポート]をクリックすると、txt ファイルを取り込むことができるので、ショートカットキー設定を共有するのに便利です。

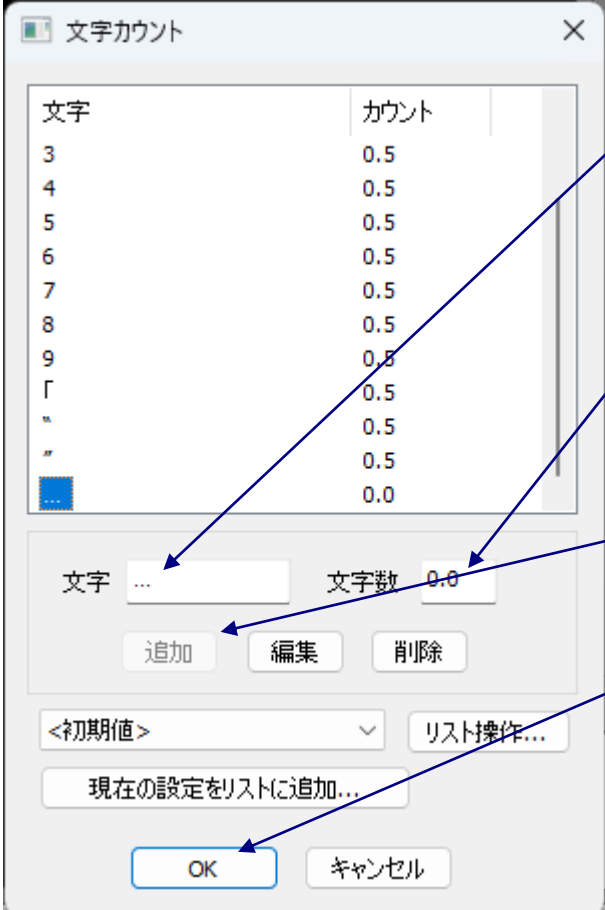
また、[一覧のファイル出力]では、現在設定されているショートカットキーの一覧を csv ファイルで出力できます。

《文字カウント》

字幕の使用文字数のカウント方法を文字ごとに設定できます。

《文字カウントの登録》

1. [設定] メニューの [文字カウント] をクリックします。



The screenshot shows a dialog box titled "文字カウント" (Character Count) with a table of characters and their counts. Below the table are input fields for "文字" (Character) and "文字数" (Character Count), and buttons for "追加" (Add), "編集" (Edit), and "削除" (Delete). At the bottom are "OK" and "キャンセル" (Cancel) buttons. Five numbered callouts point to specific parts of the dialog:

1. [設定] メニューの [文字カウント] をクリックします。
2. 新規登録したい文字を入力するか、変更したい文字をリストから選択します。
3. カウント数を入力します。
4. 新規登録の場合は[追加]を、変更の場合は[編集]、削除する場合は[削除]をクリックします。
5. [OK]をクリックします。

| 文字 | カウント |
|-----|------|
| 3 | 0.5 |
| 4 | 0.5 |
| 5 | 0.5 |
| 6 | 0.5 |
| 7 | 0.5 |
| 8 | 0.5 |
| 9 | 0.5 |
| 「 | 0.5 |
| ” | 0.5 |
| 。 | 0.5 |
| ... | 0.0 |

《文字カウントのリスト登録》

| 文字 | カウント |
|-----|------|
| 0 | 0.5 |
| 1 | 0.5 |
| 2 | 0.5 |
| 3 | 0.5 |
| 4 | 0.5 |
| 5 | 0.5 |
| 6 | 0.5 |
| 7 | 0.5 |
| 8 | 0.5 |
| 9 | 0.5 |
| 「 | 0.5 |
| ” | 0.5 |
| ” | 0.5 |
| ... | 0.0 |
| ! | 0.5 |
| ? | 0.5 |

文字 ? 文字数 0.5

追加 編集 削除

記号入り リスト操作...

現在の設定をリストに追加...

OK キャンセル

1. 追加・削除したい文字を登録します。

2. [現在の設定をリストに追加]をクリックします。

3. 登録名を入力して[OK]をクリックすると、その名前でリスト登録されます。既存のリストを上書きしたい場合は、プルダウンから上書きしたいリスト名を選択してから[OK]をクリックしてください。

設定を登録

新しい登録名: アルファベット

OK キャンセル

4. 登録したリストがプルダウンから選択できるようになります。

文字 ? 文字数 0.5

追加 編集 削除

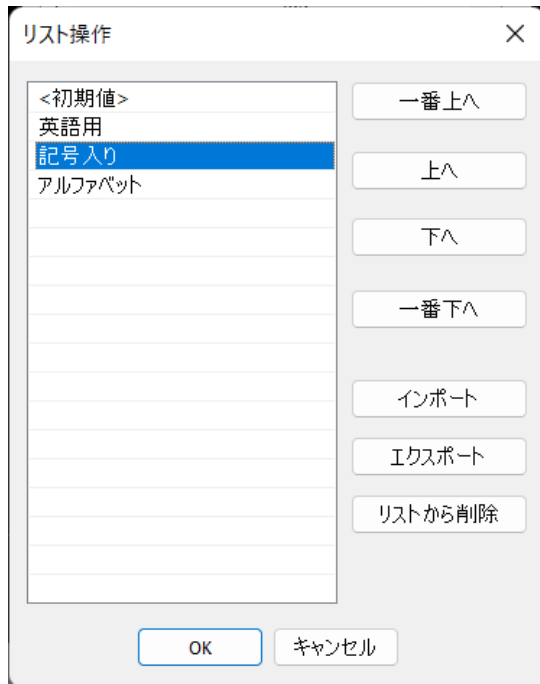
アルファベット リスト操作...

<初期値>
英語用
記号入り
アルファベット

OK キャンセル

《文字カウントのインポート・エクスポート》

1. [リスト操作]をクリックし、リスト操作画面を開きます。

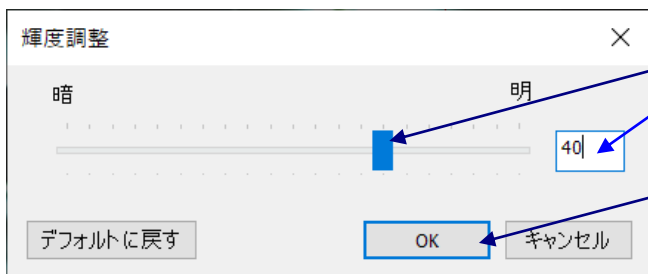


[エクスポート]をクリックすると、文字カウントを txt ファイルに出力することができます。出力した txt ファイルは[インポート]をクリックすると取り込むことができるので、共有するのに便利です。

※リストを登録や削除・インポート後、文字カウントウィンドウを[OK]以外で閉じてしまうと操作がキャンセルされ、リストに反映されません。反映するには必ず[OK]で閉じるようにしてください。

《輝度設定》

新再生モードにおいて、輝度（映像の明るさ）が調整できるようになります。



1. ツマミまたは数字入力で輝度を調整します。

2. [OK]をクリックします。

※数値に「0」を入力すると元の映像の輝度に戻ります。

※数値は-100 から 100 まで入力可能です。数値が低いほど暗く、高いほど明るくなります。

《再生速度x2.0で音声の高さを維持》

新再生モードにおいて、倍速再生時にピッチを維持し、音声認識できるようになります。デフォルトではチェックが入った状態です。

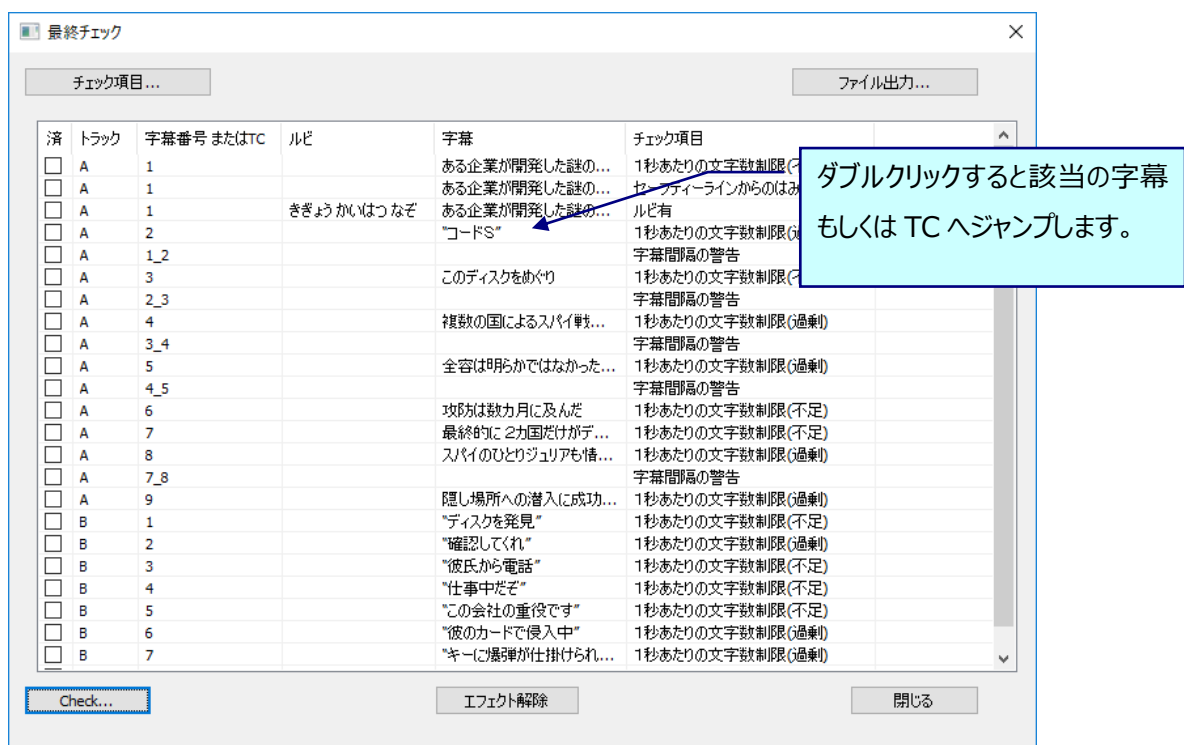
チェックメニュー

《最終チェック》

納品前に、エラー箇所を瞬時に把握するための機能です。

1. [チェック] メニューの [最終チェック] をクリックします。sdb ファイルを保存してからでないとクリックできませんのでご注意ください。
2. [チェック項目]にて設定した最終チェックの結果が表示されます。

○最終チェック画面



[チェック項目] …チェックしたい項目を指定します。(○チェック項目フィルター画面参照)

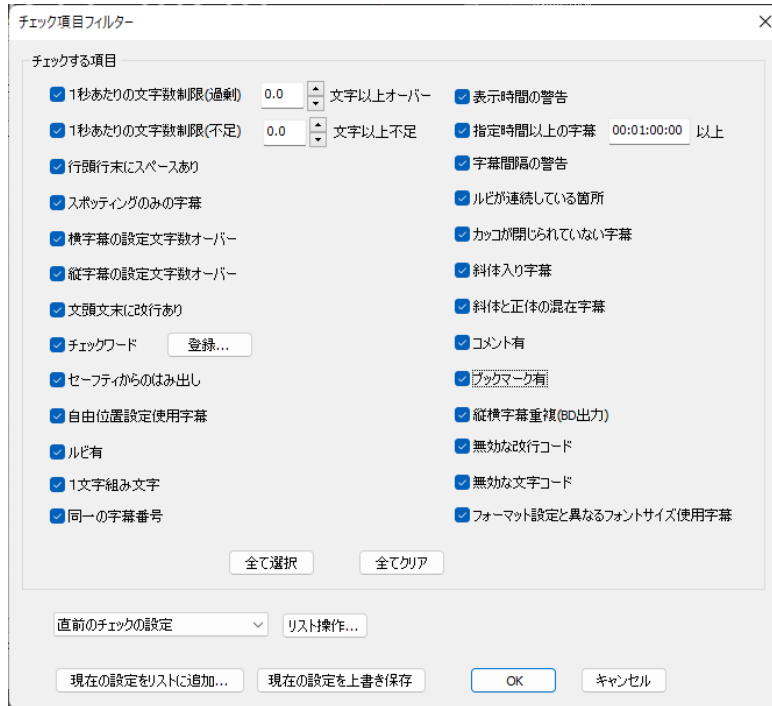
[ファイル出力] …チェック内容を csv 形式で出力します。

[Check] …チェック項目で選択した内容でチェックをします。

[エフェクト解除]…チェックで表示されたエフェクト(文字色、記号など)を解除します。

○チェック項目フィルター画面

最終チェック画面の[チェック項目]ボタンをクリックします。



・最終チェック項目詳細 (★は字幕 BOX にエフェクトあり)

| チェックする項目 | チェック内容 | 備考 |
|------------------|---|-------------------|
| 1 秒あたりの文字数制限(過剰) | 最高文字数 (ユーザー設定の「文字数(/秒)」×デューレーションの使用できる文字数) より、○文字オーバーしている。 | 設定可能範囲は 0 ~10 |
| 1 秒あたりの文字数制限(不足) | 最高文字数 (ユーザー設定の「文字数(/秒)」×デューレーションの使用できる文字数) より、○文字不足している。 | 設定可能範囲は 0 ~9.5 |
| 行頭行末にスペースあり (★) | 行頭もしくは行末にスペースがある。 | |
| スポットティングのみの字幕 | スポットティングのみの空の字幕が存在する。 | |
| 横字幕の設定文字数オーバー | 横字幕がユーザー設定の「文字数(/行)(横)」の 1 行あたりの文字数よりオーバーしている。 | |
| 縦字幕の設定文字数オーバー | 縦字幕がユーザー設定の「文字数(/行)(縦)」の 1 行あたりの文字数よりオーバーしている。 | 組み文字は 1 文字としてカウント |
| 文頭文末に改行あり (★) | 文頭もしくは文末に改行がある。 | |
| チェックワード (★) | チェックワードに登録した文字が存在する。 | ○チェックワード登録参照 |
| セーフティからのみ出し | セーフティエリア外に字幕が出ている。文字自体はエリア内にある場合でも、マスクをつけてはみ出るようであればチェック対象。 | |
| 自由位置設定使用字幕 | 自由位置が設定されている。 | |

(続き)

| チェックする項目 | チェック内容 | 備考 |
|-------------------------|---|-----------------|
| ルビ有 | ルビのある字幕。 | |
| 1 文字組み文字 | 1 文字だけ組文字が設定されている字幕。 | |
| 同一の字幕番号 | 同トラック内に同一の字幕番号が存在している。 | |
| 表示時間の警告 | ユーザー設定の「字幕表示時間」設定の「警告」の数値以下の字幕。 | |
| 指定時間以上の字幕 | 入力した時間以上の字幕が存在している。 | |
| 字幕間隔の警告 | ユーザー設定の「字幕の間隔」設定の「警告」の数値以下の字幕間隔。 | |
| ルビが連続している箇所 | 文字に連続してルビがついている。 | |
| カッコが閉じられていない字幕 | 「」や [] などのカッコが閉じられていない。 | 全角半角は区別 |
| 斜体入り字幕 (★) | 斜体が設定されている。 | |
| 斜体と正体の混在字幕 (★) | 一部だけに斜体が設定されている。すべて斜体の場合はチェック対象外。 | |
| コメント有 | コメントがついている。 | |
| ブックマーク有 | ブックマークのある箇所のタイムコードを表示。 | 最終チェック画面の一番下に表示 |
| 縦横字幕重複(BD 出力) | Blu-Ray Sonic のエクスポートにて AB トラックで字幕が重なっていてエラーとなる字幕。横字幕と横字幕が重なっていた場合もチェック対象。 | |
| 無効な改行コード | 通常とは異なる改行コードが存在。「文頭文末に改行あり」で検出される通常の改行は検出されません。 修正方法は、全文削除し同一の字幕を入力する。コピー＆ペーストは不可。 | |
| フォーマット設定と異なるフォントサイズ使用字幕 | デフォルトフォーマットで設定しているフォントサイズと異なるサイズが設定されている字幕。 | |

《エフェクトについて》

チェック項目の一部には、チェック後にエフェクトがかかります。字幕入力可能状態になると、エフェクトが一時的に消えるのでご注意ください。

| | | | |
|------|-------|---|---------|
| 0002 | 04:09 | 1 An intense spy battle has been waged over a mysterious disk, ある企業が 開発した 謎のディスク | 10 8 |
| 0003 | 01:05 | 2 An intense spy battle has been waged over a mysterious disk, “コードS” | 6 |
| 0004 | 02:18 | 3 developed by an unmanned company. このディスクをめぐり | 8 5 |

- ①チェックワードには赤字のエフェクトがかかります。
- ②行頭行末のスペースには、任意で指定した記号や文字が赤色（上記では _）で表示されます。
- ③文頭文末の改行は、任意で指定した記号や文字（上記では ↵）が表示されます。
- ④斜体入りの字幕は斜体部分が青字で表示されます。
- ⑤エフェクトはエフェクト解除ボタンもしくは[チェック]－[チェックエフェクト解除]で解除できます。
- ⑥「行頭行末のスペース」と「文頭文末に改行あり」のエフェクト文字はユーザー設定→「画面表示」→「最終チェック時のスペース文字と改行マークを置き換える文字」の項目にて直接置き換える文字を入力して設定します（フォントを変えると当該文字がない場合があるのでご注意ください）。

《チェック項目フィルターのリスト登録》

The screenshot shows the 'チェック項目フィルター' (Check Item Filter) dialog box. It contains a list of items to be checked, each with a checkbox and a '登録...' (Register) button. Two callout boxes provide instructions:

1. チェックしたい項目を選択します。チェックワードがある場合、「登録」ボタンから、当該リストと一緒に登録するチェックワードのリスト名も同様に選択してください。
2. [現在の設定をリストに追加]をクリックします。

The dialog box includes the following items and controls:

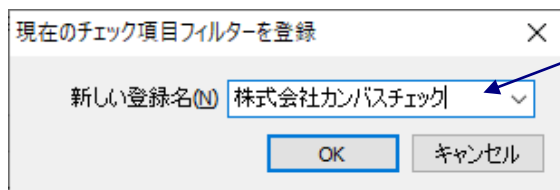
- チェックする項目 (Check items):
 - 1秒あたりの文字数制限(過剰) 0.0 文字以上オーバー
 - 1秒あたりの文字数制限(不足) 0.0 文字以上不足
 - 行頭行末にスペースあり
 - スポットिंगのみの字幕
 - 横字幕の設定文字数オーバー
 - 縦字幕の設定文字数オーバー
 - 文頭文末に改行あり
 - チェックワード 登録...
 - セーフティからのみ出し
 - 自由位置設定使用字幕
 - 同一の字幕番号
 - 表示時間の警告
 - 字幕間隔の警告
 - ルビが連続している箇所
 - カッコが閉じられていない
 - 斜体入り字幕
 - 斜体と正体の混在字幕
 - コメント有
 - ブックマーク有
 - 縦横字幕重複(DD出力)
 - ルビ有
- Buttons: 全て選択, 全てクリア, 納品前チェック, リスト操作..., 現在の設定をリストに追加..., 現在の設定を上書き保存, OK, キャンセル

⚠ リスト内の「直前のチェックの設定」について

リスト内に存在する「直前のチェックの設定」には、画面を閉じるたびに直前のチェックの設定が自動的に上書き保存されます。

チェックを変えても、リストに追加しなかったり、上書き保存しないで画面を閉じた場合、次にチェック項目フィルター画面を開くと、当該設定は「直前のチェックの設定」に保存され、リスト名は「直前のチェックの設定」で表示されます。

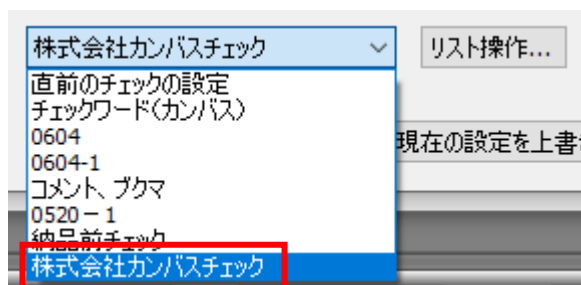
3. リストに追加する登録名を入力し、[OK]をクリックします。



プルダウンから既存のリスト名を選択した場合、既存のリストが上書きされます。

⚠ リスト名に [] (半角の角カッコ) は使用しないでください。

4. リスト名がチェック項目フィルター画面左下のプルダウンに追加されます。



⚠ 最終チェック項目のリストを操作（新規追加・変更・削除など）する場合、複数ウィンドウで最終チェック項目を開いていると正しく反映されない場合があるため、一つのウィンドウでのみ開いて操作するようにしてください。

《リストの上書き》

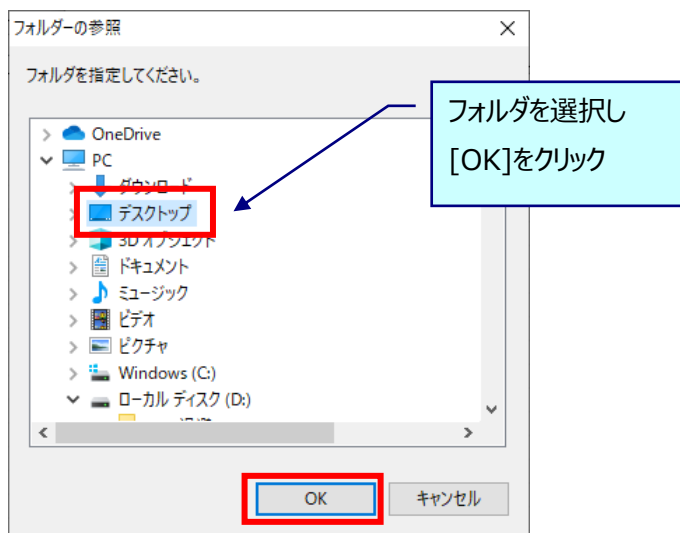
1. 上書きしたいリストをチェック項目フィルター画面左下のプルダウンから選択してください。
2. チェック項目の選択状態を変更します。チェックワードがある場合、チェックワードのリストも必要に応じて変更してください。
3. チェック項目フィルター画面下中央にある[現在の設定を上書き保存]をクリックしてください。

《リストの削除・並び替え》

1. チェック項目フィルター画面の[リスト操作]をクリックします。
2. 削除したい場合は、リスト名を選択し、[リストから削除]をクリックしてください。
3. 並び替えたい場合は、リスト名を選択し、リストの並び替えボタンをクリックしてください。

《リストのエクスポート》

1. チェック項目フィルター画面の[リスト操作]をクリックします。
2. エクスポートしたいリスト名をクリックし、[エクスポート]をクリックします。
3. 出力先のフォルダを選択し、[OK]をクリックします。



4. 指定したフォルダ内に 2 で選択したリスト名のフォルダが作成され、その中にリストの内容 (.txt) が出力されます。

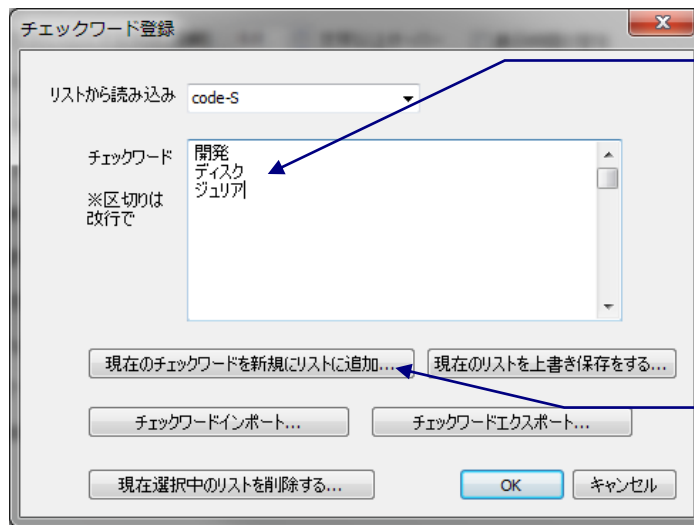
- ⚠ 「チェックワード」が選択されていた場合、チェックワードリスト (.ck) も同フォルダ内に出力されます。
- ⚠ 別の PC にリストを受け渡す場合は、作成されたフォルダごと受け渡すようにしてください。

《リストのインポート》

1. チェック項目フィルター画面の[リスト操作]をクリックします。
2. [インポート]をクリックします。
3. インポートするファイル (.txt) の入ったフォルダ (=受け渡されたフォルダ) を指定します。
 - ⚠ フォルダ名と同名の最終チェック項目リスト (.txt) がフォルダ内に存在しない場合、エラーとなります。
 - ⚠ 指定したフォルダ内に最終チェック項目リスト (.txt) が複数存在した場合でも、フォルダ名と同名のリストのみインポートされ、別名のリストはインポート対象外となります。
4. インポートする最終チェック項目リストで「チェックワード」が選択されていて、該当のチェックワードリスト (.ck) が同フォルダ内に存在する場合、チェックワードリストも同時にインポートされます。
 - ⚠ 該当のチェックワードリスト (.ck) が同フォルダ内に存在しない場合、「チェックワードリストが存在しません。最終チェックリストのみインポートしますか?」とメッセージが表示されます。

○チェックワード登録画面

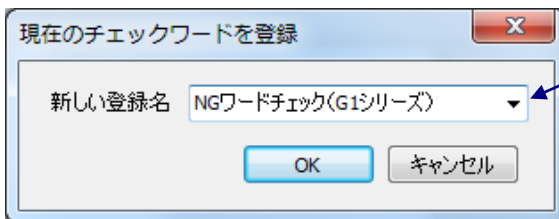
《チェックワードの登録》 ※すでにリストが存在している場合の画面です



1. 登録したいワードを入力します。
複数ある場合は改行で入力します。新規で登録する場合は、チェックワードに表示されているワードはすべて削除してから入力してください。

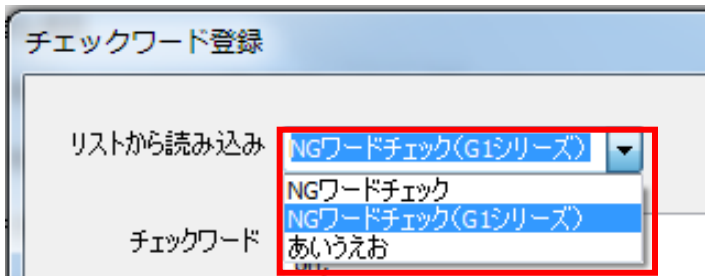
2. [現在のチェックワードを新規にリストに追加]をクリックします。

3. リストに追加する登録名を入力し、[OK]をクリックします。



プルダウンから既存のリスト名を選択すると、既存のリストが上書きされます。

4. チェックワード登録画面のリストに追加されます。



《チェックワードの上書き》

1. 上書きしたいリストを「リストから読み込み」から選択
2. チェックワードにワードを改行で入力
3. [現在のリストを上書き保存する]をクリック

《チェックワードの削除》

1. 削除したいリストを「リストから読み込み」から選択
2. [現在選択中のリストを削除する]をクリック

《チェックワードのインポート・エクスポート》

[チェックワードエクスポート]をクリックすると、ch ファイルとしてリストを出力することができます。また、[チェックワードインポート]をクリックすると、ch ファイルを取り込むことができますので、チェックワードのリストを共有するのに便利です。

《Netflix用データチェック》

Netflix 様 (<https://www.netflix.com/jp/>) に cap ファイルを納品する際に、Netflix 様の納品仕様に適合しているか否かをチェックします。

1. [チェック] メニューの [Netflix 用データチェック] をクリックします。

| 済 | トラック | 字幕番号 | 字幕 | チェック項目 | チェック結果 |
|--------------------------|------|------|-----------------|-----------------|--------|
| <input type="checkbox"/> | A | 9 | Canvass 横上 行... | 横字幕の配置(横上) | 警告 |
| <input type="checkbox"/> | A | 9 | Canvass 横上 行... | 1秒の文字数制限(1秒4文字) | 警告 |
| <input type="checkbox"/> | A | 10 | Canvass 横上 行... | 横字幕の揃え位置 | エラー |
| <input type="checkbox"/> | A | 10 | Canvass 横上 行... | 横字幕の配置(横上) | 警告 |
| <input type="checkbox"/> | A | 10 | Canvass 横上 行... | 1秒の文字数制限(1秒4文字) | 警告 |
| <input type="checkbox"/> | A | 11 | Canvass 横通 中... | 1秒の文字数制限(1秒4文字) | 警告 |
| <input type="checkbox"/> | A | 12 | Canvass 横通 中... | 1秒の文字数制限(1秒4文字) | 警告 |
| <input type="checkbox"/> | A | 13 | Canvass 横通 中... | 横字幕の揃え位置 | エラー |
| <input type="checkbox"/> | A | 13 | Canvass 横通 中... | 1秒の文字数制限(1秒4文字) | 警告 |
| <input type="checkbox"/> | A | 14 | Canvass 横通 行... | 横字幕の揃え位置 | エラー |
| <input type="checkbox"/> | A | 14 | Canvass 横通 行... | 1秒の文字数制限(1秒4文字) | 警告 |
| <input type="checkbox"/> | A | 15 | Canvass 横通 行... | 横字幕の揃え位置 | エラー |
| <input type="checkbox"/> | A | 15 | Canvass 横通 行... | 1秒の文字数制限(1秒4文字) | 警告 |
| <input type="checkbox"/> | A | 16 | Canv 縦左 中央123 | 縦字幕の揃え位置 | エラー |
| <input type="checkbox"/> | A | 16 | Canv 縦左 中央123 | 1秒の文字数制限(1秒4文字) | 警告 |
| <input type="checkbox"/> | A | 17 | Canv 縦左 中頭123 | 縦字幕の揃え位置 | エラー |
| <input type="checkbox"/> | A | 17 | Canv 縦左 中頭123 | 1秒の文字数制限(1秒4文字) | 警告 |
| <input type="checkbox"/> | A | 18 | Canv 縦左 中末123 | 縦字幕の揃え位置 | エラー |
| <input type="checkbox"/> | A | 18 | Canv 縦左 中末123 | 1秒の文字数制限(1秒4文字) | 警告 |
| <input type="checkbox"/> | A | 19 | Canv 縦左 行頭123 | 1秒の文字数制限(1秒4文字) | 警告 |
| <input type="checkbox"/> | A | 20 | Canv 縦左 行末123 | 縦字幕の揃え位置 | エラー |
| <input type="checkbox"/> | A | 20 | Canv 縦左 行末123 | 1秒の文字数制限(1秒4文字) | 警告 |
| <input type="checkbox"/> | A | 21 | Canv 縦右 中央123 | 縦字幕の揃え位置 | エラー |
| <input type="checkbox"/> | A | 21 | Canv 縦右 中央123 | 1秒の文字数制限(1秒4文字) | 警告 |
| <input type="checkbox"/> | A | 22 | Canv 縦右 中頭123 | 縦字幕の揃え位置 | エラー |
| <input type="checkbox"/> | A | 22 | Canv 縦右 中頭123 | 1秒の文字数制限(1秒4文字) | 警告 |

エラー：

Netflix向けcap ファイルを出力する要件に反しています。修正し、sdb ファイルを保存しない限りエクスポートはできません。

警告、注意：

警告、注意を表示しています。警告と注意のみであれば、エクスポート可能です。

「済」項目にチェックを入れることで修正の有無を管理することができます。

※チェックの仕様は、データファイルのエクスポートの《Netflix Cap》の項目を参照。

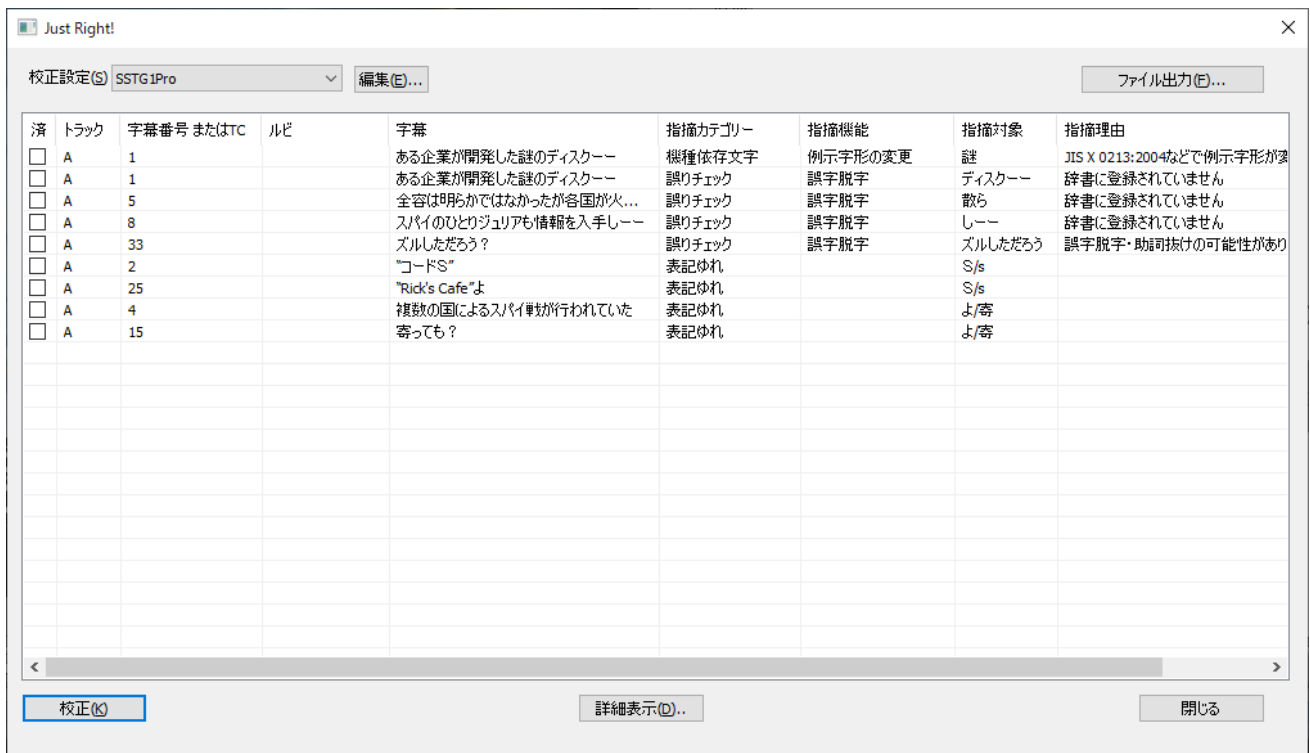
《Just Right! (校正機能)》

文章校正支援ツール【Just Right!】の機能を使って SSTG1Pro の画面上で字幕の文字校正を行うことができます。

※本機能を利用するには、ジャストシステム社の文章校正支援ツール「Just Right!6 Pro」または「Just Right!5 Pro」と「指摘情報出力オプション」（別売り）の2つをインストールする必要があります。

※上記の2つがインストールされていない場合、SSTG1Proの校正機能オプションをご購入いただいても、本メニューは選択可能状態になりません。

※「Just Right!6 Pro」または「Just Right!5 Pro」以外のバージョンのJust Right!では本機能は利用できません。



[校正設定]：校正設定をリストから選択します。

[編集]：選択された校正設定の内容を編集します。

[ファイル出力]：校正結果を csv ファイルに出力します。

[校正]：校正を開始します。

[詳細表示]：選択している校正結果の詳細な指摘内容を表示します。

- ・【Just Right!】では指摘すべき単語や指摘対象から外したい単語などをユーザー独自で登録することができます。これまで登録していた単語があれば、引き続き SSTG1Pro の校正機能にも反映されます。
- ・今後、指摘すべき単語や指摘対象から外したい単語を登録すると、【Just Right!】使用時にも SSTG1Pro 校正機能使用時にも反映されます。
- ・指摘すべき単語の登録は【Just Right!】側で行ってください。SSTG1Pro 側ではできません。
- ・指摘対象から外したい単語の登録は SSTG1Pro 側でも行うことができます。

 **最初に必ず行ってください**

【Just Right!】と SSTG1Pro とで校正の設定等が相互にリンクするよう、ユーザー辞書(※)の設定変更を行います。SSTG1Pro で校正機能をご利用になる前に、必ず行ってください。

※ユーザー辞書：標準辞書にない用語をユーザーが独自に登録できる辞書。指摘すべき単語や指摘対象から外したい単語などが登録されます。

- ・すでに【Just Right!】をお使いの場合、以下の手順を行うことで、これまで登録していた単語（校正用辞書）と指摘対象外単語が SSTG1Pro 側に反映されます。
- ・以下の手順を行うことで、今後、【Just Right!】側での登録と SSTG1Pro 側での登録とが相互に反映されるようになります。

【1】「Just Right!6 Pro」または「Just Right!5 Pro」と「指摘情報出力オプション」の2つをインストールします。

→すでに「Just Right!6 Pro」または「Just Right!5 Pro」をお使いの方は「指摘情報出力オプション」をインストールしてください。

【2】一度【Just Right!】を起動します。

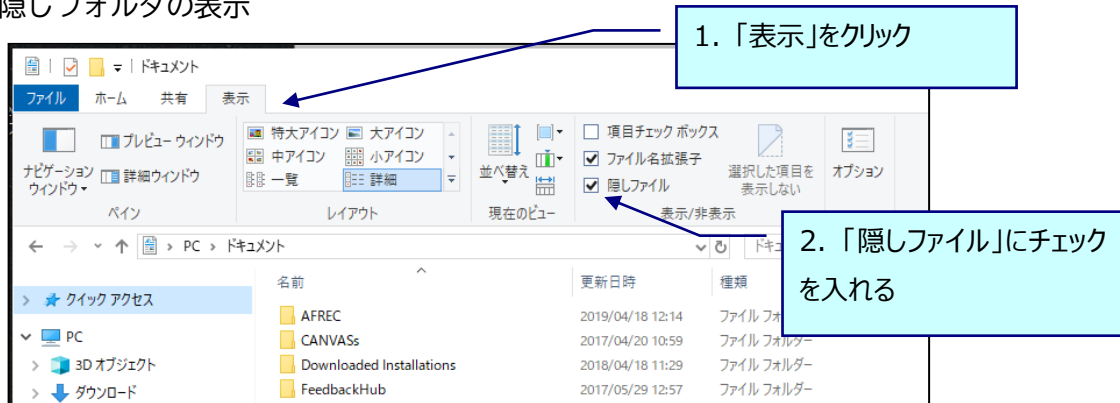
→すぐに終了してください。

【3】SSTG1Pro を起動し、[チェック]-[Just Right!] 画面で「校正」ボタンをクリックします。

→SSTG1Pro はすぐに終了してください。

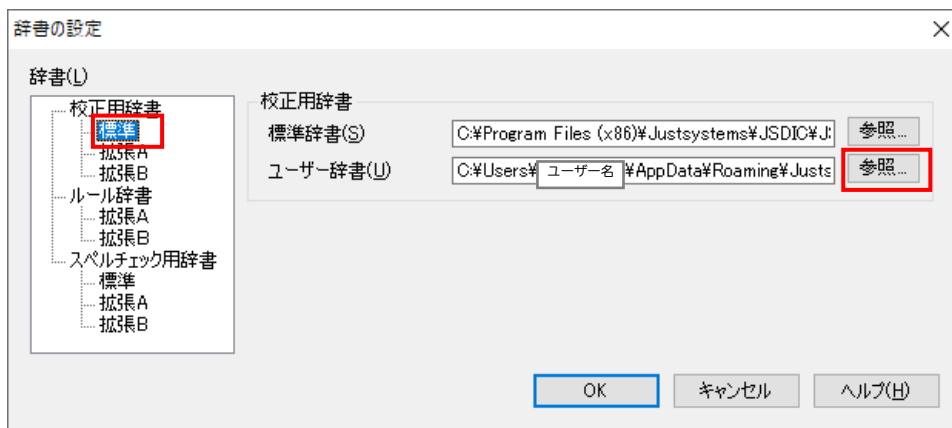
【4】標準のユーザー辞書ファイルを入れ替え、相互に書き込みができるように設定します。

1) 隠しフォルダの表示

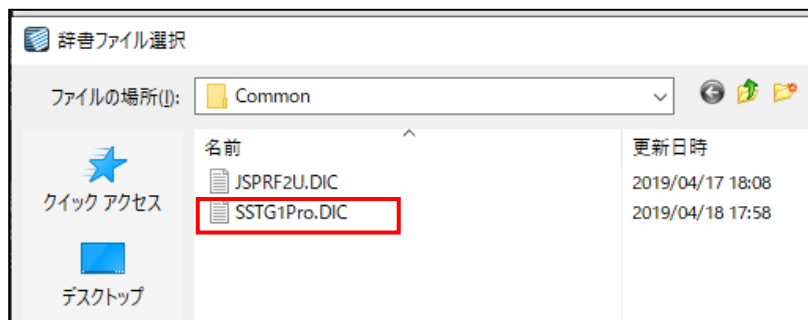


2) 【Just Right!】の標準ユーザー辞書を「SSTG1Pro.DIC」に変更

1. 【Just Right!】を起動し、[校正]－[辞書の設定]を開く
2. 左側のツリーで「標準」を選択し、「ユーザー辞書」の[参照]をクリック



3. 辞書ファイル選択画面で、「SSTG1Pro.DIC」を選択して、[開く]をクリック



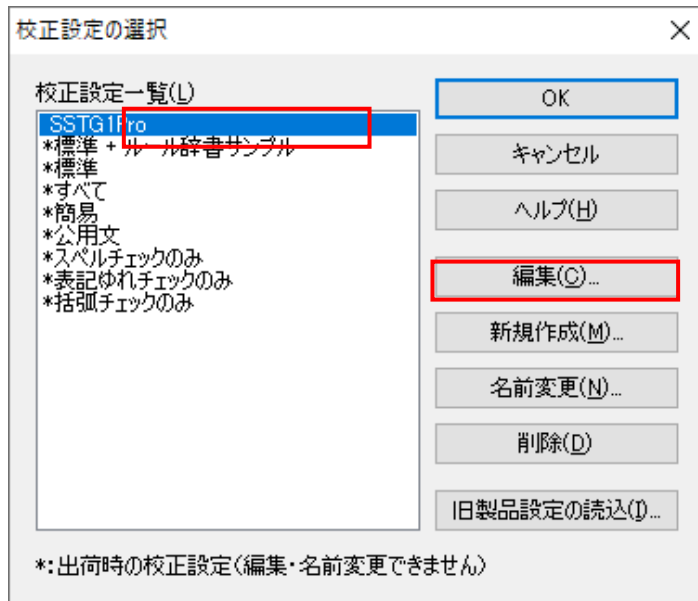
「Common」フォルダが開いていない場合は、以下のフォルダを開いてください（隠しフォルダです）

C:\Users\%[ユーザー名]\AppData\Roaming\Justsystem\%Common
¥JSPRF2U.DIC

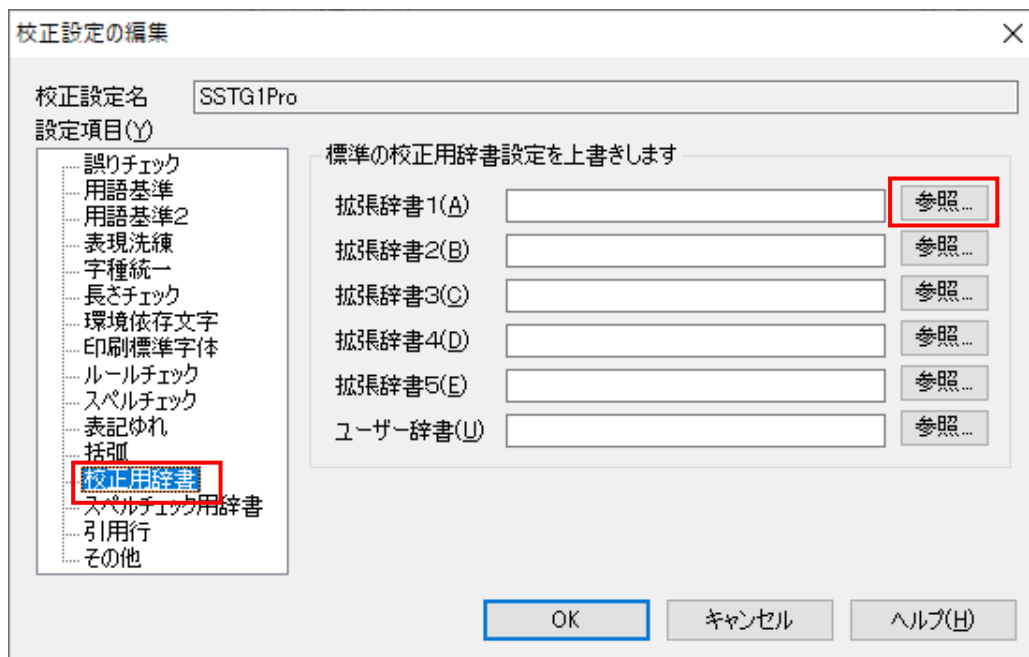
4. [OK]をクリックして、[辞書の設定]画面を閉じる

これ以降の手順は、今回新規で【Just Right!】をインストールした方は不要です。
これまでに登録していた単語を今後の校正に反映させるための手順となります。

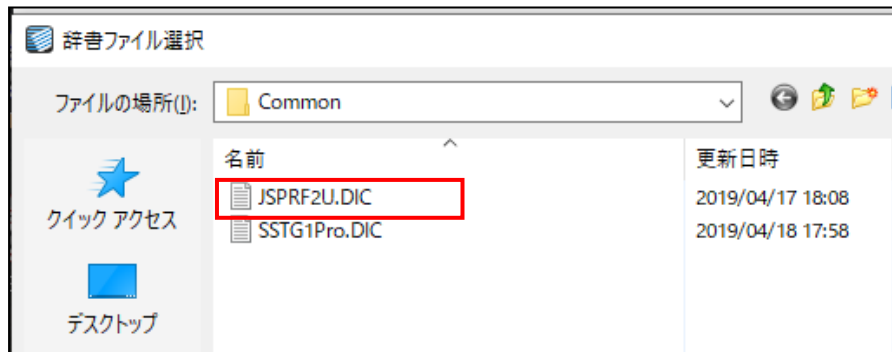
- 3) 拡張辞書に、これまで使用していた標準ユーザー辞書を登録
1. 【Just Right!】を起動し、[校正]－[設定]を開く
 2. 「SSTG1Pro」を選択し、[編集]をクリック



「校正設定の編集」画面左のツリーから「校正用辞書」を選択し、「拡張辞書」の[参照]をクリック



3. 辞書ファイル選択画面で、「JSPRF2U.DIC」を選択して、[開く]をクリック



「Common」フォルダが開いていない場合は、以下のフォルダを開いてください（隠しフォルダです）

C:¥Users¥[ユーザー名]¥AppData¥Roaming¥Justsystem¥Common
¥JSPRF2U.DIC

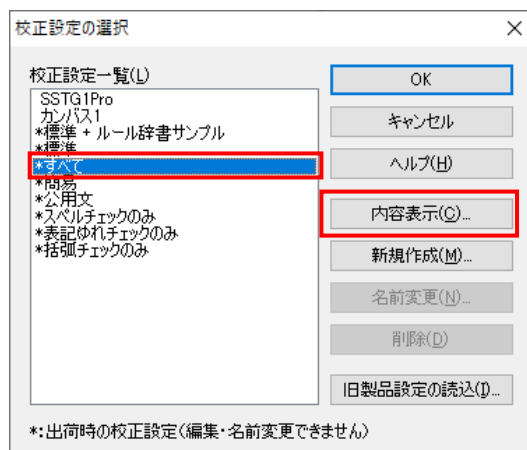
4. [OK]をクリックして、設定画面を閉じる

※すでに【Just Right!】をお使いの場合、これまで登録していた単語（校正用辞書）と指摘対象外単語を引き続き反映させるには、校正設定ごとに 3) の手順を行い、拡張辞書に「JSPRF2U.DIC」を登録してください。（「JSPRF2U.DIC」以外のユーザー辞書ファイルを作成し、標準のユーザー辞書としてこれまで使用していた方については、「JSPRF2U.DIC」をこれまでの辞書ファイル名に読み換えて準備を行ってください。）

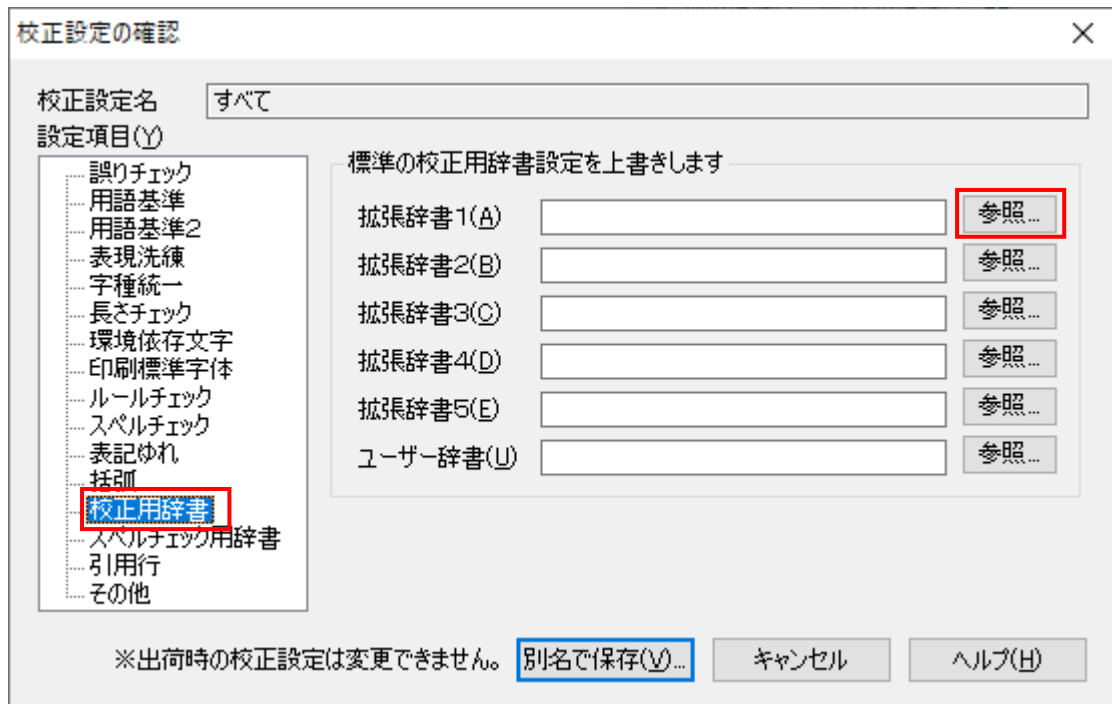
【名前に「*」が付いている校正設定の取り扱い】

名前に「*」が付いている校正設定は変更することができないため、上記の拡張辞書登録をすることができません。このため、今後使用する予定があれば、下記手順で、拡張辞書登録のみを行った校正設定のコピーを新たに作成してください。これを行わずに「*」が付いている校正設定で校正を行うと、これまで登録していた指摘対象外単語などが反映されません。

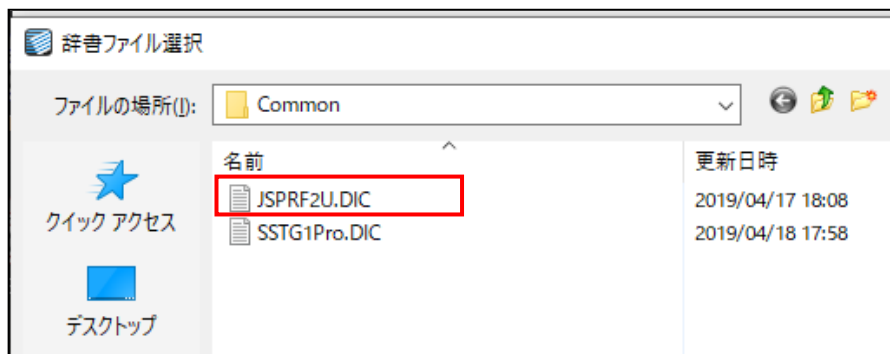
1. 「*」が付いている校正設定を選択し、[内容表示]をクリック



2. 「校正設定の確認」画面左のツリーから「校正用辞書」を選択し、「拡張辞書」の[参照]をクリック



3. 辞書ファイル選択画面で、「JSPRF2U.DIC」を選択して、[開く]をクリック

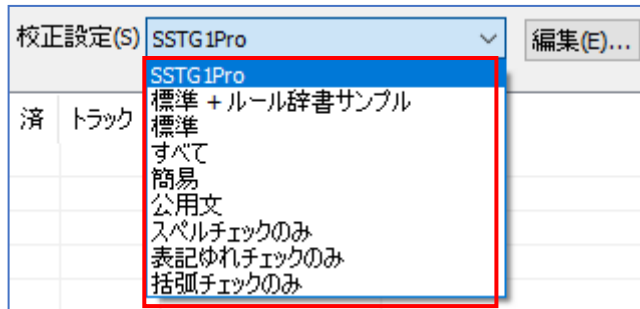


4. [別名で保存]をクリック、新しい校正設定名をつけて[OK]をクリック
→今後は「*」が付いた校正設定の代わりに、新しく作成した校正設定を使用してください。
「*」が付いた校正設定を使用すると、これまで登録していた指摘対象外単語が校正に反映されません。

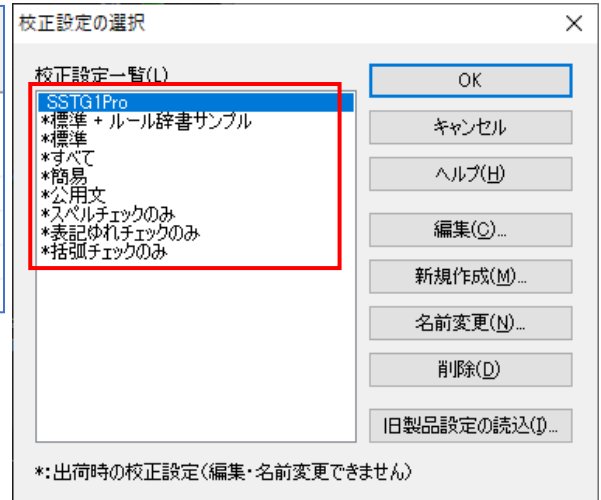
※上記作業がすべて終わったら、1) 隠しフォルダの表示 で入れたチェックは外してください。

○校正設定

<SSTG1Pro 画面>



<対応する【Just Right!】画面>



校正設定のプルダウンから、使用したい校正設定を選択します。

このリストは【Just Right!】の [校正]—[設定]に登録されているリストと同じものが表示されます。SSTG1Proと【Just Right!】とで相互にリンクしており、片方で設定内容を変更した場合、もう片方の設定内容も同様に変更されます。なお、「SSTG1Pro」は「標準」と同じ設定がデフォルト値で設定されています。

【Just Right!】の校正設定の選択画面で名前に「*」が付いているものは【Just Right!】の出荷時の設定になります。これらの名前・設定内容は変更できません。

! 初めて開いたときにエラーメッセージが出た場合

過去に一度も【Just Right!】を起動したことがない状態で、SSTG1Proで【Just Right!】のメニューを選択すると「Error Preset. ini Not Write (***) key.」とメッセージが大量に出てきます。その場合はメッセージが出なくなるまでOKを押し続けてください。メッセージが閉じたら一度SSTG1Proを閉じて、【Just Right!】を起動してください。【Just Right!】が起動したら何もせずに閉じてください。再度SSTG1Proで【Just Right!】の画面を開くと正常に開けるようになります。

校正設定の[編集]をクリックすると、詳細なルールを設定できます。

<SSTG1Pro 画面>

校正設定

校正設定名: SSTG1Pro

現在の設定をリストに追加...

印刷標準字体 ルールチェック スペルチェック 表記ゆれ 括弧 校正用辞書
誤りチェック 用語基準 用語基準2 表現洗練 字種統一 環境依存文字

表記や表現の誤りをチェックします

誤字脱字(G) ら抜き表現(B)
 仮名遣い(J) さ入れ表現(S)
 慣用表現(A) 二重敬語(P)
 呼応表現(M)

同音語誤り(D) 多め

西暦・和暦(K)
 和暦の初年(N) 統一しない

インポート... エクスポート... OK キャンセル

1. 校正したい内容を選択します。
2. リストに保存したい場合はここをクリックし、上書き保存 or 名前を付けて保存します。
3. 校正設定ファイルをインポートできます。
4. 選択しているリストの設定をエクスポートできます。
5. 設定が完了したら[OK]をクリックします。

各設定項目は、【Just Right!】の[校正]—[設定]—[編集]で設定できる項目と共通していますので、校正の詳細な内容は【Just Right!】のマニュアルをご参照ください。

<対応する【Just Right!】画面>

校正設定の編集

校正設定名 SSTG1Pro

設定項目(Y)

誤りチェック
 用語基準
 用語基準2
 表現洗練
 字種統一
 長さチェック
 環境依存文字
 印刷標準字体
 ルールチェック
 スペルチェック
 表記ゆれ
 括弧
 校正用辞書
 スペルチェック用辞書
 引用行
 その他

表記や表現の誤りをチェックします

誤字脱字(G) ら抜き表現(B)
 仮名遣い(J) さ入れ表現(S)
 慣用表現(A) 二重敬語(P)
 呼応表現(M)

同音語誤り(D) 多め

西暦・和暦(K)
 和暦の初年(N) 統一しない

OK キャンセル ヘルプ(H)

登録した校正設定をリストから削除したい場合は、【Just Right!】の[校正]—[設定]から削除してください。SSTG1Pro では校正設定の削除はできません。

○校正の実行

[校正]をクリックすると校正が開始され、指摘内容が表示されます。

| 演 | トラック | 字幕番号 ... | ルビ | 字幕 | 指摘カテゴリー | 指摘機能 | 指摘対象 | 指摘理由 |
|--------------------------|------|----------|----|-----------------------|---------|--------|---------|---------------------------|
| <input type="checkbox"/> | A | 8 | | スパイのひとりジュリアも情報を入手し... | 用語基準 | 公用文 | ひとり | 公用文の標準表記と異なっています |
| <input type="checkbox"/> | A | 8 | | スパイのひとりジュリアも情報を入手し... | 誤りチェック | 誤字脱字 | しー | 辞書に登録されていません |
| <input type="checkbox"/> | A | 17 | | もう出るところなのまた今度よっていつ... | 用語基準 | 公用文 | ちようだい | 公用文の標準表記と異なっています |
| <input type="checkbox"/> | A | 23 | | カフェの場所だけどハノバー通りから... | 用語基準 | 送り仮名 | 通 | 送り仮名が設定(本則)と異なっています |
| <input type="checkbox"/> | A | 23 | | カフェの場所だけどハノバー通りから... | 誤りチェック | 誤字脱字 | りからー | 辞書に登録されていません |
| <input type="checkbox"/> | B | 5 | | "この会社の重役です" | 表現洗練 | 文体の統一 | 重役です | 文体が設定(だ・である)と異なっています |
| <input type="checkbox"/> | A | 25 | | "Rick's Cafe"よ地図は見える？ | 字種統一 | 字種(英字) | Rick's | アルファベットが設定(半角小文字)と異なっています |
| <input type="checkbox"/> | A | 25 | | "Rick's Cafe"よ地図は見える？ | 字種統一 | 字種(記号) | ' | 記号が設定(全角)と異なっています |
| <input type="checkbox"/> | A | 25 | | "Rick's Cafe"よ地図は見える？ | 字種統一 | 字種(英字) | Cafe | アルファベットが設定(半角小文字)と異なっています |
| <input type="checkbox"/> | A | 25 | | "Rick's Cafe"よ地図は見える？ | 誤りチェック | ら抜き表現 | 見える | ら抜き表現の可能性があります |
| <input type="checkbox"/> | A | 26 | | 見れないんだでもなんとなくわかるから | 誤りチェック | ら抜き表現 | 見れないんだ | ら抜き表現の可能性があります |
| <input type="checkbox"/> | A | 26 | | 見れないんだでもなんとなくわかるから | 用語基準 | 公用文 | なんとなく | 公用文の標準表記と異なっています |
| <input type="checkbox"/> | A | 33 | | ズルしただろう？ | 誤りチェック | 誤字脱字 | ズルしただろう | 誤字脱字・助詞抜けの可能性があります |
| <input type="checkbox"/> | A | 36 | | やっぱりすぐに会いに行きわわ | 誤りチェック | 誤字脱字 | 行きわ | 辞書に登録されていません |
| <input type="checkbox"/> | A | 22 | | 「じゃあ そうしようか | 括弧 | | 「 | 対応する括弧が見つかりません |
| <input type="checkbox"/> | B | 8 | | 「すべて置いて すぐ逃げろ | 括弧 | | 「 | 対応する括弧が見つかりません |
| <input type="checkbox"/> | A | 2 | | "コードS" | 表記ゆれ | | S/s | |
| <input type="checkbox"/> | A | 25 | | "Rick's Cafe"よ地図は見える？ | 表記ゆれ | | | |
| <input type="checkbox"/> | A | 9 | | 伯母さんと話してもいいかな | 表記ゆれ | | | |
| <input type="checkbox"/> | A | 20 | | おげさん今日 見合が面白いみたいなの | 表記ゆれ | | | |
| <input type="checkbox"/> | A | 4 | | | 表記ゆれ | | | |
| <input type="checkbox"/> | A | 15 | | | 表記ゆれ | | | |
| <input type="checkbox"/> | A | 16 | | | 表記ゆれ | | | |

指摘内容を選択し、[詳細表示]をクリックすると、指摘の詳細な内容が表示されます。

Just Right! 指摘結果詳細 - 校正結果

前の指摘へ | 次の指摘へ | 辞書に登録 | 指摘表示を一時的に消去 | 指摘対象からはずす

【指摘対象】
はは

【字幕】
攻防はは 敵力月に及んだ

【指摘カテゴリー】
誤りチェック

【指摘理由】
辞書に登録されていません

【指摘理由詳細】
辞書に登録されていない単語です。
確認・訂正してください。
訂正の必要がない場合は、辞書に登録すると、次回から指摘されません。

[前の指摘へ][次の指摘へ]：前後の指摘に移動します。

[辞書に登録]その単語を校正用ユーザー辞書に登録します。登録した単語はJust Right!の校正用辞書ユーティリティから編集が可能です。

[指摘表示を一時的に消去]そのsdbファイルを開いている間、一時的に指摘対象から外されます。

※ [前の指摘へ]や[次の指摘へ]ボタンで移動する時にスキップされます。

※指摘結果一覧画面からは、再度[校正]を実行すると消去されます。

※sdbファイルを開き直すと指摘対象に戻ります。

<注意>

・上記画面で[辞書に登録]や[指摘対象からはずす]のボタンをクリックするとき、Just Right!の校正用辞書ユーティリティ画面を開いていると、辞書登録等が正しく行われませんのでご注意ください。

・[辞書に登録]ボタンは【指摘カテゴリー：誤りチェック】【指摘理由：辞書に登録されていません】の時に表示されます。【指摘カテゴリー：スペルチェック】の場合は表示されません。

・[指摘対象からはずす]ボタンは、指摘内容によっては表示されません。

[指摘対象からはずす]：指摘対象からはずし、次回から同じ理由では指摘されなくなります。

ここでははずしたものは【Just Right!】の校正用ユーザー辞書に指摘対象外単語として登録されます。指摘対象に戻す場合は、【Just Right!】の[ツール]-[校正辞書ユーティリティ]-[編集]-[指摘対象外単語の編集]から単語を削除してください。

<注意>

sdb ファイルの保存をせずに校正を実行した場合、最新状態での校正ができません。校正前は必ず sdb ファイルを保存してください。

OSSTG1Pro 側でできないこと

【Just Right!】と SSTG1Pro の校正機能とは設定が相互にリンクしており、一方で登録したものを他方でも使用することができますが、以下のことは SSTG1Pro 側では行うことができませんので、【Just Right!】側で行ってください。

SSTG1Pro 側で行うことができない主な機能

| 機能 | 【Just Right!】側での操作方法 | |
|--------------------------------|---|------------------------------------|
| ユーザー辞書の新規作成 | [ツール]-[校正辞書ユーティリティ]- [ファイル]-[新規作成] | |
| ユーザー辞書 (校正用辞書) への単語登録・削除・変更 | [ツール]-[校正辞書ユーティリティ] | |
| 指摘対象外単語の削除 (指摘対象に戻すこと) | [ツール]-[校正辞書ユーティリティ]- [編集]-[指摘対象外単語の編集] | 登録 (指摘対象から外すこと) は SSTG1Pro 側で可能 |
| 校正設定の削除 | [校正]-[設定]-不要な設定をリストから選択 し「削除」 | 新規作成と編集は SSTG1Pro 側で 可能 |

インポートメニュー

《データファイルのインポート》

SST G1Pro は下記のフォーマットをインポートすることができます。

- ・ SST プロジェクト
- ・ 台本(.txt)
- ・ ビデオトロン/ラムダ ※オプション
- ・ WIN2020 PACファイル ※オプション
- ・ EBUファイル※オプション
- ・ CAST ファイル ※オプション
- ・ 見直し用リスト (Excel) ファイル

※オプションについては「オプション (データファイルのインポート)」を参照ください。

《SSTプロジェクトファイル》

1つの映像を複数に分割して作成し、最後にすべてのファイルを合体させる時に使用します。


下記の手順に従って、SST プロジェクトファイルをインポートすることができます。

1. [インポート] メニューの [SSTプロジェクト]をクリックします。
2. 『SSTプロジェクトファイルのインポート』ダイアログボックスで、[インポートファイル (.sdb)]を選択します。
3. [OK]をクリックします。


 映像ファイルを開いている場合、タイムコードの設定は事前に済ませてください。

《台本》

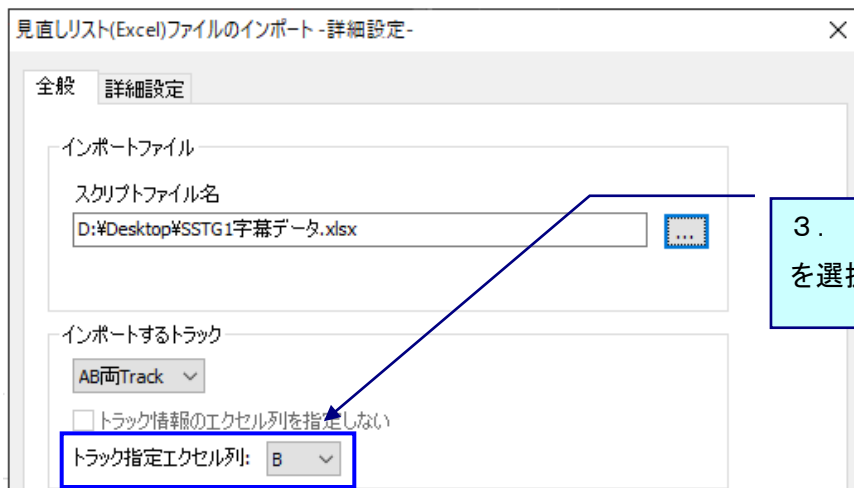
台本 (スクリプト) がある場合は、下記の手順に従って台本ウィンドウにインポートすることができます。インポートできるフォーマットはテキストファイル (.txt) です。

1. [インポート] メニューの[台本] を選択します。
2.  パスをクリックし、台本ファイルを選択し、[開く]をクリックします。
3. [詳細設定]の[エンコード種類]をプルダウンリストより選択します。
日本語・英語以外の台本をインポートする時は、[UTF8]か[UTF16]を選択します。
4. [OK]をクリックするとインポートが終了し、台本ウィンドウに反映されます。

《見直し用リスト (Excel) ファイル》

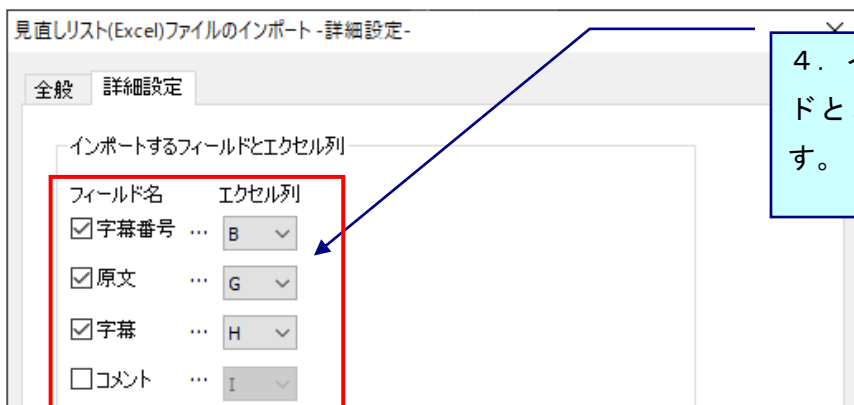
1. [インポート] メニューの[見直し用リスト (Excel)] を選択します。
2.  パスをクリックし、インポートファイル (.xls) を選択し、[開く]をクリックします。

エクセルの見直し用リストは、エクスポート時の出力項目の設定により各情報の出力される列が変化しますので、インポートする際に、どの列をどの情報として取り扱うのか指定します。



3. トラック 指定エクセル列
を選択します。

【画面①】



4. インポートするフィールド
とエクセル列を選択しま
す。

【画面②】

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J |
|---|-----|------|------|-------------|-------------|-------------|-------------------------------|---------------|-----|---|
| 1 | No. | 字幕番号 | トラック | 表示開始時間 | 表示終了時間 | 表示時間 | 原文 | 字幕 | 文字数 | 斜 |
| 2 | 1 | 1 | A | 00:17:19:11 | 00:17:23:21 | 00:00:04:10 | An intense spy battle has be | ある企業が開発した | 9 | |
| 3 | 2 | 2 | A | 00:17:23:24 | 00:17:24:29 | 00:00:01:05 | An intense spy battle has be | 迷のディスクー | 8 | |
| 4 | 3 | 3 | A | 00:17:25:01 | 00:17:27:20 | 00:00:02:19 | developed by an unmanned o | 「コードS」 | 6 | |
| 5 | 4 | 4 | A | 00:17:27:26 | 00:17:31:22 | 00:00:03:26 | The full truth about the corp | このディスクをめり | 10 | |
| 6 | 5 | 5 | A | 00:17:31:26 | 00:17:37:02 | 00:00:05:06 | however, several countries | 複数の国による | 7 | |
| 7 | 6 | 6 | A | 00:17:37:15 | 00:17:40:04 | 00:00:02:19 | The battle lasted for severa | スパイ戦が行われていた | 11 | |
| | | | | | | | | 全容は明らかではなかったが | 13 | |
| | | | | | | | | 各国が火花を散らしー | 11 | |
| | | | | | | | | 攻防は数カ月に及んだ | 10 | |

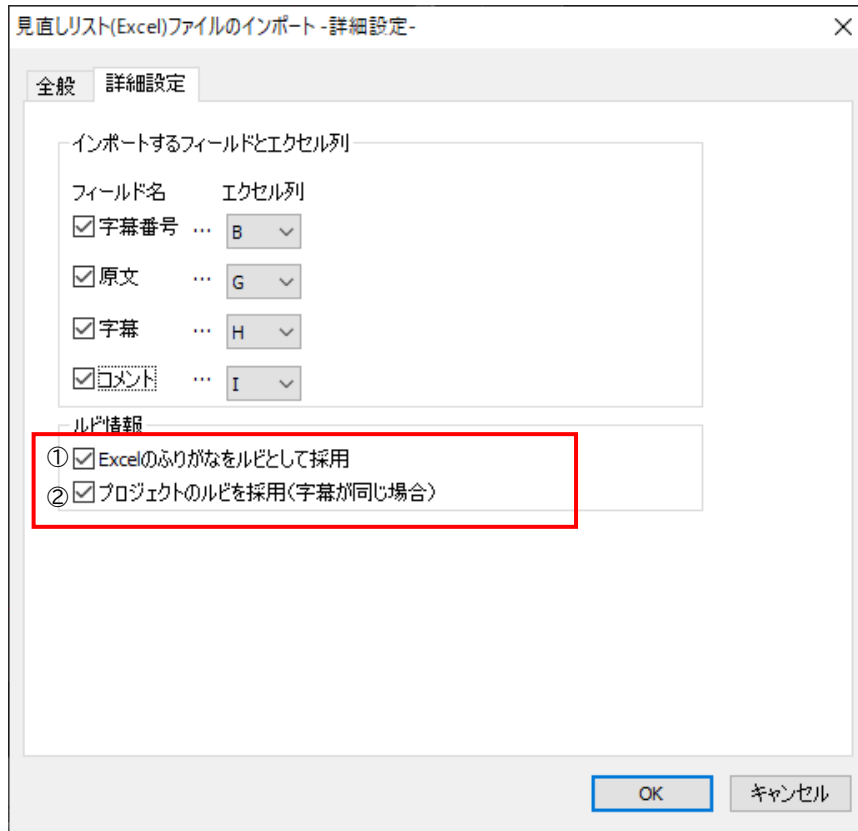
画面①、画面②の設定に従って、上記赤枠の列のみインポートされます。

読み込む列の指定を変更することで、原文と字幕を入替えたり、他の列に入力した別言語の翻訳テキストをインポートする事も可能です。

※上記のエクセル画面は、見直し用リストで全項目出力した際の配列です。

※画面②でチェックをつけた列のみインポートされます。チェックをつけていない列にエクセル上で変更を加えてインポートしても、変更内容は SST 上に反映されません。

5. [詳細設定]-[ルビ情報]でインポート時のルビの扱いについて、ルビ情報を指定します。



※見直し用リスト（エクセル）をエクスポートする際は、エクセルの仕様に従い、ルビは「ひらがな」もしくは「カタカナ」の何れかに統一して出力されますのでご注意ください。
 ※エクセル上で「ひらがな」と「カタカナ」が混在したルビを付けてインポートした場合は、エクセル同様「ひらがな」と「カタカナ」が混在したルビがインポートされます。

ルビ情報チェックボタンの説明：


| No. | 名前 | 説明 |
|-----|---------------------------|--|
| ① | Excelのふりがなをルビとして採用 | インポートする見直し用リスト（Excel）のふりがなをルビとして採用します。 |
| ② | プロジェクトのルビを採用 （字幕が同じ場合） | 見直し用リスト（Excel）とプロジェクトの字幕が同じ場合（書き直し含む）、プロジェクトのルビを維持します。 |

利用ケースにおける使い方：

| 利用ケース | チェック | 注意点 |
|--|-------------|--|
| インポートする字幕にルビを付けたくない。 既存のルビも削除したい。 | 選択しない | インポートした字幕が同じであっても、元のルビは削除されます。 |
| インポートする字幕にはルビを付けたくない。 ただし、字幕が同じ場合、既存のルビは残したい。 | ②のみ | プロジェクトにルビが付いていない場合、見直し用リスト（Excel）にふりがなを付けていてもルビは付きません。 |
| Excelのふりがなをルビとしてインポートしたい。 既存のルビも置き換えたい。 | ①のみ | インポートした字幕が同じであっても、すべてExcelのふりがながルビとして適用されます。 |
| Excelのふりがなをルビとしてインポートしたい。 ただし、字幕が同じだった場合、既存のルビは残したい（上書きしたくない） | 両方 (① ②) | |

○Excelのふりがな確認方法

ルビを表示させたいセル範囲を指定し、

[ホーム] タブ - [フォント] グループ -  [ふりがなの表示]

または

範囲選択した所で右クリック、[ふりがなの表示]


エクスポートメニュー

《データファイルのエクスポート》

SST G1Pro は、下記のフォーマットをエクスポートすることが可能です。

- ・見直し用リスト(TXT)
- ・ビデオトロン/ラムダ ※オプション
- ・Netflix cap ※オプション
- ・WIN2020 PAC ※オプション
- ・EBU ※オプション
- ・DVD-Sonic Scenarist format ※オプション
- ・DVD-Panasonic format ※オプション
- ・Canvass Open Subtitle file format ※オプション
- ・Blu-ray SONIC Scenarist format (ver.4.2) ※オプション
- ・Blu-ray SONIC Scenarist format (ver.4.3) ※オプション
- ・Blu-ray Panasonic format ※オプション
- ・DV2000 format ※オプション
- ・CAST format
- ・AAF ※オプション
- ・OMF ※オプション
- ・Canvass Sirius Blu
- ・Avid Sub Cap
- ・Adobe Encore
- ・DVD Studio Pro
- ・iT file (iTunes Timed Text profile)
- ・見直し用リスト (Excel)
- ・SubRip Text (srt)
- ・CineCanvas DLP Cinema XML ※オプション
- ・Digital Cinema Distribution Master Subtitle (SMPTE) ※オプション

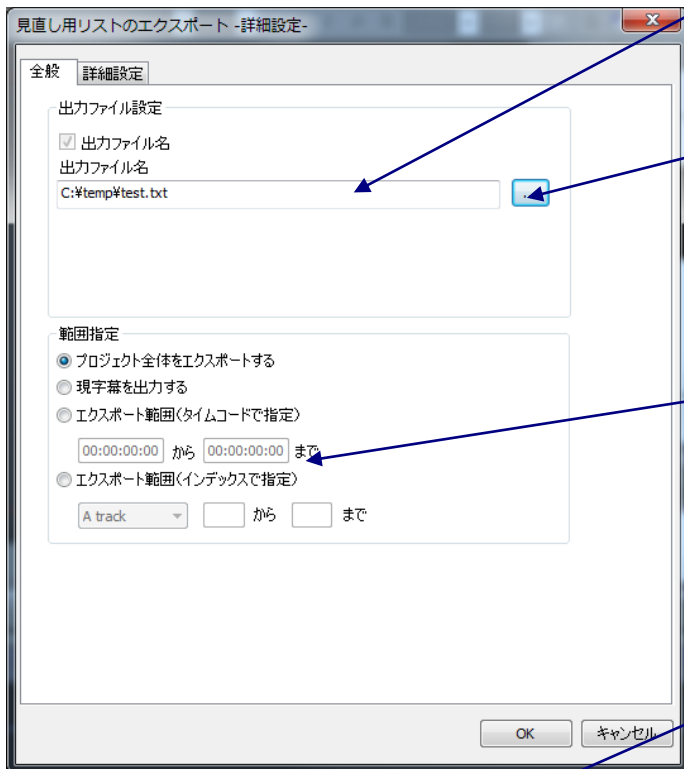
※オプションについては、「オプション (データファイルのエクスポート)」を参照ください。

 他社のシステムにデータを出力する場合、システムの仕様によって、出力できる情報に制限がある場合があります。その場合はエラーメッセージが表示されます。

《見直し用リスト (TXT) 》

1. [エクスポート]メニューより [見直し用リスト(TXT)] を選択します。

・詳細を設定します。

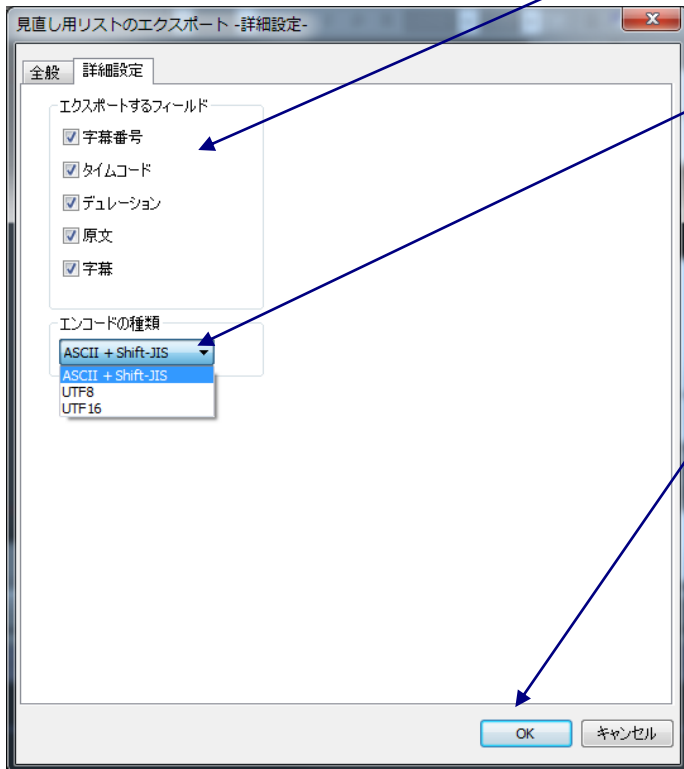


2. 自動的に表示されます。

ファイル名と保存先を変更する場合は、このボタンをクリックして入力します。

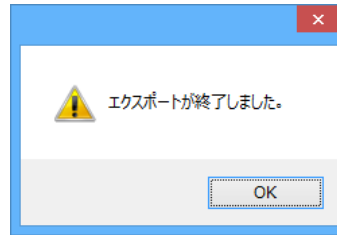
3. 出力範囲を指定します。

4. エクスポートするフィールドにチェックを入れます。



5. [エンコード種類]をプルダウンリストより選択します。日本語・英語以外の言語をエクスポートする場合は、[UTF8]または[UTF16]を選択してください。

6. [OK]をクリックします。



図のようなメッセージが表示された後、エクスポートが終了します。

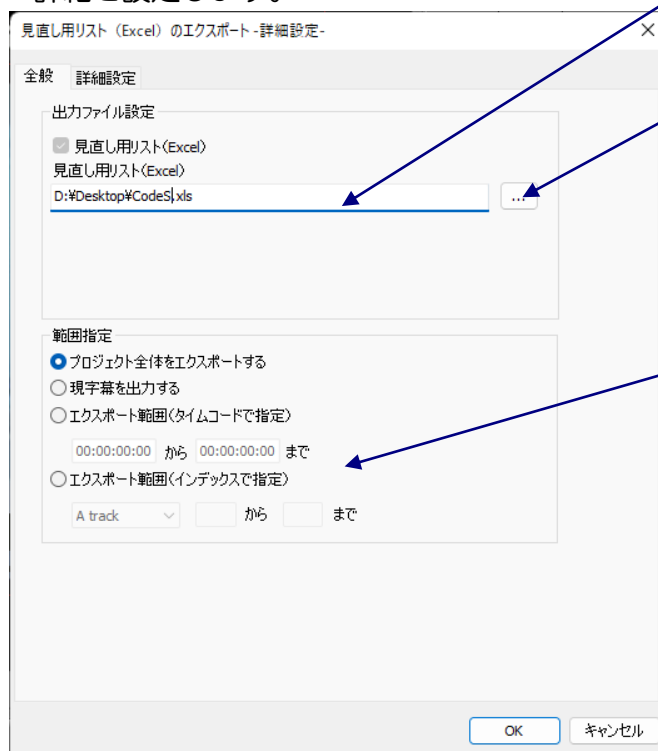
○エクスポートしたテキストデータの例



《見直し用リスト (Excel) 》

1. [エクスポート]メニューより [見直し用リスト(Excel)] を選択します。

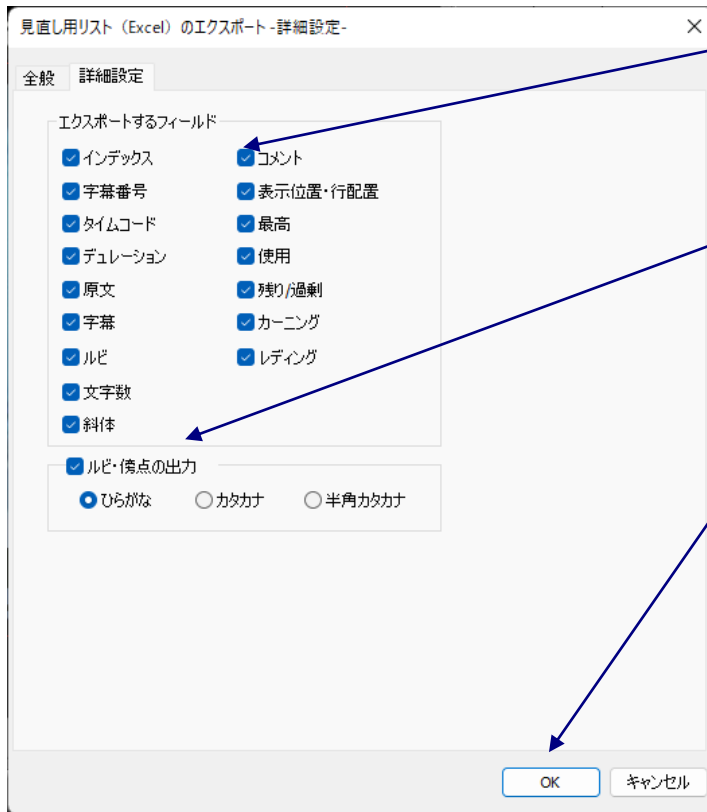
・詳細を設定します。



2. 自動的に表示されます。

ファイル名と保存先を変更する場合は、このボタンをクリックして入力します。

3. 出力範囲を指定します。

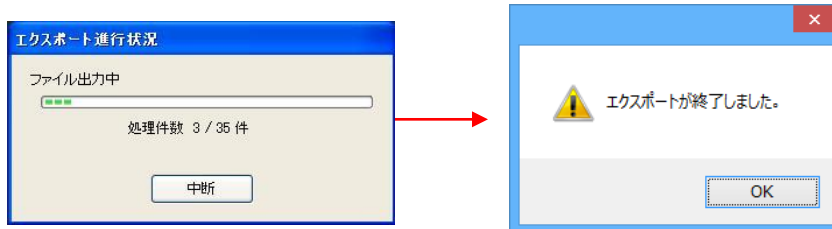


4. エクスポートするフィールドにチェックを入れます。

5. 傍点とルビの表示形式を選択します。

6. [OK]をクリックします。

Excel の仕様上、ルビにひらがなとカタカナが混在している場合は同時表示ができません。





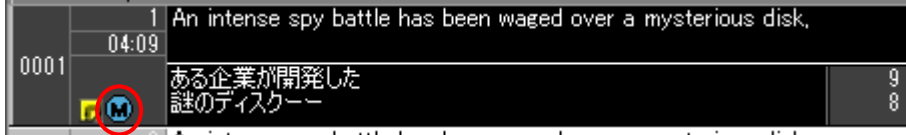
7. 図のようなメッセージが表示された後、エクスポートが終了します。


○エクスポートしたテキストデータの例

| A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O | P |
|----|----|------|-------------|-------------|-------------|--|----------------|----|---|----|----|-----|------|------|-----|
| 16 | 13 | 13 A | 00:19:11:29 | 00:19:14:13 | 00:00:02:14 | You seem to be busy even on your holidays. | 休日は忙しそうですね | 9 | | | | | 9.9 | 9.0 | 0.9 |
| 17 | 14 | 14 A | 00:19:15:01 | 00:19:18:21 | 00:00:03:20 | Well, actually, I'm in a mall in the neighborhood. | 実は近所のデパートに居るんだ | 11 | | 縦左 | 中横 | 縦書き | 14.7 | 17.0 | 2.3 |
| 18 | 8 | 8 B | 00:19:18:29 | 00:19:21:28 | 00:00:02:99 | Call from my boyfriend. About mission. | "彼氏から電話" | 8 | | | | | 11.2 | 7.0 | 4.2 |
| 19 | 15 | 15 A | 00:19:19:17 | 00:19:20:21 | 00:00:01:04 | How does he? | 誰ですか? | 5 | | 縦左 | 左横 | 縦書き | 4.5 | 4.0 | 0.5 |
| 20 | 16 | 16 A | 00:19:22:02 | 00:19:24:09 | 00:00:02:06 | Well, actually, I'm leaving soon. | 早々の帰郷がっや | 9 | | | | | 3.3 | 9.0 | 0.2 |
| 21 | 17 | 17 A | 00:19:24:12 | 00:19:27:04 | 00:00:02:22 | and there are some details I have to stop by... so... | 色々あるからさあ | 9 | * | | | | 10.9 | 9.0 | 1.9 |
| 22 | 18 | 18 A | 00:19:28:09 | 00:19:31:00 | 00:00:02:21 | can you wait for me at the cafe? I'll be there in an hour. | カフェで待っていて | 9 | | 縦右 | 中横 | 縦書き | 10.2 | 9.0 | 1.2 |
| 23 | 4 | 4 B | 00:19:32:25 | 00:19:33:07 | 00:00:00:12 | Your boyfriend? You are on a mission! | "仕事中だよ" | 7 | | | | | 13.6 | 6.0 | 7.6 |
| 24 | 19 | 19 A | 00:19:33:09 | 00:19:36:21 | 00:00:03:12 | All right. But may say 'hello' to your aunt on the phone? | お母さんへ話してあげてかな | 5 | | | | | 13.6 | 13.0 | 0.6 |
| 25 | 20 | 20 A | 00:19:37:15 | 00:19:40:13 | 00:00:02:27 | I'm sorry but she's kind of sick today. | 今日は具合が悪いみたいなん | 14 | | | | | 11.6 | 14.0 | 2.4 |

《申し送りリスト》

1. 申し送りリストに出力したい字幕を選択し、ツールバーの  をクリックします。
2. 選択した字幕に M マーク  がつきます。



3. [エクスポート]メニューより [申し送りリスト] を選択します。
4. [全般]タブで出力ファイル名を設定します。
5. [詳細]タブでエクスポートするフィールド・ルビ・傍点の出力を設定します。
6. [OK]をクリックすると  マークがついた字幕のみが申し送りリストとして Excel ファイルに出力されます。

《CAST format》

文字放送用字幕の基本データです。

下記の手順に従って CAST ファイルをエクスポートすることができます。

1. [エクスポート] メニューの[CAST format]をクリックします。
2. [CASTのエクスポート -詳細設定-][全般]タブの[出力ファイル設定]より、出力する場所とファイル名を指定します。
3. [全般]タブの[範囲指定] からエクスポートする範囲を指定します。
4. [OK]をクリックします。

《CANVASs Sirius Blu》


Blu-ray オーサリングシステム Sirius Blu で読み込むためのフォーマットをエクスポートします。

1. [エクスポート] メニューの[CANVASs Sirius Blu]をクリックします。
2. [CANVASs Sirius Bluのエクスポート -詳細設定-][全般]タブの[出力ファイル設定]より、出力する場所とファイル名を指定します。
3. [全般]タブの[範囲指定] からエクスポートする範囲を指定します。
4. [詳細設定]タブの[対象画面設定]を選択します。
5. [詳細設定]タブの[映像の先頭のタイムコード]を入力します。
6. [詳細設定]タブの[その他の設定]でイメージファイルの区切り記号を入力します。
7. [OK]をクリックします。

《Avid Sub Cap》

Avid 社のノンリニア編集機 (Sub Cap 対応機種) に読み込むためのフォーマット (.txt) をエクスポートします。


1. [エクスポート] メニューの[Avid Sub Cap]をクリックします。
2. [Avid Sub Cap のエクスポート -詳細設定-][全般]タブの[出力ファイル設定]より、出力する場所とファイル名を指定します。
3. [OK]をクリックします。

 Sub Cap の仕様により、縦書き、ルビ、組み文字等の機能は使えません。
使用出来ない設定が含まれている場合は、データエクスポート時にキャンセルされます。

《Adobe Encore》

Adobe 社の DVD および Blu-ray のオーサリングシステム Encore に読み込むためのフォーマットをエクスポートします。

1. [エクスポート] メニューの[Adobe Encore]をクリックします。
2. [Adobe Encoreファイルのエクスポート -詳細設定-]ダイアログボックスの[全般]タブの[出力ファイル設定]内で出力するファイルを指定します。
3. [全般]タブの[範囲指定] からエクスポートする範囲を指定します。
4. 「配色設定」タブの[配色設定]内を入力します。
5. [詳細設定]タブの[イメージファイル設定]で[全画面]か[クロップ]かを指定します。
6. [OK]をクリックします。

 Encore の仕様により、文字の画像にアンチエイリアスを使用する事はできません。

《Apple DVD Studio Pro》

Apple 社の DVD オーサリングシステム DVD Studio Pro に読み込むためのフォーマットをエクスポートします。

1. [エクスポート] メニューの[DVD Studio Pro]をクリックします。
2. [DVD Studio Proファイルのエクスポート -詳細設定-]ダイアログボックスの[全般]タブの[出力ファイル設定]内で出力するファイルを指定します。
3. [全般]タブの[範囲指定] からエクスポートする範囲を指定します。
4. 「配色設定」タブの[配色設定]内を入力します。
5. 「配色設定」タブの[配色設定の保存/読み込み]内に名前を入力し、[保存]を押し、[配色設定]の数値を保存します。リストから [配色設定] を選択することにより、簡単に[配色設定]の値を変更することができます。
6. [詳細設定]タブより、[イメージファイル設定]を指定し、[OK]をクリックします。

《iTt file (iTunes Timed Text profile)》

Apple 社の itune に読み込むためのフォーマットをエクスポートします。

1. [エクスポート] メニューの[iTt file (iTunes Timed Text profile)]をクリックします。
2. [iTt file (iTunes Timed Text profile) のエクスポート -詳細設定-]ダイアログボックスの[全般]タブの[出力ファイル設定]内で出力するファイルを指定します。
3. [全般]タブの[範囲指定] からエクスポートする範囲を指定します。
4. [詳細設定]タブより、[タグ情報]を指定し、[OK]をクリックします。



itt の仕様により、行配置、カーニング、レディング、フェードインアウト、マスク、自由位置、文字・エッジの色、フォント、フォーマット設定は使用できません。



以下の項目をエクスポートするには有償オプションが必要です。

- ・ルビ
- ・縦書き
- ・縦横の2枚同時出し字幕
- ・傍点
- ・ダーシ
- ・縦書きのダブルコーテーションなどの文字コード変更

《SubRip Text》

下記の手順に従って SubRip Text ファイルをエクスポートすることができます。

[エクスポート] メニューの[SubRip Text]をクリックします。

1. エクスポート画面

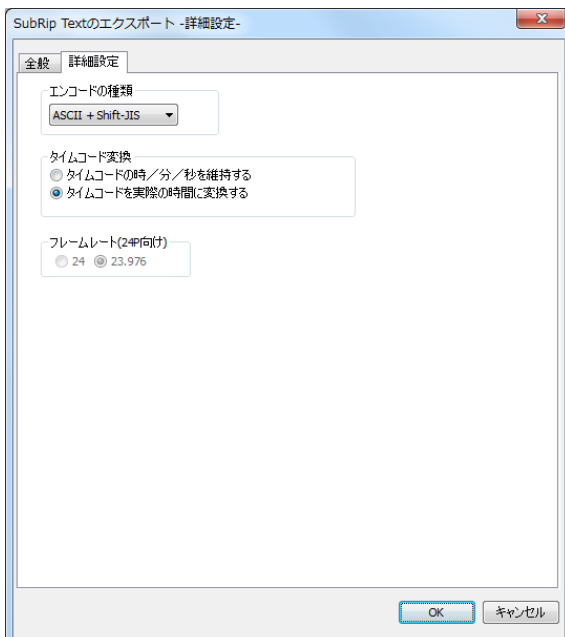
全般画面

見直しリスト(txt)のエクスポートと同様に、出力先のファイル名および出力対象の範囲を選択します。



詳細設定画面

出力する文字コードの種類/タイムコード変換/フレームレートを選択し、[OK]をクリックします。



2. データ仕様

次のような形式のデータが出力されます。

| | |
|-------------------------------|-----------|
| 1 | ← ① 字幕番号 |
| 00:17:19,400 --> 00:17:23,700 | ← ② 字幕区間 |
| ある企業が開発した | ← ③ 字幕データ |
| 謎のディスクー | |
| | ← ④ 区切り改行 |
| 2 | |
| 00:17:23,800 --> 00:17:24,966 | |
| “コードS” | |

| 番号 | 概要 | 説明 | | | | | | | | | | |
|----|-------|---|----|----|----|---|----|---|----|---|----|-----|
| ① | 字幕番号 | 字幕番号です。連続した番号が付与されます。 | | | | | | | | | | |
| ② | 字幕区間 | <p>字幕が表示される時間です。</p> <p><i>開始時間-->終了時間</i> の形式で出力されます。</p> <p>開始時間および終了時間は、字幕のフレーム番号がフレームタイプに応じた時間形式に変換され出力されます。</p> <p>時間形式：hh:mm:ss:MMM の形式で出力されます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>hh</td> <td>時</td> </tr> <tr> <td>mm</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>ss</td> <td>秒</td> </tr> <tr> <td>mm</td> <td>ミリ秒</td> </tr> </tbody> </table> <p>・タイムコードの時/分/秒を維持する タイムコードの時/分/秒はそのまま、フレーム単位のみ 1/1000 表記で出力します。</p> <p>・タイムコードを実際の時間に変換する タイムコードを実時間に変換して出力します。</p> <p>例/29.97 ノンドロップのタイムコード 01:00:00:00 = エクスポートされた srt ファイルのタイミング情報 01:00:03:600</p> <p>※仕様上、タイムコード上の 00:00:00:00 を srt ファイル上の 00:00:00:000 というタイミングでエクスポートする仕様となっているので、01:00:00:00 のタイムコードは「01:00:03:600」となります。</p> | 記号 | 内容 | hh | 時 | mm | 分 | ss | 秒 | mm | ミリ秒 |
| 記号 | 内容 | | | | | | | | | | | |
| hh | 時 | | | | | | | | | | | |
| mm | 分 | | | | | | | | | | | |
| ss | 秒 | | | | | | | | | | | |
| mm | ミリ秒 | | | | | | | | | | | |
| ③ | 字幕データ | 字幕データです。複数行存在する場合は複数行出力されます。 | | | | | | | | | | |
| ④ | 区切り改行 | 次の字幕との区切りとして改行コードが出力されます。 | | | | | | | | | | |

《WebVTT》

下記の手順に従って **WebVTT** ファイルをエクスポートすることができます。

1. [エクスポート] メニューの[WebVTT]をクリックします。
2. [WebVTTのエクスポート -詳細設定-]ダイアログボックスの[全般]タブの[出力ファイル設定]内で出力するファイルを指定します。
3. [全般]タブの[範囲指定] からエクスポートする範囲を指定します。
4. [詳細設定]タブより、[エンコードの種類]を指定します。
5. [詳細設定]タブより、[タイムコードの種類]を指定します。
タイムコードの種類の様については、前ページSubRip Textの②をご参照ください。
6. 24Pプロジェクトの場合、[詳細設定]タブより、[フレームレート]を指定します。
7. [OK]をクリックします。

ヘルプメニュー

《ドングル設定》

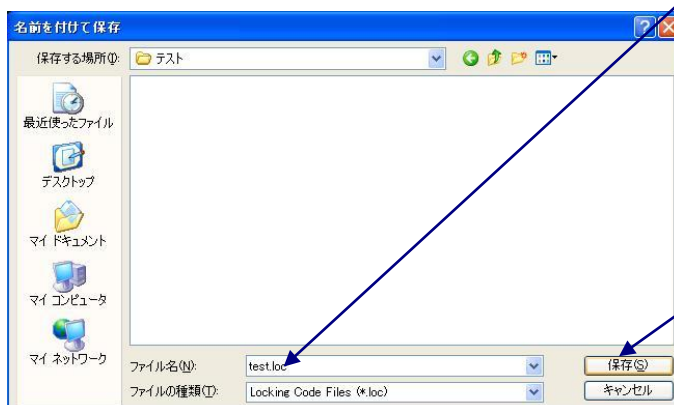
バージョンアップやオプション追加の時に使用します。
ドングルをさした状態で作業してください。

1. SST G1Pro をダブルクリックして立ち上げます。
2. [ヘルプ] メニューの [ドングル設定] をクリックします。



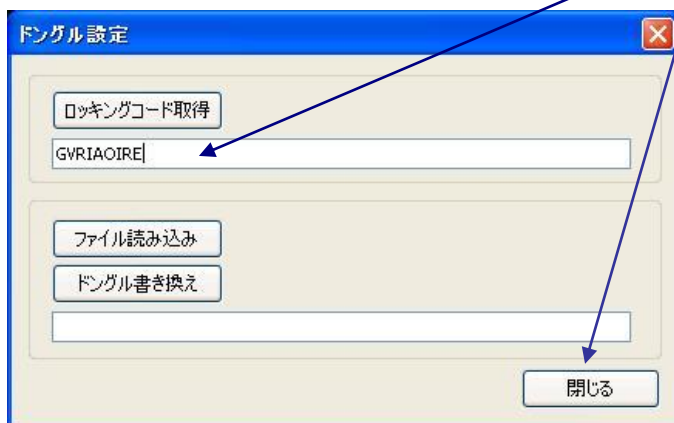
3. [ロックコード取得] をクリックします。

3. [ロックコードファイルを作成しますか?] とメッセージが出るので、[はい] をクリックします。



5. ドングル番号（ライセンス証に記載された 4 桁のドングルシリアル No.）をファイル名として入力し、保存先を指定してください。

6. [保存] をクリックします。

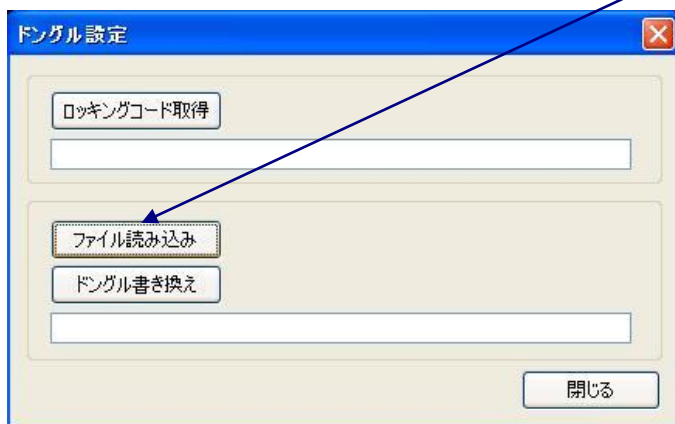


7. コードが入っていることを確認し、[閉じる]をクリックします。

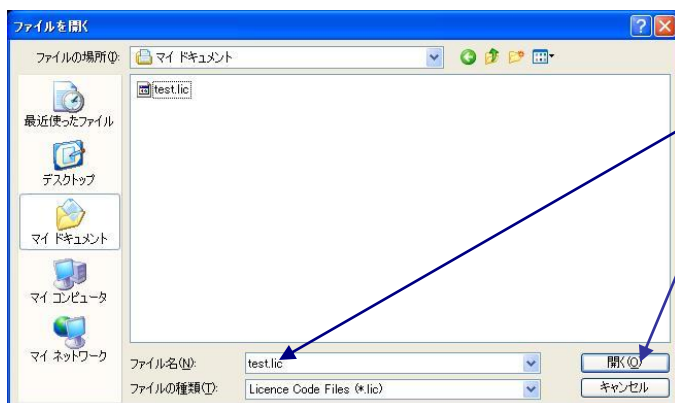


8. 保存先に loc ファイルができます。このファイルを添付して株式会社カンバス宛にメールしてください。
【メールアドレス】
sales@canvass.co.jp

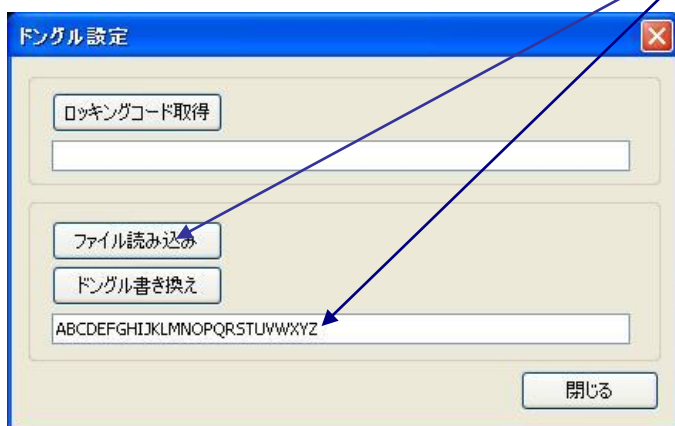
9. 株式会社カンバスから .lic ファイルを添付したメールが送付されます。このファイルをパソコン上に保存してください。



10. 手順2を参考に、[dongle 設定]のダイアログボックスを表示し、[ファイル読み込み]をクリックします。



11. lic ファイルを選択し、[開く]をクリックします。



12. コードが入っていることを確認して、[dongle 書き換え]をクリックします。

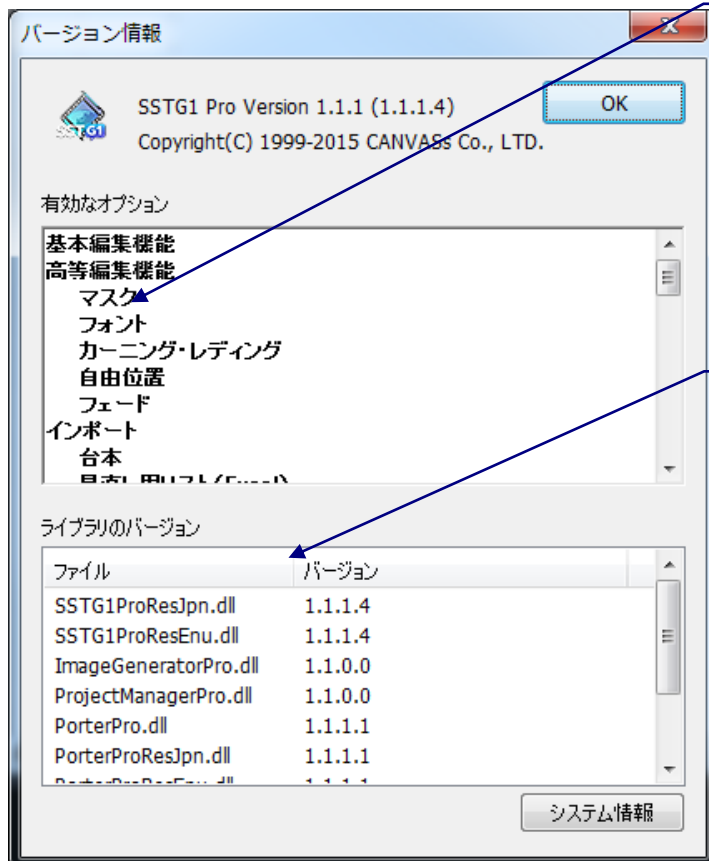
13. dongle の書き換えが完了しました。

オプション追加の書き換え後は、「バージョン情報」で内容を確認してください。
詳細は次ページ参照。

《バージョン情報》

SST G1Pro のバージョン情報を確認することができます。

1. [ヘルプ] メニューの [バージョン情報] をクリックします。



[有効なオプション]のリストで、SST G1Pro で使用できるオプションの情報が表示されます。使用できる機能は、太字で表示されます。

[ライブラリのバージョン]で、ライブラリファイルとそのバージョンの一覧を表示します。

オプション（データファイルのインポート）

《ビデオトロン/ラムダ》

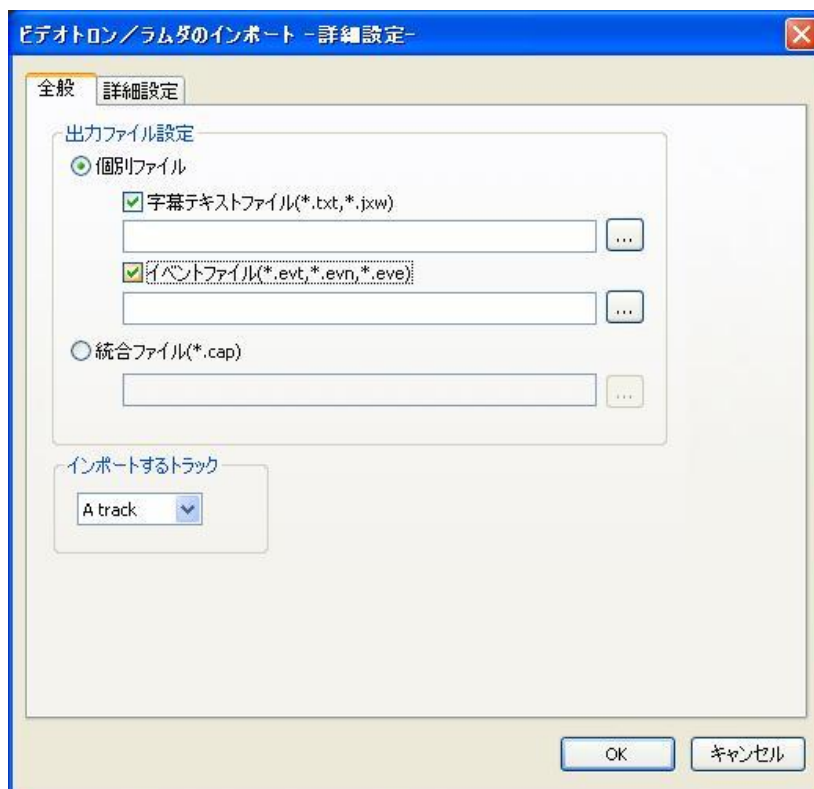
下記の手順に従って ビデオトロン/ラムダファイルをインポートすることができます。

[ファイル]メニューの[新規]をクリックし、映像ファイルを開き、タイムコードの基本設定でタイムコードを設定しておくか、映像ファイルを開かない場合は、タイムコードのフレームタイプを設定しておいてください。

⚠ cap ファイルのインポート時には、cap ファイルのヘッダーの内容に従い SSTG1Pro 上のフレームレートを設定します。

- ・ cap ファイルのヘッダーが「DF1」の場合…SSTG1Pro 上では「30FrDF」に設定します。
- ・ cap ファイルのヘッダーが「DF0」の場合…インポート時の SSTG1Pro 上のフレームレート設定に従います。

1. [インポート]メニューの[ビデオトロン/ラムダ]をクリックします。
2. [ビデオトロン/ラムダのインポート -詳細設定-]ダイアログボックスの[全般]タブより、[個別ファイル]、もしくは[統合ファイル(.cap)]にチェックを入れてください。[個別ファイル]をチェックした場合は、字幕テキストファイルのみかイベントファイルのみか、もしくはその両方なのかもチェックしてください。
3. インポートするトラックを選択します。

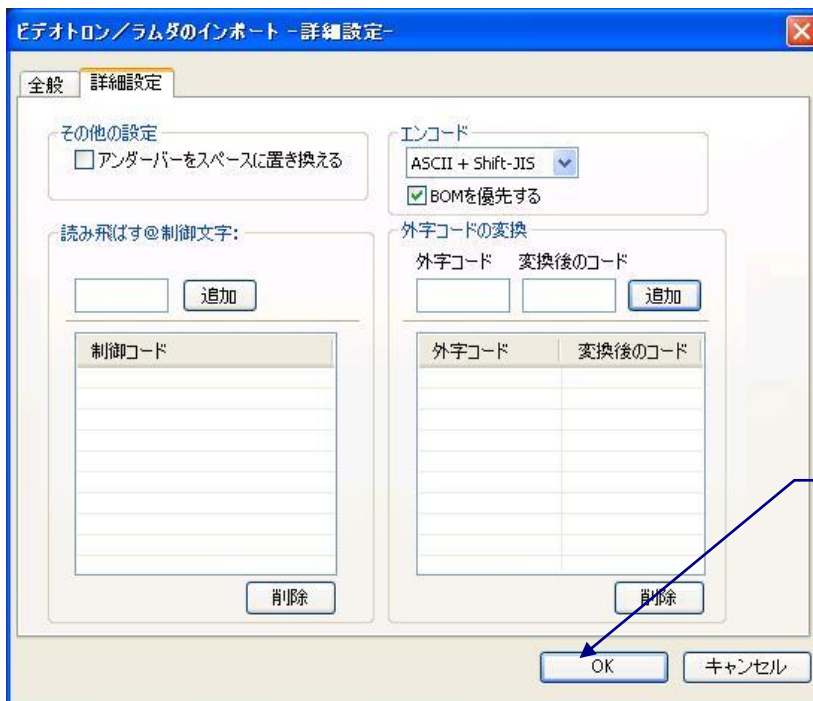


[個別ファイル]をチェックした場合

1. 字幕テキストファイルまたはイベントファイルの該当するものにチェックし、ファイルを選択します。
2. [詳細設定]タブの[その他の設定]で、「アンダーバーをスペースに置き換える」かどうかを選択します。
3. [詳細設定]タブの[エンコードの種類]を選択します。

[統合ファイル (.cap)]をチェックした場合

1. [詳細設定]タブの[その他の設定]で、「アンダーバーをスペースに置き換える」かどうかを選択します。
2. [詳細設定]タブの[エンコード]を選択します。他言語（ユニコード）のビデオトロン/ラムダファイル
ア
をインポートする時は、[エンコード] で[UTF8]か[UTF16]を選択します。
3. [詳細設定]タブで、[読み飛ばす@制御文字]のリストを作成します。
4. [詳細設定]タブで、[外字コードの変換]のリストを作成します。
5. [OK]をクリックします。



[詳細設定]でそれぞれ設定を行います。

[OK]をクリックします。

《Win2020PAC》

下記の手順に従って Win2020 ファイル (pac ファイル) をインポートすることができます。
[ファイル]メニューの[新規]をクリックし、映像ファイルを開き、タイムコードの基本設定でタイムコードを設定しておくか、映像ファイルを開かない場合は、タイムコードのフレームタイプを設定しておいてください。

1. [インポート]メニューの[WIN2020 PAC]をクリックします。
WIN2020 PACのインポート -詳細設定-]ダイアログボックスの[全般]タブで、[インポートファイル]を選択します。
2. [全般]タブより[インポートするトラック]を選択します。
3. [詳細設定]タブの[表示位置について]内で該当する項目を選択します。
4. [詳細設定]タブの[文字の置換]内にて置き換える言葉のリストを作成します。
5. [OK]をクリックします。

《EBU》

下記の手順に従って EBU ファイルをインポートすることができます。
[ファイル]メニューの[新規]をクリックし、映像ファイルを開き、タイムコードの基本設定でタイムコードを設定しておくか、映像ファイルを開かない場合は、タイムコードのフレームタイプを設定しておいてください。

1. [インポート]メニューの[EBU]をクリックします。
2. [EBUのインポート -詳細設定-]ダイアログボックスの[全般]タブで、[インポートファイル]を選択します。
3. [全般]タブより[インポートするトラック]を選択します。
4. [OK] をクリックします。

《CAST》


下記の手順に従って文字放送用字幕データ (.cast) をインポートすることができます。
[ファイル]メニューの[新規]をクリックし、映像ファイルを開き、タイムコードの基本設定でタイムコードを設定しておくか、映像ファイルを開かない場合は、タイムコードのフレームタイプを設定しておいてください。

1. [インポート]メニューの[CAST]をクリックします。
2. [CASTのインポート -詳細設定-]ダイアログボックスの[全般]タブで、[インポートファイル]を選択します。
3. [全般]タブより、[インポートするトラック]を選択します。
4. [OK] をクリックします。

《SubRip Text》

下記の手順に従って SubRip Text ファイル (srt ファイル) をインポートすることができます。
[インポート]メニューの[新規]をクリックし、映像ファイルを開き、タイムコードの基本設定でタイムコードを設定しておくか、映像ファイルを開かない場合は、タイムコードのフレームタイプを設定しておいてください。

1. [インポート]メニューの[SubRip Text]をクリックします。
2. [SubRip Textのインポート -詳細設定-]ダイアログボックスの[全般]タブで、[インポートファイル]を選択します。
3. [全般]タブより[インポートするトラック]を選択します。
4. [詳細設定]タブより[エンコードの種類][時間が連続している字幕の扱い]を選択します。
5. [OK] をクリックします。


 SRT ファイルの特性上タイムコードではなく実際の時間で入っているため、インポートの際には、30DF の基本設定でインポートし、インポート後フレームタイプ変換にて各作業用映像に合ったタイムコードに変換してください。

オプション（データファイルのエクスポート）

《ビデオトロン/ラムダ》

下記の手順に従って ビデオトロン/ラムダファイル をエクスポートすることができます。

1. [エクスポート]メニューの[ビデオトロン/ラムダ]を選択します。
2. [ビデオトロン/ラムダのエクスポート -詳細設定-]ダイアログボックスの[全般]タブ内にある [出力ファイル設定]にて、[個別ファイル]、もしくは[統合ファイル] を選択してください。[個別ファイル]にチェックを入れた場合は、字幕テキストファイルのみかイベントファイルのみか、もしくはその両方なのかもチェックしてください。また、[クロスリファレンスファイルを出力する]かどうかを選択してください。
3. [全般]タブの、[範囲指定] からエクスポートする範囲を指定します。
4. [詳細設定]タブより、[詳細設定]を作成します。
5. [詳細設定]タブより、[エンコードの種類]を選択します。
6. [OK]をクリックします。

 cap ファイルのエクスポート時には、SSTG1Pro 上で設定したフレームレートに従ってヘッダー部分に「DF1」または「DF0」が出力されます。

SSTG1Pro 上のフレームレート設定と.cap ファイルの「DF0」 / 「DF1」の対応は下記のとおりです。

| | DF1 | DF0 |
|----------|-----|-----|
| 30Fr DF | ○ | - |
| 30Fr NDF | - | ○ |
| 25Fr | - | ○ |
| 24P | - | ○ |
| 24Fr | - | ○ |

《Netflix Cap》

Netflix 様 (https://www.netflix.com/jp/) に cap ファイルを納品する際に、Netflix 様の納品仕様に適合しているか否かをチェックし、cap ファイルをエクスポートします。

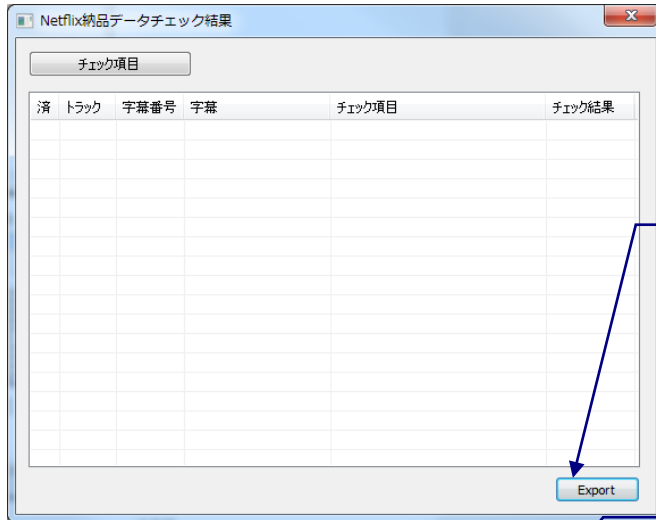
⚠ 必ず sdb ファイルを保存してからエクスポートして下さい。

1. [エクスポート]メニューの[Netflix Cap]をクリックします。
2. [Netflix Cap のエクスポート]ダイアログボックスの[全般]タブ内の[出力ファイル設定]より、出力する場所とファイル名を指定します。

※テキストファイル (.txt)・イベントファイル (.evt、.evn、.eve) は出力できません。

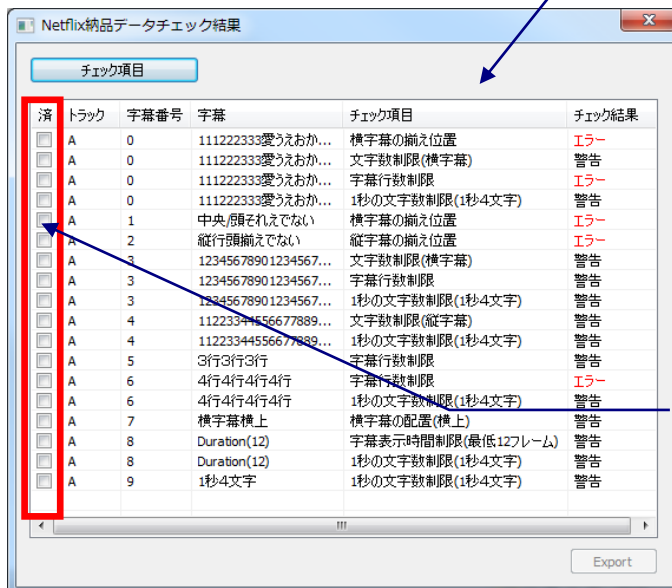
3. [全般]タブの[範囲指定] からエクスポートする範囲を指定します。
4. [詳細設定]タブの[詳細設定]を入力、指定します。
5. [詳細設定]タブの[エンコードの種類]を指定します。
6. [Check]をクリックします。

●エラーが 0 件の場合



7. [Export]ボタンをクリックします。

●エラーが存在する場合

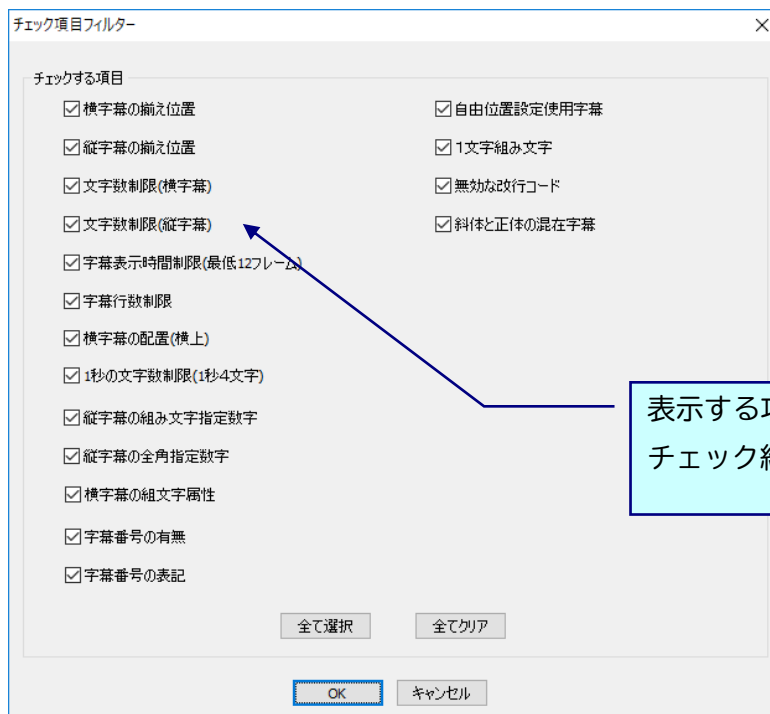
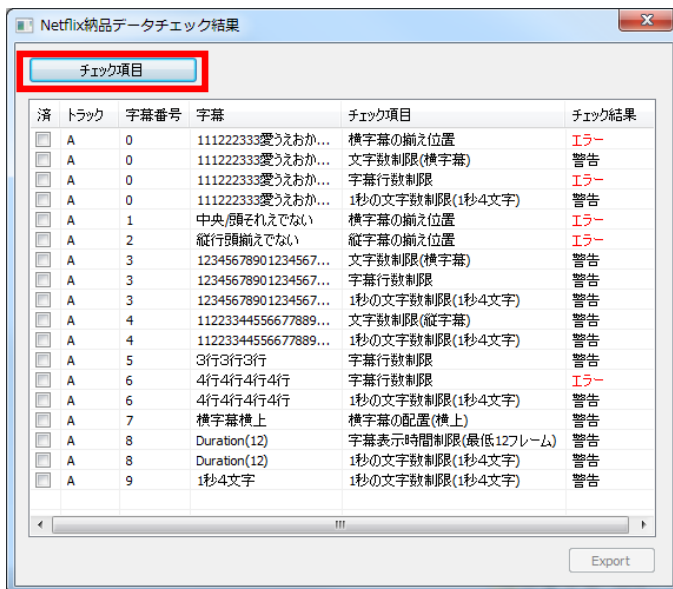


エラー：
Netflix 向け cap ファイルを出力する要件に反しています。修正し、sdb ファイルを保存しない限り[エクスポート]はクリックできません。

警告、注意：
警告、注意を表示しています。警告と注意のみであれば、エクスポート可能です。

「済」項目にチェックを入れることで修正の有無を管理することができます。

Netflix 納品データチェック結果の左上の[チェック項目]ボタンをクリックすると、チェック項目フィルター画面が表示されます。



表示する項目にチェックを入れて下さい。
チェック結果がフィルタリングされます。

- ・エラー項目のチェックを外し、チェック結果画面に表示されなくなっても、エラーが残っている場合はエクスポートできません。
- ・フィルターのチェックは、sdb ファイルを新規で開くとリセットされ、全ての項目にチェックがついた状態になります。

<Netflix チェック項目仕様>

以下の項目に反している場合、エラー、警告、注意 としてチェック結果画面に表示されます。

| 画面表示内容 | 動作 | Netflix 仕様 | チェック項目 |
|-------------------------|--------------------------------|---|--|
| 横字幕の揃え位置 | エラー | 横字幕は中頭揃えか中央揃えにする。 | 横字幕の行配置が「中頭」か「中央」以外になっていないかを確認する。 |
| 縦字幕の揃え位置 | エラー | 縦字幕は右か左の行頭揃えにする。 | 縦字幕の行配置が「行頭」以外になっていないかを確認する。 |
| 文字数制限(横字幕) | 警告 | 横字幕 全角で1行 14 文字以内 | スペースをカウントせず、半角文字は 0.5 とカウントして、15 文字以上になっていないかを確認する。 (※1) |
| 文字数制限(縦字幕) | 警告 | 縦字幕 全角で1行 12 文字以内 | スペースをカウントせず、組文字は全部で1文字分とカウントし、13 文字以上になっていないかを確認する。 |
| 字幕表示時間制限 (最低 0.5 秒) | 警告 | 最低 0.5 秒必要。 | プロジェクトのフレームレートに合わせて 30DF、30NDF … 15 フレーム未満 24Fr、24P … 12 フレーム未満 25Fr … 13 フレーム未満 になっていないか確認する。 |
| 字幕行数制限 | 3 行を超える字幕： エラー 3 行の字幕：警告 | 最大 2 行。焼き込み字幕またはテロップの訳のときは、内容によって、3 行になっても可。 オーディオコメンタリーは、話者名が一行目に来る 3 行字幕まで可。 | 1 つの字幕のハコの中において、何行表記されているかを確認する。 |
| 横字幕の配置(横上) | 警告 | 横上は使用禁止 | 一つ一つの字幕の配置を確認。横字幕の表示位置が「横上」以外になっているかを確認する。 |
| 1 秒の文字数制限 (1 秒 4 文字) | 注意 | 1 秒 4 文字まで。 | 1 秒 4 文字を超えている字幕を抽出 (※2) |
| 縦字幕の組み文字指定 数字 | エラー | 縦字幕の半角 2 桁・3 桁の数字は組み文字でなければならない | ・縦字幕の半角 2 桁・3 桁の数字は全て組み文字 ・小数点も 1 桁としてカウントする (※3) ・数字以外で考慮するのは小数点のみ ・全角と半角が混ざっている場合は、全角と半角の合計桁数でチェックする (※4) |

| 画面表示内容 | 動作 | Netflix 仕様 | チェック項目 |
|---------------------|-----|---|--|
| 縦字幕の全角指定数字 | エラー | 縦字幕の数字は 1 桁 or 4 桁以上の場合、全角でなければならない | <ul style="list-style-type: none"> 縦字幕の 1 桁の数字は全角 縦字幕の 4 桁以上の数字は全角 小数点も 1 桁としてカウントする (※3) 数字以外で考慮するのは小数点のみ 全角と半角が混ざっている場合は、全角と半角の合計桁数でチェックする (※4) |
| 横字幕の組文字属性 | エラー | 横字幕に組文字は設定禁止 | 横字幕に組文字が設定されていないかを確認する。 |
| 字幕番号の有無 | エラー | 字幕番号が空白もしくはスペース以外 | 字幕番号が空白もしくはスペースのみになっていないかを確認する。 |
| 字幕番号の表記 | エラー | 全角か半角の数字のみ or 全角か半角の純粋な数字 + 英字 1 文字のみ | <ul style="list-style-type: none"> 記号・スペースなど他はすべて NG 全角と半角は混ざっていても OK アルファベット 1 文字のみは NG |
| | エラー | 数字は 1 桁～4 桁 | 数字が 5 桁以上になっていないかを確認する。 |
| | エラー | アルファベットは 1 文字のみ | アルファベットが 2 文字以上ないかを確認する。 |
| | エラー | アルファベットは、数字の字幕番号の末尾のみ | アルファベットと数字が混在する場合、アルファベットが字幕番号の末尾以外に存在していないかを確認する。 |
| 自由位置設定使用字幕 | エラー | 自由位置不可 | 自由位置が設定されている。 |
| 1 文字組み文字 | エラー | | 1 文字だけ組文字が設定されている。 |
| 無効な改行コード | エラー | | 通常とは異なる改行コードが存在。 修正方法は、前文削除し同一の字幕を入力する。コピー & ペーストは不可。 |
| 斜体と正体の混在字幕 | 警告 | | 一部だけに斜体が設定されている。すべて斜体の場合はチェック対象外。 |
| '!'と'? 'に続く空白文字のサイズ | 警告 | | 「!」「?」(全角半角共に)の後ろに半角スペースが存在している。全角スペースやそれ以外の任意の文字列の場合はチェック対象外。 |

※1：SSTG1 の文字カウント設定とは連動せず、全角を 1 文字、半角を 0.5 文字とカウントします。

※2：SSTG1 の文字カウント設定と連動し、文字カウントに設定した通りにカウントします。文字カウントに設定されていない文字は 1 文字とカウントします。

※3：数字と数字の間に挟まれているもののみを小数点とします。数字の前後につく場合は単なる記号とみなします。

例) 「0.1」→3 桁の数字、「1.」→1 桁の数字、「. 0 2」→2 桁の数字

※4：例) 「223」→3 桁の数字だが、半角数字ではないため組み文字チェックにはあてはまらない。

「4. 55」→4 桁の数字のため、全角チェックにあてはまりエラーとなる。

《Win2020(PAC)》

下記の手順に従って Win2020 ファイル (pac ファイル) をエクスポートすることができます。

1. [エクスポート]メニューの、[WIN2020 PAC]をクリックします。
2. [WIN2020 PACのエクスポート -詳細設定-]ダイアログボックスの[全般]タブ内の[出力ファイル設定]より、出力する場所とファイル名を指定します。
3. [全般]タブの[範囲指定] からエクスポートする範囲を指定します。
4. [詳細設定]タブを選択し、[詳細設定]の各項目を入力します。
5. [OK]をクリックします。

《EBU》

ヨーロッパの放送で使用されているファイル形式 (.stl) で、下記の手順に従って EBU ファイルをエクスポートすることができます。

1. [エクスポート]メニューの、[EBU]をクリックします。
2. [EBUのエクスポート -詳細設定-]ダイアログボックスの[全般]タブ内の[出力ファイル設定]より、出力する場所とファイル名を指定します。
3. [全般]タブの[範囲指定] からエクスポートする範囲を指定します。
4. [詳細設定]タブより、[コードページ番号]を選択します。
5. [詳細設定]タブより、[キャラクタコードテーブル]を選択します。
6. [詳細設定]タブより、[言語コード]を選択します。
7. [OK]をクリックします。

《DVD - Sonic Scenarist format》

下記の手順に従って DVD - Sonic Scenarist ファイルをエクスポートすることができます。

1. [エクスポート]メニューの [DVD - Sonic Scenarist format]をクリックします。
2. [DVD - Sonicファイルのエクスポート -詳細設定-]ダイアログボックスの[全般]タブの[出力ファイル設定]内で出力するファイルを指定します。
3. [全般]タブの[範囲指定] からエクスポートする範囲を指定します。
4. 「配色設定」タブの[配色設定]内を入力します。
5. 「配色設定」タブの[配色設定の保存/読み込み]内に名前を入力し、[保存]を押し、[配色設定]の数値を保存します。リストから [配色設定] を選択することにより、簡単に[配色設定]の値を変更することができます。
6. [詳細設定]タブより、[イメージファイル設定]を指定します。
7. [OK]をクリックします。

《DVD - Panasonic format》

下記の手順に従って DVD - Panasonic ファイルをエクスポートすることができます。

1. [エクスポート]メニューの[DVD - Panasonic format]をクリックします。
2. [DVD - Panasonicのエクスポート -詳細設定-]ダイアログボックスの[全般]タブの[出力ファイル設定]内で出力するファイルを指定します。
3. [全般]タブの[範囲指定] からエクスポートする範囲を指定します。
4. 「配色設定」タブの[配色設定]内を入力します。
5. 「配色設定」タブの[配色設定の保存/読み込み]内に名前を入力し、[保存]を押し、[配色設定]の数値を保存します。リストから[配色設定]を選択することにより、簡単に[配色設定]の値を変更することができます。
6. [詳細設定]タブより、[イメージファイル設定]を指定します。
7. [詳細設定]タブの[Tiffファイルの出力設定]にて、出力するTiffファイルの種類を選択します。
8. [OK]をクリックします。

《CANVASs Open Subtitle file format》

この字幕フォーマットは下記のシステムにインポート可能です。

- ・ Grass Valley EDIUS Pro 5～6.5
- ・ Avid リアルタイム ノンリニアテロッパー NoLio
- ・ Cambria FTC DTE ADE

下記の手順に従って CANVASs Open Subtitle file format ファイルをエクスポートすることができます。

1. [エクスポート]メニューの[CANVASs Open Subtitle file format]をクリックします。
2. [-詳細設定-]ダイアログボックスの[全般]タブの[出力ファイル設定]で出力するファイルを指定します。
3. [全般]タブの[範囲指定] からエクスポートする範囲を指定します。
4. [フリッカーフィルターの設定]をします。
5. [詳細設定]タブより[対象画面設定]を選択します。
6. (字幕データのインポート先が「Cambria」の場合)
[タイムコード変更]の[先頭TCを00:00:00:00に戻す]にチェックを付けます。
7. [OK] をクリックします。

《Blu-ray SONIC Scenarist format》 ※ver.4.2／ver.4.3共通

下記の手順に従って Blu-ray SONIC Scenarist ファイルをエクスポートすることができます。

1. [エクスポート]メニューの[Blu-ray SONIC Scenarist format(ver.4.2)または(ver.4.3)]をクリックします。
2. [Blu-ray SONIC Scenarist format] ダイアログボックスの[全般]タブの[出力ファイル設定]にて「テキストタイプ出力」、もしくは「グラフィックタイプ出力」を選択してください。
3. [全般]タブの[範囲指定] からエクスポートする範囲を指定します。
4. [詳細設定]タブの[対象画面設定]を選択します。
5. [詳細設定]タブの[フレームレート]を選択します。
6. [詳細設定]タブの[Description]内の必要項目を選択、入力します。
7. [詳細設定]タブの[コンテンツ]に映像の開始タイムコードと終了タイムコードを入力します。
8. [詳細設定]タブの[その他]でリファレンステキストが必要であればチェックを入れます。
9. [グラフィック詳細設定]タブの[出力画像サイズ]でどちらかを選択します。
10. [グラフィック詳細設定]タブの[その他の設定]を入力します。
11. [テキスト詳細設定]タブの[エッジの設定]を選択します。
12. [テキスト詳細設定]タブの[ユーザースタイル]を設定します。
13. [OK]をクリックします。

《Blu-ray Panasonic format》

下記の手順に従って Blu-ray Panasonic ファイルをエクスポートすることができます。

1. [エクスポート]メニューの[Blu-ray Panasonic format]をクリックします。
2. [Blu-ray Panasonic format] ダイアログボックスの[全般]タブの[出力ファイル設定]で出力するファイルを指定します。
3. [全般]タブの[範囲指定] からエクスポートする範囲を指定します。
4. [詳細設定]タブの[ビデオフォーマット]を選択し、[その他]を入力します。
5. [OK]をクリックします。

《DV2000 format》

下記の手順に従って DV2000 ファイルをエクスポートすることができます。

1. [エクスポート]メニューの[DV2000 format]をクリックします。
2. [DV2000のエクスポート -詳細設定-]ダイアログボックスの[全般]タブの[出力ファイル設定]で出力するファイルを指定します。
3. [全般]タブの[範囲指定] からエクスポートする範囲を指定します。
4. [フリッカーフィルターの設定]をします。
5. [詳細設定]タブの[イメージファイル設定]内で「アンチエイリアスを使用する」かどうかを選択します。
6. [OK]をクリックします。

《AAF》


ノンリニア編集機の共通フォーマットで、SST G1Pro の場合、「Adobe Premiere Pro (2.0 以上)」と「Final Cut Pro」「Grass Valley EDIUS Pro」「Avid Media Composer」に対応しています。下記の手順に従って AAF ファイルをエクスポートすることができます。

1. [エクスポート]メニューの[AAF]をクリックします。
2. [AAFのエクスポート -詳細設定-]ダイアログボックスの[全般]タブの[出力ファイル設定]で、出力するファイル名を指定します。
3. [全般]タブの[範囲指定] からエクスポートする範囲を指定します。
4. [フリッカーフィルターの設定]をします。
5. [詳細設定]タブの[対象画面設定]を選択し、[その他の設定]を入力します。
※EDIUS 向けに出力する場合は、[EDIUS 向けに構成を調整する]にチェックを入れて下さい。
※Media Composer 向けに出力する場合は、[Avid Media Composer 向けに構成を調整する]にチェックを入れて下さい。
※59.94 もしくは 60 フレームで出力したい場合、「フレームレート(30Fr 向け)」にてフレームレートを指定してください。ただし、現状 SSTG1 シリーズでは 59.94 もしくは 60 フレームのプロジェクトを作成できないため、スポッティングは 29.97 フレームのときのみとなり、59.94 における奇数フレームでイン・アウト点を設定することはできません
6. [OK]をクリックします。

《OMF》

ノンリニア編集機 Avid に対応しているフォーマットです。下記の手順に従って OMF ファイルをエクスポートすることができます。

1. [エクスポート]メニューの[OMF]をクリックします。
2. [OMFのエクスポート -詳細設定-]ダイアログボックスの[全般]タブの[出力ファイル設定]で、出力するファイル名を指定します。
3. [全般]タブの[範囲指定] からエクスポートする範囲を指定します。
4. [フリッカーフィルターの設定]をします。
5. [詳細設定]タブの[対象画面設定]を選択し、[対象画面設定]を選択します。ユーザー設定を選択すると[幅]と[高さ]が入力できます。
6. [OK]をクリックします。

 Avid DS Nitris には対応していませんのでご注意ください。

《CineCanvas DLP Cinema XML》

下記の手順に従って CineCanvas DLP Cinema XML ファイルをエクスポートすることができます。

1. [エクスポート]メニューの[CineCanvas DLP Cinema XML]をクリックします。
2. [CineCanvas DLP Cinema XMLのエクスポート -詳細設定-]ダイアログボックスの[全般]タブ内の[出力ファイル設定]より、出力する場所とファイル名を指定します。
3. [全般]タブの[範囲指定] からエクスポートする範囲を指定します。
4. [詳細設定]タブの[ヘッダー情報]を入力、指定します。
5. [画像設定]タブの[対象画面設定]を指定します。
6. [OK]をクリックします。

《Digital Cinema Distribution Master Subtitle (SMPTE) 》

下記の手順に従って Digital Cinema Distribution Master Subtitle (SMPTE) ファイルをエクスポートすることができます。

1. [エクスポート]メニューの[Digital Cinema Distribution Master Subtitle (SMPTE)]をクリックします。
2. [Digital Cinema Distribution Master Subtitle (SMPTE) -詳細設定-]ダイアログボックスの[全般]タブ内の[出力ファイル設定]より、出力する場所とファイル名を指定します。
3. [全般]タブの[範囲指定] からエクスポートする範囲を指定します。
4. [詳細設定]タブの[ヘッダー情報]を入力、指定します。
5. [画像設定]タブの[対象画面設定]を指定します。
6. [OK]をクリックします。

《IMSC1.1 file (Internet Media Subtitles and Captions 1.1)》

下記の手順に従って IMSC1.1 file (Internet Media Subtitles and Captions 1.1) ファイルをエクスポートすることができます。

1. [エクスポート]メニューの[IMSC1.1 file (Internet Media Subtitles and Captions 1.1)]をクリックします。
2. [IMSC1.1 file (Internet Media Subtitles and Captions 1.1)]ダイアログボックスの[全般]タブ内の[出力ファイル設定]より、出力する場所とファイル名を指定します。
3. [全般]タブの[範囲指定] からエクスポートする範囲を指定します。
4. [詳細設定]タブの[タグ情報]を入力、指定します。
5. [詳細設定]タブの[出力タイプ]を指定します。(次ページ参照)
Original： W3Cの仕様に準拠して出力します
Netflix： Netflix納品仕様で出力します
Disney+： Disney+納品仕様で出力します
※出力時に拡張子を「.ttml」に変更してから出力してください。
6. [詳細設定]タブの[スタイル情報]を指定します。
7. 23.976 の場合は[詳細設定]タブの[フレームレート]を指定します。
8. [OK]をクリックします。

【共通】

sdb ファイルに設定可能な項目のうち、下記については IMSC1.1 の仕様上、設定項目が存在しないため、エクスポートしたファイルには反映されません。

IMSC1.1 ファイルに反映されない項目

- ・カーニング・レディング
- ・フォントの幅
- ・ルビのサイズ、幅、エッジサイズ、「斜体を本文に合わせて移動」設定
- ・「半角スペースの値を半分にする」設定
- ・行配置を決定するのに認識されない文字
- ・上揃え
- ・「ルビをベースライン内に収める」設定
- ・word 形式の縦字幕
- ・ベースラインの値
- ・フェードイン・アウト →IMSC1.1 の仕様上、設定項目は存在しますが、SSTG1Pro からエクスポートしたファイルには反映されません。

【Netflix / Disney+ 共通】

NETFLIX・Disney+の IMSC1.1 の仕様では、W3C の IMSC1.1 の仕様で定義可能な項目のうち、一部はサポート対象外となります。このため、以下の項目は通常の IMSC1.1 エクスポート機能を使用すれば反映されますが、NETFLIX 用・Disney+用 IMSC1.1 では反映されません。

NETFLIX 用・Disney+用 IMSC1.1 ファイルに反映されない項目

- ・フォントの種類・サイズ・色
- ・エッジの種類・サイズ・色
- ・ルビの配置
- ・ルビのレディング情報
- ・マスク(座布団)の情報
- ・右から左に読む
- ・縦字幕の際に、左から右へ改行

今後、各社の仕様変更により、上記「反映されない項目」は変わる可能性があります。

【Disney+ のみ】

Disney+の IMSC1.1 の仕様では、W3C の IMSC1.1 の仕様で定義可能な項目のうち、一部はサポート対象外となります。このため、以下の項目は通常の IMSC1.1 エクスポート機能を使用すれば反映されますが、Disney+用 IMSC1.1 では反映されません。

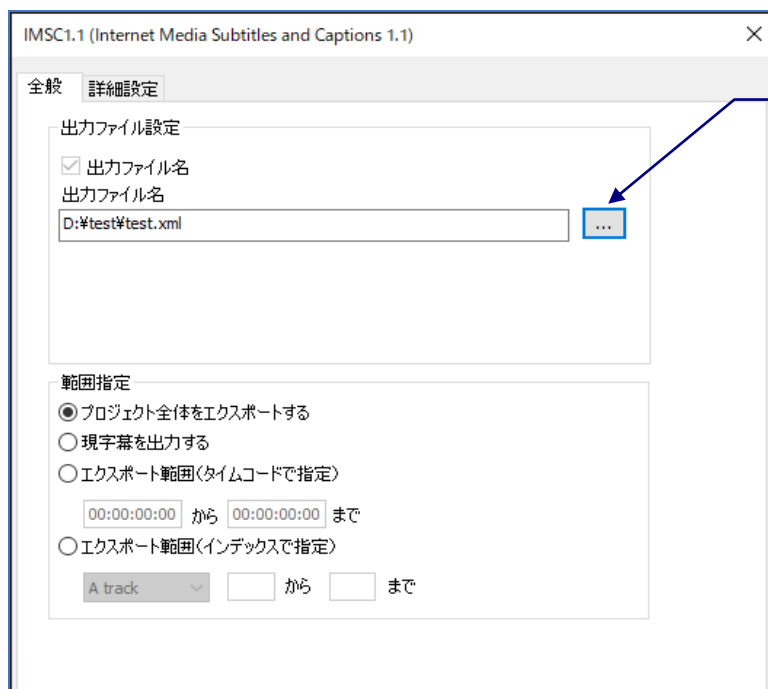
Disney+用 IMSC1.1 ファイルに反映されない項目

- ・自由位置

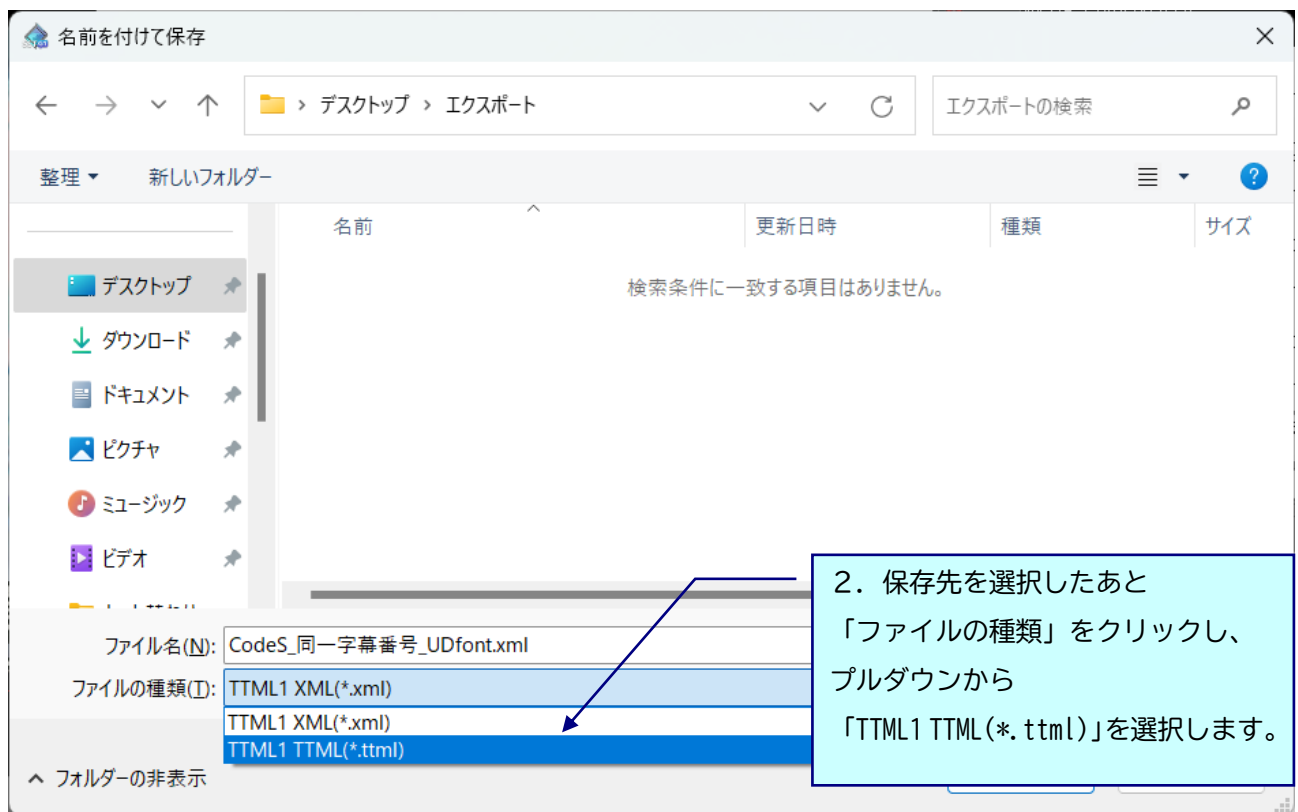
今後、同社の仕様変更により、上記「反映されない項目」は変わる可能性があります。

<Disney+で出力する際の注意点>

Disney+で出力する際は、下記の手順で拡張子を「.ttml」に変更してから出力してください



1. 保存先を選択する[...]ボタンをクリックします。



Memo:

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

●お問い合わせ



<https://canvass.co.jp/>

SSTG1Pro Ver 3.1.14